2024 年度

卒業時調査　報告書

2025 年 8 月　IR センター

1. 調査概要

2024 年度における調査は 2025 年 3 月に実施した。回収率は以下のとおりである。

卒業年度	学部・学科 / 項目	国際文化学部		音楽学部	健康生活学部			看護学部	全学科合計
		英語学科	日本文化学科	音楽学科	食生活健康学科	生活デザイン学科	子ども学科	看護学科	
2024年度	卒業者数	22	26	16	33	34	27	64	222
	回答者数	18	22	15	32	32	24	63	206
	回収率	81.8%	84.6%	93.8%	97.0%	94.1%	88.9%	98.4%	92.8%
2023年度	卒業者数	42	30	18	52	38	39	68	287
	回答者数	6	6	0	5	4	4	62	87
	回収率	14.3%	20.0%	0.0%	9.6%	10.5%	10.3%	91.2%	30.3%

前年 2023 年度の本調査における回収率は全学科合計で 30.3%と低く、学科単位での統計分析は困難であったことから、2024 年度は回収率向上策として、卒業関連行事等、各学科で卒業生が集まる機会に対面で実施を依頼した。これにより、2024 年度は卒業生の 9 割以上の声を集めることができ、統計分析が実施可能となった。卒業関連行事の中で回答時間を設定してくださった各学科事務室・準備室・助手室の皆様をはじめとする多くの教職員のご協力に、この場を借りて御礼を申し上げる。

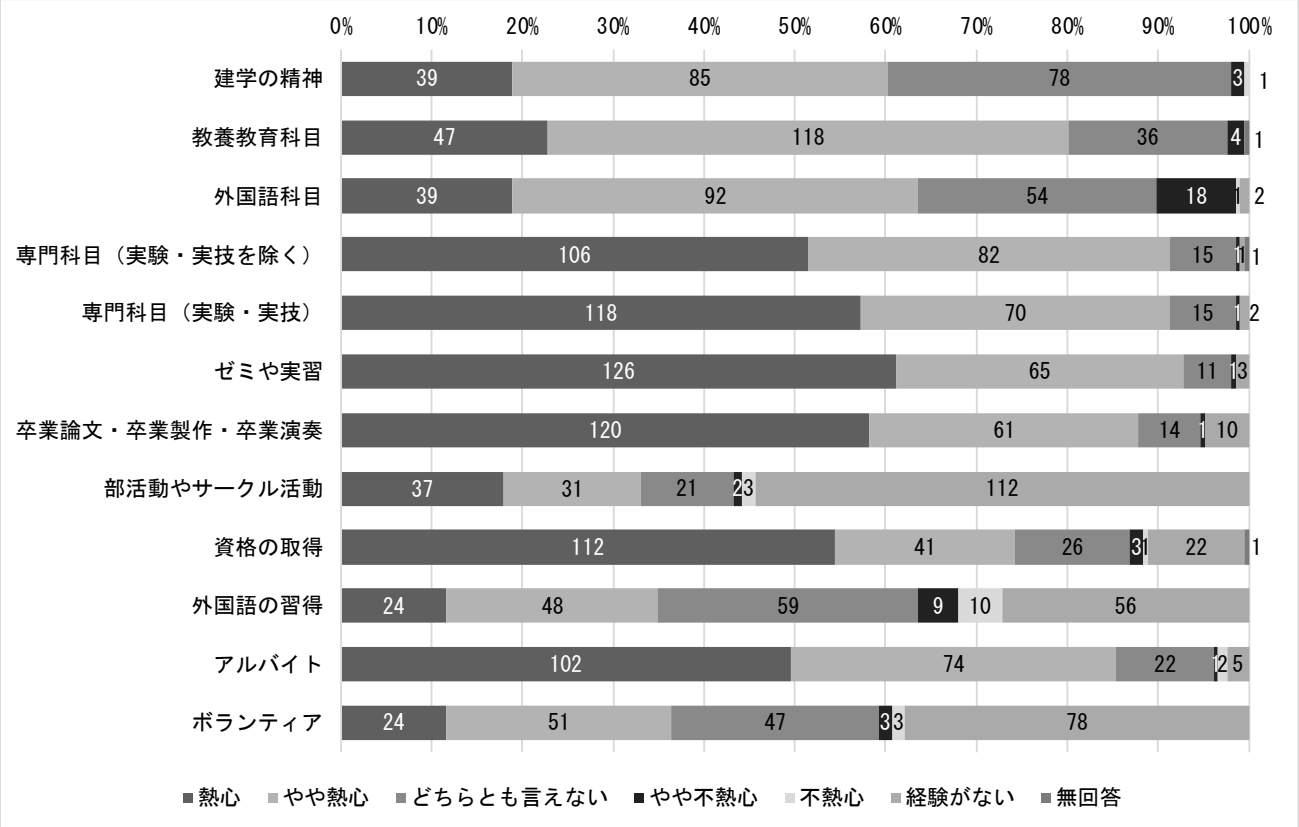
2. 集計結果

2-1. 大学全体

大学全体の結果では、自由記述式回答の記述については割愛し、学科別の結果として紹介する。

Ⅰ. 大学生活について

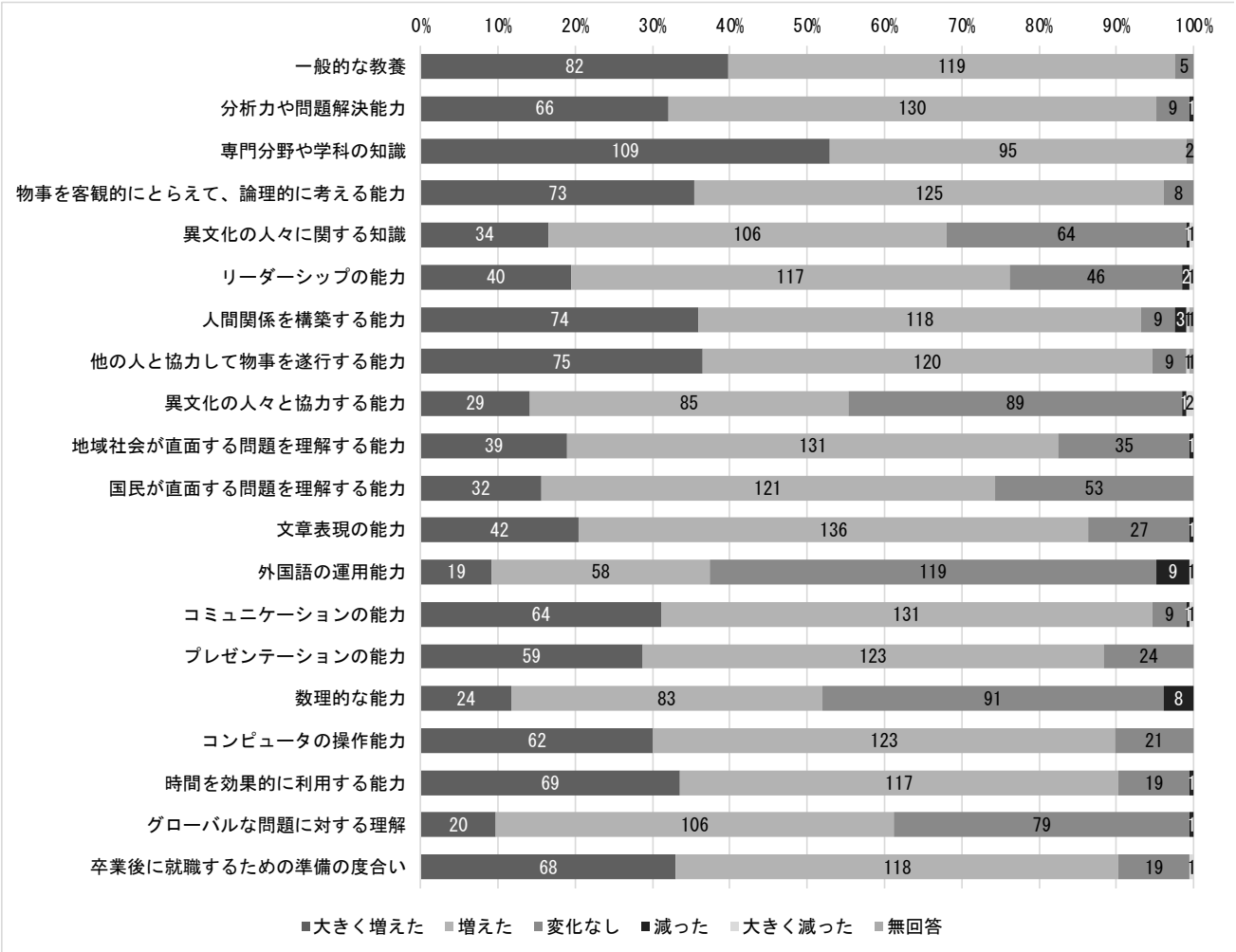
Q1. 大学の授業科目の学修や課外活動について、どの程度熱心に取り組みましたか。



専門科目やゼミ、卒業論文等および資格の取得については、半数以上の学生が「熱心」に取り組んだとの自己評価をしている。「資格の取得」については、所属学科にて取得する資格および教員免状を意識した回答が多い可能性があるため、次年度以降は、その他の資格取得との切り分けができる設問設定を検討する。

注目すべき点として、「部活動やサークル活動」と「ボランティア」への参加経験がないと回答した学生の多さがあげられる。部活動やサークル活動については50%を超える学生が、ボランティア活動についても40%弱の学生が、「経験がない」を選択している。**学生の自主性や主体性を育み、充実したキャンパスライフを送ってもらうため、積極的に参加してもらえるような取り組みを大学として行なっていく必要がある。**

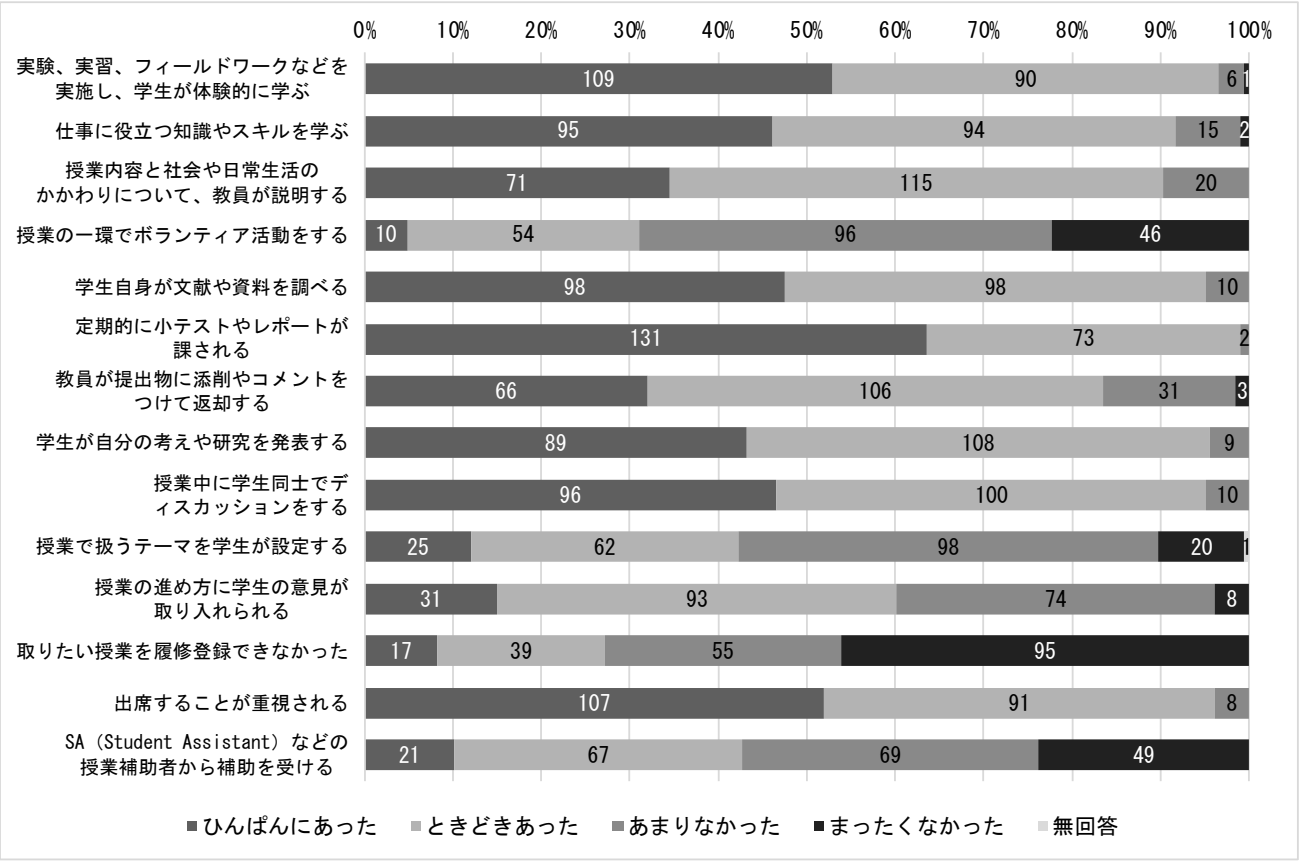
Q3. 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。



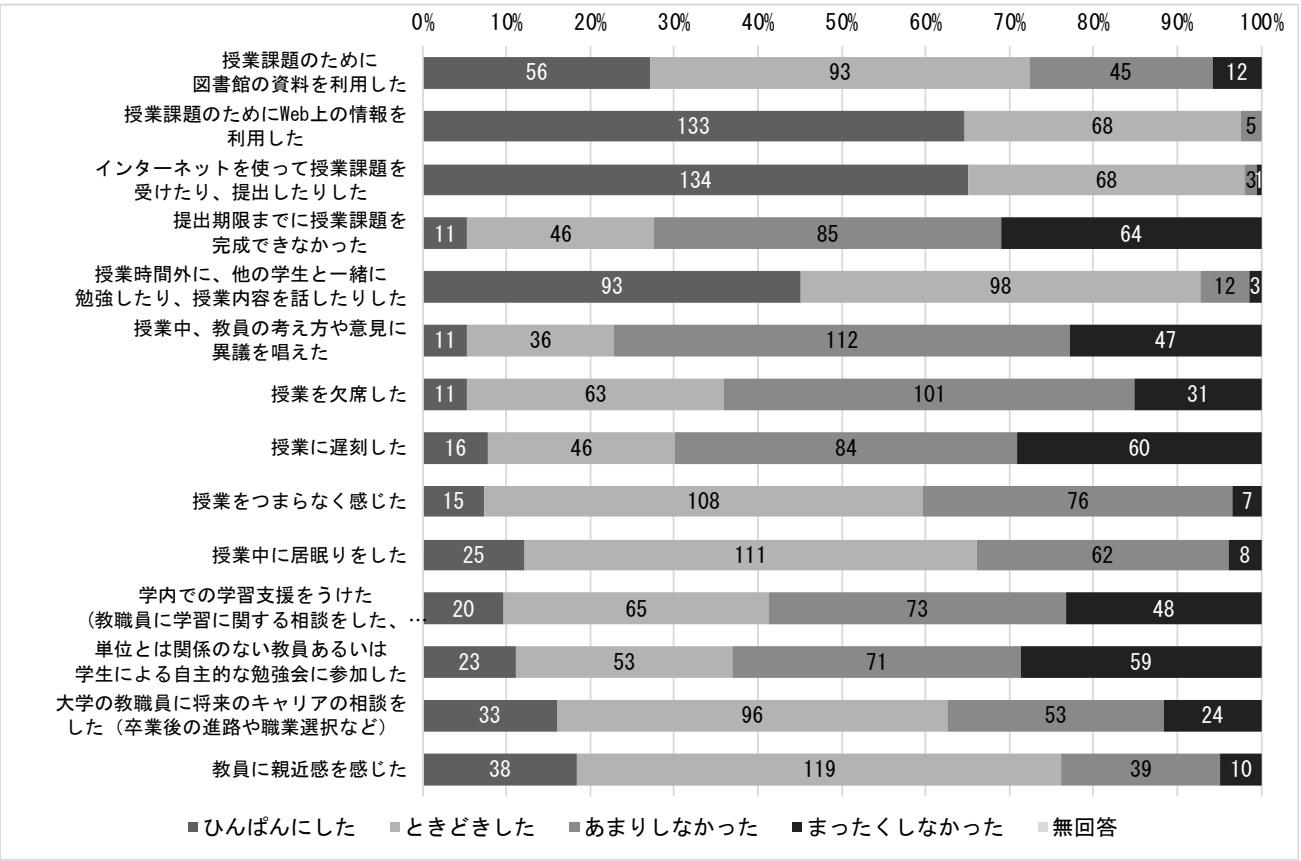
ほとんどの項目について「大きく増えた」「増えた」を合わせたポジティブ回答が高い。ただし、**「異文化の人々に関する知識」、「異文化の人々と協力する能力」、「外国語の運用能力」、「数理的な能力」、「グローバルな問題に対する理解」の5項目については、ポジティブ回答は70%以下であった。**これらはいずれもグローバル人材・グローカル人材に求められる能力であり、かつての活水が社会に送り出してきた人材の特長であったはずである。

今後も「国際都市長崎」を支える人材を輩出していくためにも、これらの力の育成・向上につながる教育プログラムの提供について全学的な検討が必要である。

Q4. あなたが受講した授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか。



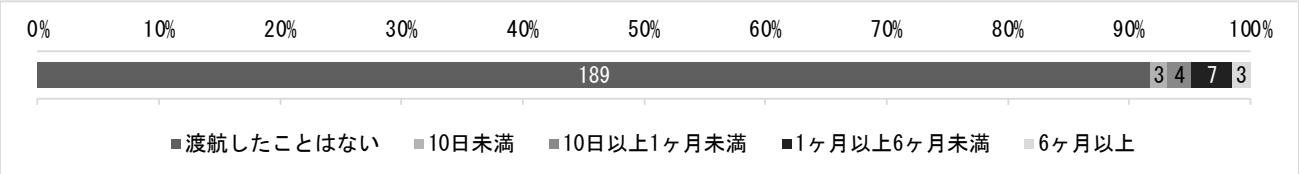
Q5. 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらい経験しましたか。



学習経験についての設問では、「授業課題のために図書館の資料を利用した」へのポジティブ回答は70%強であるのに対し「授業課題のためにWeb上の情報を利用した」へのポジティブ回答は95%以上となった。ある程度はWeb上の情報も使用することは容認されるべきだが、玉石混淆のWeb上の情報から信頼性の高いものを取捨選択できるようになるためには、まずは書籍等の資料の利用を中心として、情報に対する適切な評価を身につける訓練が必要である。教員側でも書籍等の資料利用頻度を向上させるような課題を出すなどの取り組みが求められる。

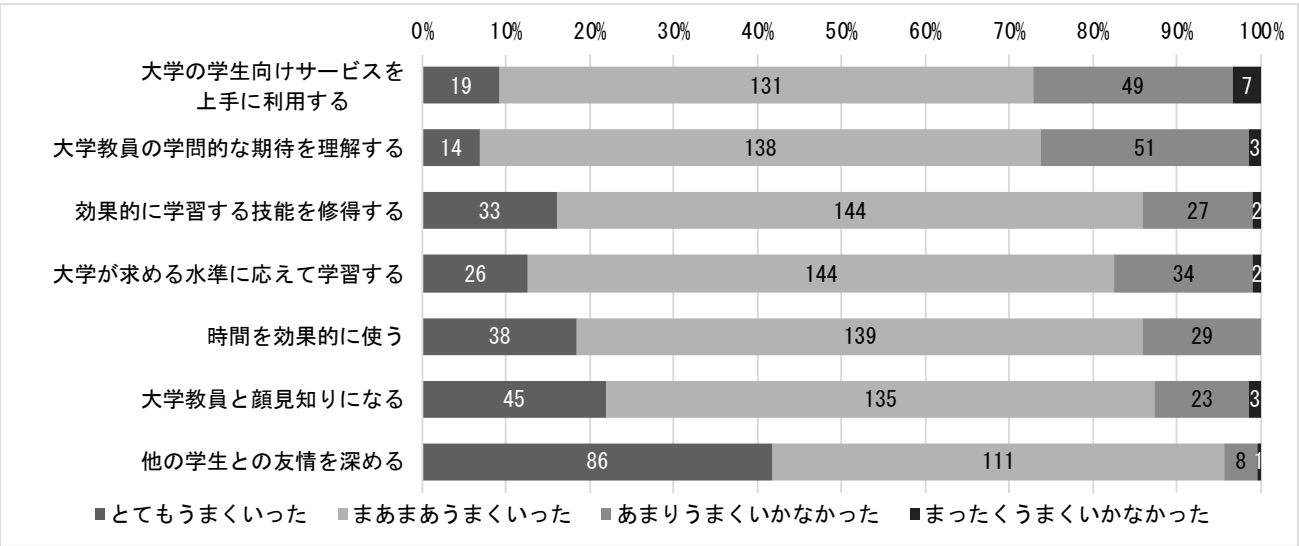
「授業をつまらなく感じた」という経験がある回答者は約6割に上っていることにも注目したい。高額な授業料以上の価値を提供して、つまらないと感じさせることがないよう、不断の授業改善を行なっていく必要がある。そのためには、これまで行なってきた**授業評価が高い教員によるFD実施だけではなく、授業評価が低い授業科目について改善を支援できるような仕組みづくり**が必要である。

Q6. あなたは大学時代に留学をしましたか。最も長期の経験を1つだけ選んでください。



Ⅱ. 大学生活に対する考えや満足度について

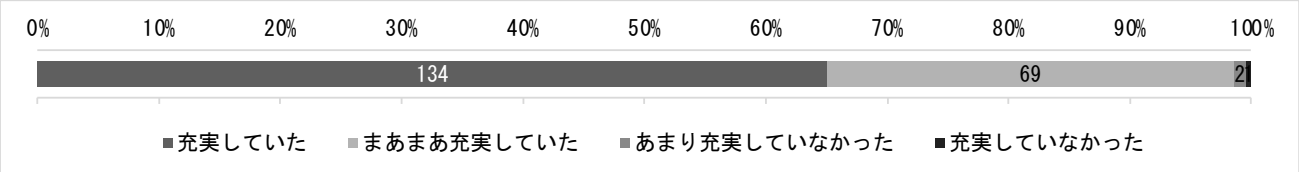
Q7. 本学に入学してから、あなたにとって次のことがらはどれくらいうまくいきましたか。



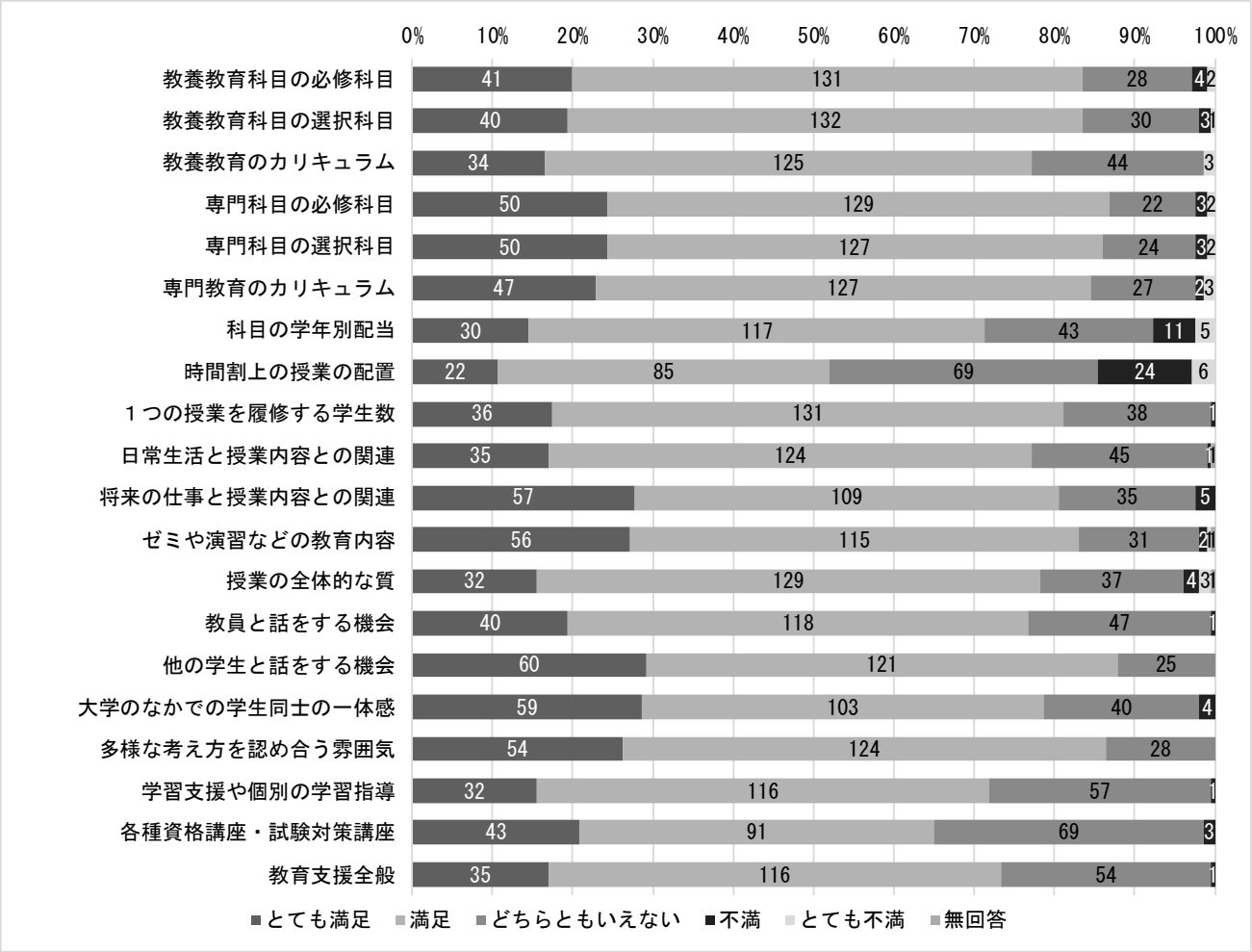
大学生活への適応に関する設問では、**「大学の学生向けサービスを上手に利用する」、「大学教員の学問的な期待を理解する」の2項目で3割弱が「あまりうまくいかなかった」、「うまくいかなかった」と回答**していた。「大学の学生向けサービスを上手に利用する」ことについては、どのようなサービスが提供されているのか、そして、その活用方法をわかりやすい形で周知することが求められる。くすのきポータルおよび公式Webサイトにおける掲載情報の精査・表示などの改善が必要ではないだろうか。

一方で、**「他の学生との友情を深める」については非常に多くの学生が「うまくいった」との自己評価をしている。**この点は小規模女子大のメリットと言えるのではないだろうか。

Q8. あなたの学生生活は充実していましたか。



Q9. あなたは、本学の教育課程や教育支援等にどれくらい満足していますか。



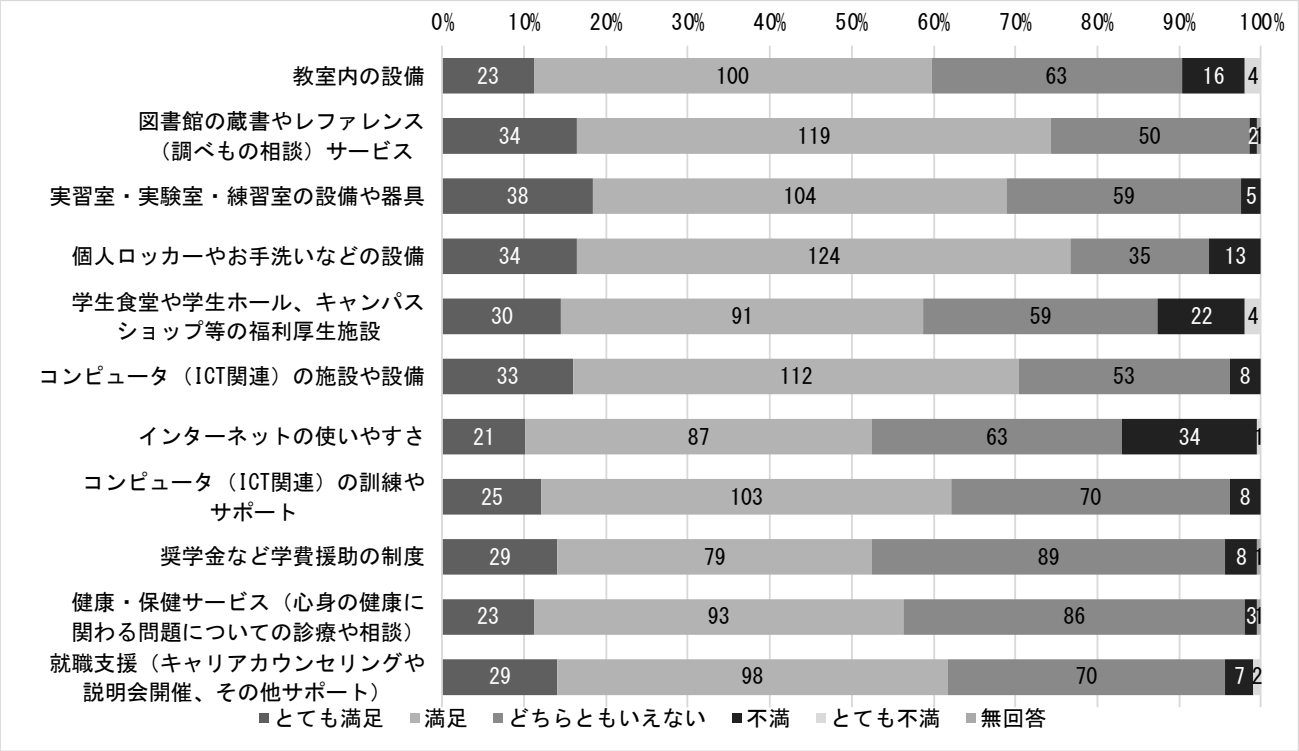
Q9 および Q11 の満足度を尋ねる設問については、一般的な顧客満足度の目標値と言われている「80%以上」を数値目標と考え、「とても満足」と「満足」を合わせたポジティブ回答が目標値以下となった項目について確認する。

教育内容や教育支援に関して、**ポジティブ回答が 70%以下となった項目は「時間割上の授業の配置」、「各種資格対策講座・試験対策講座」の２つ、同 80%以下となった項目は「科目の学年別配当」、「学習支援や個別の学習指導」、「教育支援全般」「教養教育のカリキュラム」の４つ**となった。

特にポジティブ回答割合が低い「時間割上の授業の配置」については、時間割編成において検討する余地があると考えられる。

また、CAP 制運用に対する不満を訴える自由記述もある。他大学では教職関連科目や資格関連科目、集中講義は履修上限単位数のカウントから除外しているケースが多いことから、本学における運用は履修上限解除基準を含めて再検討の余地があるだろう。

Q11. あなたは、本学の設備や学生支援制度にどれくらい満足していますか。



施設や学生支援制度に対する満足度は、すべての項目でポジティブ回答が 80%以下となった。

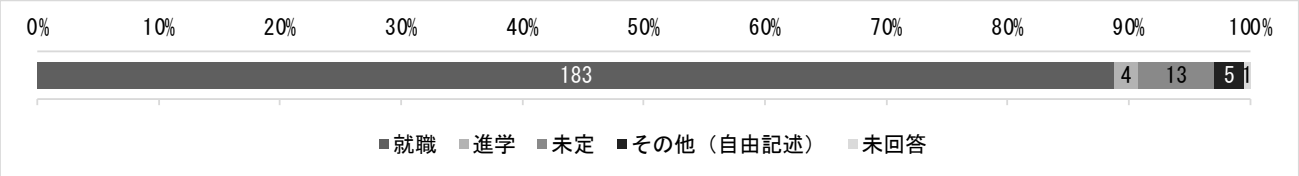
満足度 60%以下となったのが「教室内の設備」、「学生食堂や学生ホール、キャンパスショップ等の福利厚生施設」、「インターネットの使いやすさ」、「奨学金などの学費援助の制度」、「健康・保健サービス」の 5 項目である。

新規投資が必要となる項目についてはすぐに改善できるものではないが、施設設備費の値上げ等に対する学生や保証人の納得感を持ってもらうためにも、学生の目に見える形で設備更新・保守状況を計画的に実施していく必要があると思われる。

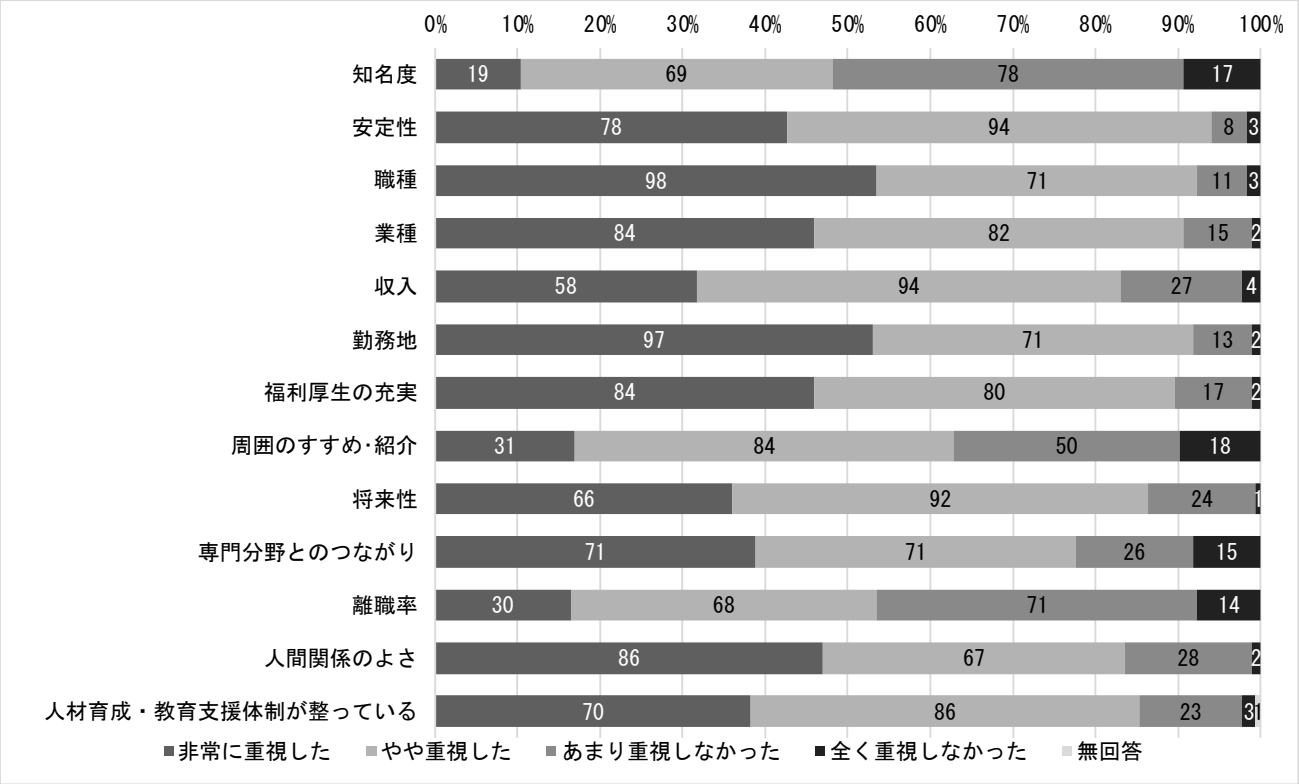
新規投資なしで改善が可能である人的サービスとして、「コンピュータ（ICT 関連）の訓練やサポート」、「健康・保健サービス」、「就職支援」があげられる。これらの項目については満足度 80%以上を目標としてサービス向上を検討していく必要がある。

Ⅲ. 卒業後の進路について

Q13. 卒業後の進路を教えてください。



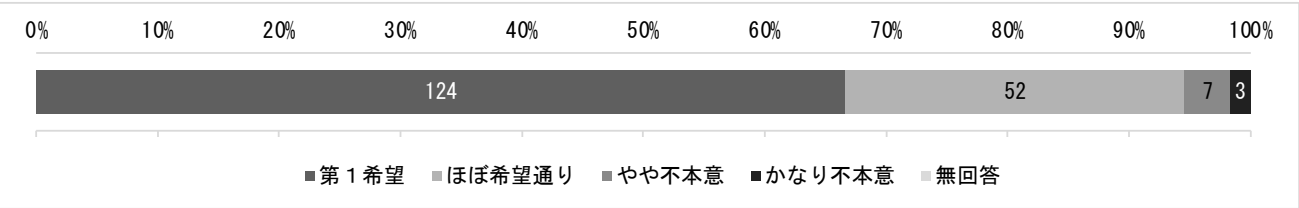
Q14. 就職先の選択に際し、以下の項目をどれくらい重視しましたか。



就職先の選択において「非常に重視した」という回答が多い項目は「職種」、「勤務地」、「人間関係の良さ」であった。「非常に重視した・やや重視した」を合わせた場合は「安定性」、「職種」、「勤務地」の順に多くなった。一方、「全く重視しなかった・あまり重視しなかった」を合わせた回答が多い項目は、「知名度」、「離職率」、「周囲のすすめ・紹介」であった。

「知名度」を重視したという回答が 50%以下となり、「安定性」を重視したという回答割合 90%を超えていることから、B to B 企業など、消費者の知名度は低くとも経営が安定している企業に学生たちの目が向くようになっていることがうかがわれる。高校時代をコロナ禍の中で過ごし、経済状況や労働市場、価値観の変化を目の当たりにしてきたことも影響している可能性があり、今後、経年変化を確認していくべき項目である。

Q15. 就職先・進学先は希望通りでしたか。該当するものを１つだけ選んでください。



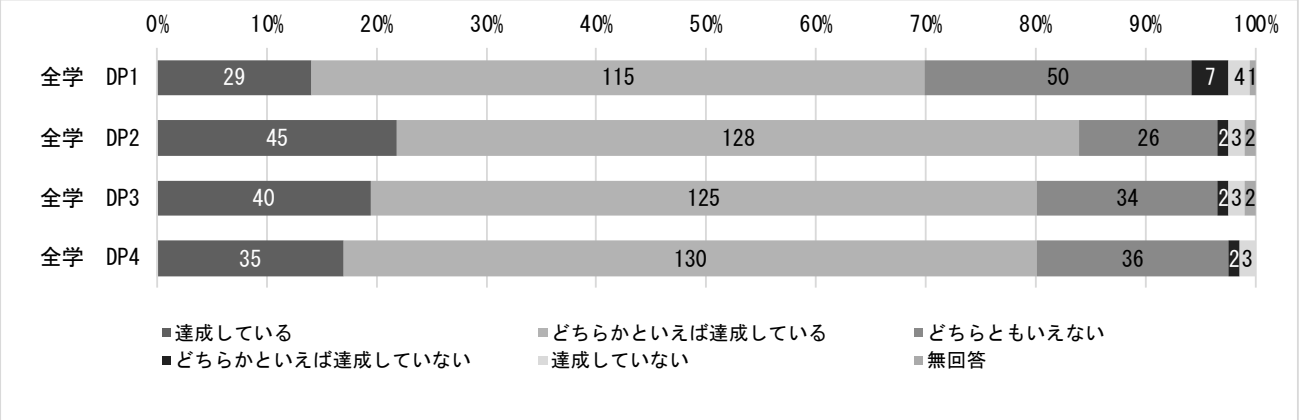
７割弱の卒業生が、卒業後の進路について「第１希望」、「ほぼ希望通り」との回答を合わせると９割強が希望に叶う進路に進むことができたとの評価である。一方、10 人と少数ではあるものの、卒業後の進路に「やや不本意・かなり不本意」という印象を持っている学生がいた。

Ⅳ. 所属学科*ならびに大学のディプロマポリシーの達成度について

※Q17 は学科名、Q18 は学科のディプロマポリシーの達成についてたずねているため、割愛。

Q19. 大学全体のディプロマポリシーの達成についてうかがいます。それぞれについて、該当すると思うものを１つ選んでください。

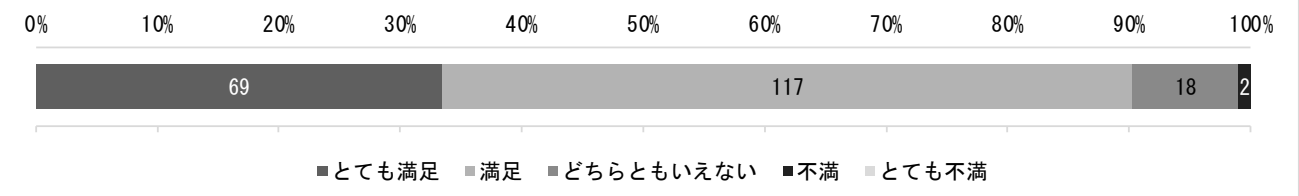
項目	n	達成している	どちらかといえば達成している	どちらともいえない	どちらかといえば達成していない	達成していない	無回答
（建学の精神） キリスト教の理念ならびに本学の建学の精神を理解し、それらに基づき世界や人間のあり方について深く思索・探究できる。	206	29	115	50	7	4	1
		14.1%	55.8%	24.3%	3.4%	1.9%	0.5%
（人間としての尊厳） 平和的・民主的な社会の担い手となるため、自らと他者の尊厳を重んじることができる。	206	45	128	26	2	3	2
		21.8%	62.1%	12.6%	1.0%	1.5%	1.0%
（職業人） 職業人として経済的・精神的に独立していくために必要な、広い教養と専攻分野における専門的知識・技能を身に付けている。	206	40	125	34	2	3	2
		19.4%	60.7%	16.5%	1.0%	1.5%	1.0%
（広い視野に立つ社会人） 国際的な視野を持つ社会人として地域や人類社会の福祉と発展に貢献するため、他者と協働し、生涯にわたり自ら学び続けようとする態度を身に付けている。	206	35	130	36	2	3	0
		17.0%	63.1%	17.5%	1.0%	1.5%	0.0%



ディプロマポリシーの達成に対する自己評価は、DP2～4 については「達成している・どちらかと言えば達成している」との回答が 80%を超えている。一方で、DP1「建学の精神」については 70%と、他のポリシーよりも低くなっている。

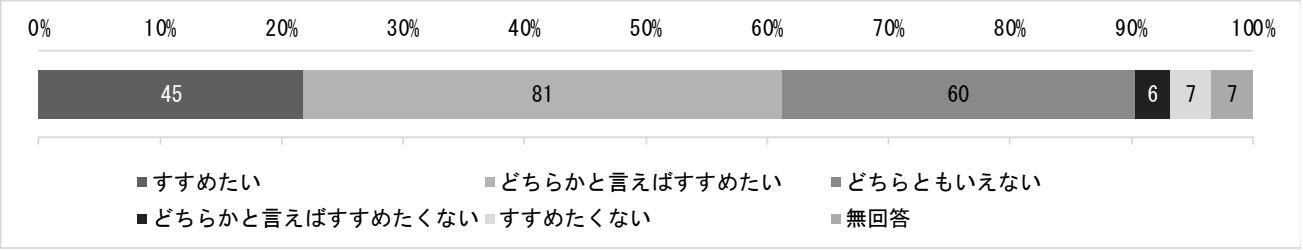
Ⅴ. 本学の教育全般について

Q20. 本学での経験全般についてどれくらい満足していますか。



本学での経験全体に対しては、「とても満足」、「満足」としたポジティブ回答が合わせて 90%以上となった。５件法で中立の「どちらともいえない」が選択肢にあるにもかかわらずポジティブ回答が高くなった。Q9 や Q11 の回答に見るように個別にみると「満足」とは言えない項目もあるものの、入学から卒業までの間で経験したこと全体に対して高く評価してくれたことがわかる。

Q26.本学での学生生活をふまえて、皆さんのお知り合いの方に本学への進学をすすめたいと思いますか。



本学への進学推奨については、「すすめたい」、「どちらかと言えばすすめたい」が合わせて60%強となった。Q20（大学での経験全般への満足度）およびQ8（学生生活の充実感）の項目とのクロス集計を以下に示す。満足度や充実感が高くても、本学への進学推奨を「どちらかと言えばすすめたくない」「進めたくない」とした回答者からの自由記述コメントは、学費等の経済的な内容に関するものが多かった。

本学の推奨について	本学での経験全般についてどれくらい満足していますか。										あなたの学生生活は充実していましたか。							
	とても満足		満足		どちらともいえない		不満		とても不満		充実していた		まあまあ充実していた		あまり充実していなかった		充実していなかった	
すすめたい	37	18.0%	8	3.9%							43	20.9%	2	1.0%				
どちらかと言えばすすめたい	23	11.2%	57	27.7%	1	0.5%					56	27.2%	25	12.1%				
どちらともいえない	4	1.9%	45	21.8%	11	5.3%					23	11.2%	36	17.5%	1	0.5%		
どちらかと言えばすすめたくない			3	1.5%	3	1.5%					4	1.9%	2	1.0%				
すすめたくない	1	0.5%	1	0.5%	3	1.5%	2	1.0%			2	1.0%	3	1.5%	1	0.5%	1	0.5%
無回答	4	1.9%	3	1.5%							6	2.9%	1	0.5%				

Ⅵ.学部比較

以下、一部の項目について学部比較をしたものを示す。

学生自身の成長実感について確認している項目として、Q3とQ19と挙げる。

「Q3.入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。」では、「数理的な能力」や「外国語の運用能力」を除くと、おおむね「増えた」とする回答が多い。細かく見ると、専門や学科の特性によって「大きく増えた」と「増えた」に違いが見られたことから、「大きく増えた」に注目してコメントする。なお、「Q19.大学全体のディプロマポリシーの達成についてうかがいます。」については、学科比較での大きな特徴は見られなかった。

●専門分野や学科の知識

食生活健康学科、子ども学科、看護学科では５割を超えており、資格取得に向けて専門的な学びがみについたと考える学生が多いようである。

●物事を客観的にとらえて、論理的に考える能力

日本文化学科では約６割が答えている。文学作品を解釈することや日本語の力を磨くこと、また、複数の利害関係者の立場を理解する必要がある地域での学びを通、身についた実感を持ったと推測される。

●他の人と協力して物事を遂行する能力

●コミュニケーション能力

日本文化学科、子ども学科、看護学科では他学科と比較して高くなっている。PBLや実習を通じてこれらの力が大きく伸びたとの実感が得られたのではないかと推測される。

次に、教育の満足度について確認している項目として、Q9、Q15、Q20、Q26を挙げる。

このうち、注目したいのがQ9の特にカリキュラムに関する項目で、子ども学科で満足度が低くなっている（「不満」・「とても不満」の回答数が他より多い）。学科別で示している自由記述なども参考にしながら、必要に応じて、改善について検討をお願いしたい。

項目	選択肢	英語学科		日本文化学科		音楽学科		食生活健康学科		生活デザイン学科		子ども学科		看護学科	
		N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
一般的な教養	大きく増えた	5	27.8%	8	36.4%	3	20.0%	12	37.5%	7	21.9%	11	45.8%	36	57.1%
	増えた	13	72.2%	13	59.1%	12	80.0%	19	59.4%	24	75.0%	12	50.0%	26	41.3%
	変化なし	0	0.0%	1	4.6%	0	0.0%	1	3.1%	1	3.1%	1	4.2%	1	1.6%
	減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	大きく減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
分析力や 問題解決能力	大きく増えた	4	22.2%	9	40.9%	4	26.7%	7	21.9%	4	12.5%	10	41.7%	28	44.4%
	増えた	12	66.7%	13	59.1%	8	53.3%	24	75.0%	27	84.4%	13	54.2%	33	52.4%
	変化なし	2	11.1%	0	0.0%	3	20.0%	0	0.0%	1	3.1%	1	4.2%	2	3.2%
	減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	大きく減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
専門分野や 学科の知識	大きく増えた	5	27.8%	8	36.4%	5	33.3%	16	50.0%	13	40.6%	18	75.0%	44	69.8%
	増えた	13	72.2%	13	59.1%	10	66.7%	16	50.0%	19	59.4%	6	25.0%	18	28.6%
	変化なし	0	0.0%	1	4.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
	減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	大きく減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
物事を客観的に とらえて、 論理的に考える能力	大きく増えた	5	27.8%	13	59.1%	4	26.7%	6	18.8%	6	18.8%	10	41.7%	29	46.0%
	増えた	11	61.1%	8	36.4%	9	60.0%	26	81.3%	25	78.1%	13	54.2%	33	52.4%
	変化なし	2	11.1%	1	4.6%	2	13.3%	0	0.0%	1	3.1%	1	4.2%	1	1.6%
	減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	大きく減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
異文化の人々に 関する知識	大きく増えた	9	50.0%	6	27.3%	3	20.0%	3	9.4%	2	6.3%	3	12.5%	8	12.7%
	増えた	9	50.0%	14	63.6%	9	60.0%	15	46.9%	21	65.6%	11	45.8%	27	42.9%
	変化なし	0	0.0%	2	9.1%	3	20.0%	14	43.8%	9	28.1%	10	41.7%	26	41.3%
	減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
	大きく減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
リーダーシップの 能力	大きく増えた	4	22.2%	6	27.3%	5	33.3%	3	9.4%	6	18.8%	5	20.8%	11	17.5%
	増えた	11	61.1%	13	59.1%	4	26.7%	18	56.3%	14	43.8%	11	45.8%	46	73.0%
	変化なし	3	16.7%	3	13.6%	5	33.3%	10	31.3%	12	37.5%	7	29.2%	6	9.5%
	減った	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	大きく減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%
人間関係を 構築する能力	大きく増えた	6	33.3%	10	45.5%	7	46.7%	7	21.9%	8	25.0%	11	45.8%	25	39.7%
	増えた	11	61.1%	11	50.0%	7	46.7%	21	65.6%	23	71.9%	9	37.5%	36	57.1%
	変化なし	0	0.0%	1	4.6%	0	0.0%	3	9.4%	1	3.1%	3	12.5%	1	1.6%
	減った	1	5.6%	0	0.0%	1	6.7%	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	大きく減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
他の人と協力して 物事を遂行する能力	大きく増えた	5	27.8%	10	45.5%	5	33.3%	7	21.9%	7	21.9%	11	45.8%	30	47.6%
	増えた	13	72.2%	11	50.0%	10	66.7%	20	62.5%	23	71.9%	11	45.8%	32	50.8%
	変化なし	0	0.0%	1	4.6%	0	0.0%	4	12.5%	2	6.3%	1	4.2%	1	1.6%
	減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	大きく減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

項目	選択肢	英語学科		日本文化学科		音楽学科		食生活健康学科		生活デザイン学科		子ども学科		看護学科	
		N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
異文化の人々と協力する能力	大きく増えた	4	22.2%	6	27.3%	4	26.7%	2	6.3%	3	9.4%	3	12.5%	7	11.1%
	増えた	12	66.7%	11	50.0%	8	53.3%	11	34.4%	20	62.5%	4	16.7%	19	30.2%
	変化なし	2	11.1%	5	22.7%	3	20.0%	19	59.4%	9	28.1%	17	70.8%	34	54.0%
	減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
	大きく減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.2%
地域社会が直面する問題を理解する能力	大きく増えた	4	22.2%	7	31.8%	2	13.3%	4	12.5%	5	15.6%	4	16.7%	13	20.6%
	増えた	12	66.7%	14	63.6%	10	66.7%	20	62.5%	23	71.9%	16	66.7%	36	57.1%
	変化なし	2	11.1%	1	4.6%	2	13.3%	8	25.0%	4	12.5%	4	16.7%	14	22.2%
	減った	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	大きく減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国民が直面する問題を理解する能力	大きく増えた	4	22.2%	4	18.2%	3	20.0%	3	9.4%	3	9.4%	5	20.8%	10	15.9%
	増えた	12	66.7%	13	59.1%	10	66.7%	19	59.4%	20	62.5%	9	37.5%	38	60.3%
	変化なし	2	11.1%	5	22.7%	2	13.3%	10	31.3%	9	28.1%	10	41.7%	15	23.8%
	減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	大きく減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
文章表現の能力	大きく増えた	3	16.7%	7	31.8%	3	20.0%	3	9.4%	4	12.5%	6	25.0%	16	25.4%
	増えた	10	55.6%	15	68.2%	8	53.3%	24	75.0%	21	65.6%	15	62.5%	43	68.3%
	変化なし	5	27.8%	0	0.0%	3	20.0%	5	15.6%	7	21.9%	3	12.5%	4	6.4%
	減った	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	大きく減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
外国語の運用能力	大きく増えた	6	33.3%	3	13.6%	2	13.3%	2	6.3%	1	3.1%	1	4.2%	4	6.4%
	増えた	11	61.1%	9	40.9%	7	46.7%	4	12.5%	12	37.5%	4	16.7%	11	17.5%
	変化なし	1	5.6%	10	45.5%	6	40.0%	24	75.0%	19	59.4%	17	70.8%	42	66.7%
	減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	6.3%	0	0.0%	2	8.3%	5	7.9%
	大きく減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
コミュニケーションの能力	大きく増えた	4	22.2%	9	40.9%	4	26.7%	5	15.6%	4	12.5%	11	45.8%	27	42.9%
	増えた	13	72.2%	13	59.1%	9	60.0%	24	75.0%	25	78.1%	11	45.8%	36	57.1%
	変化なし	1	5.6%	0	0.0%	1	6.7%	3	9.4%	3	9.4%	1	4.2%	0	0.0%
	減った	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	大きく減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%
プレゼンテーションの能力	大きく増えた	6	33.3%	11	50.0%	5	33.3%	2	6.3%	7	21.9%	8	33.3%	20	31.8%
	増えた	10	55.6%	10	45.5%	9	60.0%	22	68.8%	20	62.5%	12	50.0%	40	63.5%
	変化なし	2	11.1%	1	4.6%	1	6.7%	8	25.0%	5	15.6%	4	16.7%	3	4.8%
	減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	大きく減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
数理的な能力（計算力や数学的な情報を活用する能力）	大きく増えた	3	16.7%	3	13.6%	3	20.0%	4	12.5%	3	9.4%	1	4.2%	7	11.1%
	増えた	6	33.3%	10	45.5%	4	26.7%	20	62.5%	13	40.6%	1	4.2%	29	46.0%
	変化なし	9	50.0%	9	40.9%	6	40.0%	8	25.0%	16	50.0%	19	79.2%	24	38.1%
	減った	0	0.0%	0	0.0%	2	13.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	12.5%	3	4.8%
	大きく減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

項目	選択肢	英語学科		日本文化学科		音楽学科		食生活健康学科		生活デザイン学科		子ども学科		看護学科	
		N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
コンピュータの操作能力	大きく増えた	5	27.8%	6	27.3%	5	33.3%	6	18.8%	12	37.5%	7	29.2%	21	33.3%
	増えた	8	44.4%	16	72.7%	8	53.3%	23	71.9%	19	59.4%	12	50.0%	37	58.7%
	変化なし	5	27.8%	0	0.0%	2	13.3%	3	9.4%	1	3.1%	5	20.8%	5	7.9%
	減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	大きく減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
時間を効果的に利用する能力	大きく増えた	6	33.3%	6	27.3%	5	33.3%	5	15.6%	7	21.9%	12	50.0%	28	44.4%
	増えた	11	61.1%	14	63.6%	9	60.0%	26	81.3%	18	56.3%	8	33.3%	31	49.2%
	変化なし	1	5.6%	2	9.1%	1	6.7%	1	3.1%	6	18.8%	4	16.7%	4	6.4%
	減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%
	大きく減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
グローバルな問題に対する理解	大きく増えた	5	27.8%	4	18.2%	2	13.3%	2	6.3%	2	6.3%	1	4.2%	4	6.4%
	増えた	13	72.2%	14	63.6%	9	60.0%	14	43.8%	17	53.1%	13	54.2%	26	41.3%
	変化なし	0	0.0%	4	18.2%	4	26.7%	15	46.9%	13	40.6%	10	41.7%	33	52.4%
	減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	大きく減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
卒業後に就職するための準備の度合い	大きく増えた	5	27.8%	8	36.4%	3	20.0%	6	18.8%	9	28.1%	12	50.0%	25	39.7%
	増えた	10	55.6%	14	63.6%	7	46.7%	22	68.8%	20	62.5%	10	41.7%	35	55.6%
	変化なし	3	16.7%	0	0.0%	4	26.7%	4	12.5%	3	9.4%	2	8.3%	3	4.8%
	減った	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	大きく減った	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
（建学の精神）キリスト教の理念ならびに本学の建学の精神を理解し、それらに基づき世界や人間のあり方について深く思索・探究できる。	達成している	2	11.11%	4	18.18%	1	6.67%	4	12.50%	5	15.63%	2	8.33%	11	17.46%
	どちらかといえば達成している	9	50.00%	11	50.00%	7	46.67%	18	56.25%	18	56.25%	7	29.17%	45	71.43%
	どちらともいえない	6	33.33%	6	27.27%	5	33.33%	8	25.00%	7	21.88%	11	45.83%	7	11.11%
	どちらかといえば達成していない	1	5.56%	0	0.00%	1	6.67%	1	3.13%	1	3.13%	3	12.50%	0	0.00%
	達成していない	0	0.00%	0	0.00%	1	6.67%	1	3.13%	1	3.13%	1	4.17%	0	0.00%
	無回答	0	0.00%	1	4.55%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
（人間としての尊厳）平和的・民主的な社会の担い手となるため、自らと他者の尊厳を重んじることができる。	達成している	3	16.67%	5	22.73%	1	6.67%	4	12.50%	5	15.63%	4	16.67%	23	36.51%
	どちらかといえば達成している	11	61.11%	13	59.09%	10	66.67%	22	68.75%	23	71.88%	13	54.17%	36	57.14%
	どちらともいえない	4	22.22%	3	13.64%	3	20.00%	5	15.63%	3	9.38%	4	16.67%	4	6.35%
	どちらかといえば達成していない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	3.13%	1	4.17%	0	0.00%
	達成していない	0	0.00%	0	0.00%	1	6.67%	1	3.13%	0	0.00%	1	4.17%	0	0.00%
	無回答	0	0.00%	1	4.55%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	4.17%	0	0.00%
（職業人）職業人として経済的・精神的に独立していくために必要な、広い教養と専攻分野における専門的知識・技能を身に付けている。	達成している	2	11.11%	4	18.18%	2	13.33%	4	12.50%	5	15.63%	3	12.50%	20	31.75%
	どちらかといえば達成している	10	55.56%	14	63.64%	8	53.33%	21	65.63%	19	59.38%	13	54.17%	40	63.49%
	どちらともいえない	6	33.33%	2	9.09%	5	33.33%	5	15.63%	7	21.88%	6	25.00%	3	4.76%
	どちらかといえば達成していない	0	0.00%	1	4.55%	0	0.00%	0	0.00%	1	3.13%	0	0.00%	0	0.00%
	達成していない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	3.13%	0	0.00%	2	8.33%	0	0.00%
	無回答	0	0.00%	1	4.55%	0	0.00%	1	3.13%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
（広い視野に立つ社会人）国際的な視野を持つ社会人として地域や人類社会の福祉と発展に貢献するため、他者と協働し、生涯にわたり自ら学び続けようとする態度を身に付けている。	達成している	3	16.67%	4	18.18%	1	6.67%	4	12.50%	6	18.75%	2	8.33%	15	23.81%
	どちらかといえば達成している	10	55.56%	14	63.64%	10	66.67%	21	65.63%	17	53.13%	13	54.17%	45	71.43%
	どちらともいえない	5	27.78%	3	13.64%	4	26.67%	6	18.75%	8	25.00%	7	29.17%	3	4.76%
	どちらかといえば達成していない	0	0.00%	1	4.55%	0	0.00%	0	0.00%	1	3.13%	0	0.00%	0	0.00%
	達成していない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	3.13%	0	0.00%	2	8.33%	0	0.00%

項目	選択肢	英語学科		日本文化学科		音楽学科		食生活健康学科		生活デザイン学科		子ども学科		看護学科	
		N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
教養教育科目の必修科目	とても満足	2	11.1%	5	22.7%	1	6.7%	4	12.5%	6	18.8%	2	8.3%	21	33.3%
	満足	14	77.8%	15	68.2%	11	73.3%	20	62.5%	20	62.5%	12	50.0%	39	61.9%
	どちらともいえない	2	11.1%	2	9.1%	3	20.0%	8	25.0%	5	15.6%	6	25.0%	2	3.2%
	不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%	2	8.3%	1	1.6%
	とても不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	8.3%	0	0.0%
教養教育科目の選択科目	とても満足	3	16.7%	5	22.7%	1	6.7%	4	12.5%	6	18.8%	2	8.3%	19	30.2%
	満足	13	72.2%	15	68.2%	11	73.3%	20	62.5%	21	65.6%	10	41.7%	42	66.7%
	どちらともいえない	2	11.1%	2	9.1%	3	20.0%	8	25.0%	4	12.5%	9	37.5%	2	3.2%
	不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%	2	8.3%	0	0.0%
	とても不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%
教養教育のカリキュラム	とても満足	4	22.2%	4	18.2%	1	6.7%	3	9.4%	5	15.6%	2	8.3%	15	23.8%
	満足	11	61.1%	14	63.6%	10	66.7%	17	53.1%	19	59.4%	8	33.3%	46	73.0%
	どちらともいえない	3	16.7%	4	18.2%	4	26.7%	12	37.5%	8	25.0%	11	45.8%	2	3.2%
	不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	とても不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	12.5%	0	0.0%
専門科目の必修科目	とても満足	4	22.2%	4	18.2%	3	20.0%	7	21.9%	6	18.8%	4	16.7%	22	34.9%
	満足	12	66.7%	17	77.3%	10	66.7%	19	59.4%	20	62.5%	11	45.8%	40	63.5%
	どちらともいえない	2	11.1%	1	4.6%	2	13.3%	5	15.6%	5	15.6%	6	25.0%	1	1.6%
	不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%	1	3.1%	1	4.2%	0	0.0%
	とても不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	8.3%	0	0.0%
専門科目の選択科目	とても満足	3	16.7%	5	22.7%	3	20.0%	7	21.9%	8	25.0%	3	12.5%	21	33.3%
	満足	14	77.8%	16	72.7%	10	66.7%	18	56.3%	19	59.4%	10	41.7%	40	63.5%
	どちらともいえない	1	5.6%	1	4.6%	2	13.3%	7	21.9%	4	12.5%	8	33.3%	1	1.6%
	不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%	1	4.2%	1	1.6%
	とても不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	8.3%	0	0.0%
専門教育のカリキュラム	とても満足	3	16.7%	4	18.2%	2	13.3%	7	21.9%	6	18.8%	3	12.5%	22	34.9%
	満足	13	72.2%	17	77.3%	10	66.7%	17	53.1%	20	62.5%	11	45.8%	39	61.9%
	どちらともいえない	2	11.1%	1	4.6%	2	13.3%	8	25.0%	5	15.6%	7	29.2%	2	3.2%
	不満	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%
	とても不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	12.5%	0	0.0%
科目の学年別配当	とても満足	4	22.2%	3	13.6%	1	6.7%	4	12.5%	5	15.6%	2	8.3%	11	17.5%
	満足	10	55.6%	13	59.1%	9	60.0%	16	50.0%	17	53.1%	4	16.7%	48	76.2%
	どちらともいえない	3	16.7%	6	27.3%	5	33.3%	7	21.9%	10	31.3%	8	33.3%	4	6.4%
	不満	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	5	15.6%	0	0.0%	5	20.8%	0	0.0%
	とても不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	20.8%	0	0.0%
時間割上の授業の配置	とても満足	2	11.1%	3	13.6%	1	6.7%	3	9.4%	5	15.6%	0	0.0%	8	12.7%
	満足	6	33.3%	9	40.9%	9	60.0%	18	56.3%	9	28.1%	3	12.5%	31	49.2%
	どちらともいえない	7	38.9%	8	36.4%	5	33.3%	7	21.9%	15	46.9%	7	29.2%	20	31.8%
	不満	3	16.7%	2	9.1%	0	0.0%	4	12.5%	3	9.4%	8	33.3%	4	6.4%
	とても不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	25.0%	0	0.0%

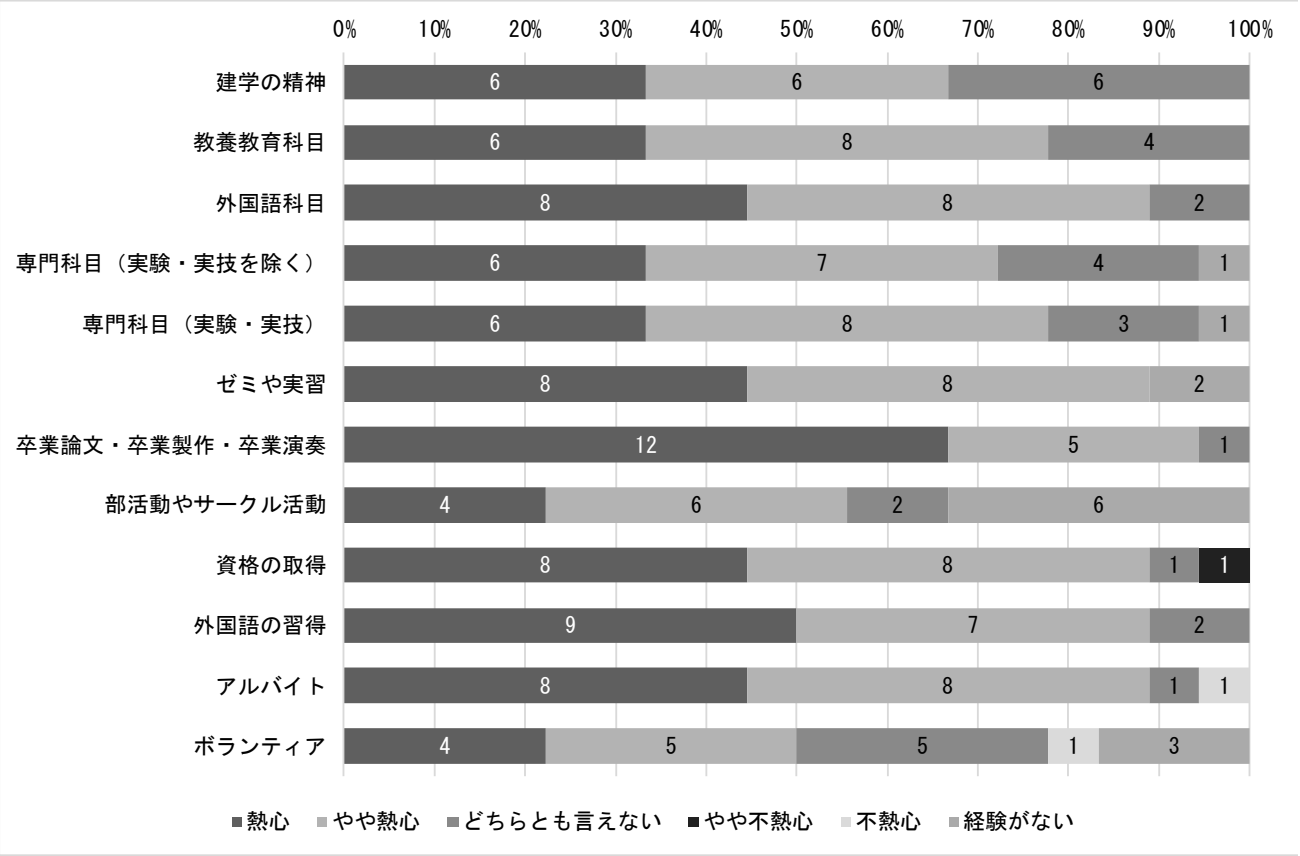
項目	選択肢	英語学科		日本文化学科		音楽学科		食生活健康学科		生活デザイン学科		子ども学科		看護学科	
		N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
１つの授業を履修する学生数	とても満足	3	16.7%	6	27.3%	2	13.3%	3	9.4%	5	15.6%	2	8.3%	15	23.8%
	満足	11	61.1%	10	45.5%	9	60.0%	23	71.9%	22	68.8%	14	58.3%	42	66.7%
	どちらともいえない	4	22.2%	6	27.3%	4	26.7%	6	18.8%	4	12.5%	8	33.3%	6	9.5%
	不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%
	とても不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
日常生活と授業内容との関連	とても満足	3	16.7%	6	27.3%	1	6.7%	5	15.6%	7	21.9%	1	4.2%	12	19.1%
	満足	14	77.8%	12	54.6%	8	53.3%	18	56.3%	19	59.4%	13	54.2%	40	63.5%
	どちらともいえない	1	5.6%	4	18.2%	6	40.0%	8	25.0%	6	18.8%	9	37.5%	11	17.5%
	不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%
	とても不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
将来の仕事と授業内容との関連	とても満足	3	16.7%	6	27.3%	3	20.0%	5	15.6%	10	31.3%	2	8.3%	28	44.4%
	満足	10	55.6%	11	50.0%	8	53.3%	22	68.8%	13	40.6%	12	50.0%	33	52.4%
	どちらともいえない	5	27.8%	5	22.7%	2	13.3%	5	15.6%	8	25.0%	8	33.3%	2	3.2%
	不満	0	0.0%	0	0.0%	2	13.3%	0	0.0%	1	3.1%	2	8.3%	0	0.0%
	とても不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
ゼミや演習などの教育内容	とても満足	5	27.8%	6	27.3%	3	20.0%	5	15.6%	13	40.6%	5	20.8%	19	30.2%
	満足	8	44.4%	14	63.6%	9	60.0%	20	62.5%	15	46.9%	9	37.5%	40	63.5%
	どちらともいえない	4	22.2%	2	9.1%	3	20.0%	5	15.6%	3	9.4%	10	41.7%	4	6.4%
	不満	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%
	とても不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
授業の全体的な質	とても満足	2	11.1%	5	22.7%	1	6.7%	3	9.4%	6	18.8%	0	0.0%	15	23.8%
	満足	11	61.1%	16	72.7%	10	66.7%	21	65.6%	17	53.1%	7	29.2%	47	74.6%
	どちらともいえない	5	27.8%	1	4.6%	4	26.7%	8	25.0%	7	21.9%	12	50.0%	0	0.0%
	不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%	2	8.3%	1	1.6%
	とても不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%	2	8.3%	0	0.0%
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%
教員と話をする機会	とても満足	3	16.7%	6	27.3%	2	13.3%	4	12.5%	6	18.8%	2	8.3%	17	27.0%
	満足	12	66.7%	13	59.1%	12	80.0%	23	71.9%	16	50.0%	8	33.3%	34	54.0%
	どちらともいえない	3	16.7%	3	13.6%	1	6.7%	4	12.5%	10	31.3%	14	58.3%	12	19.1%
	不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	とても不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
他の学生と話をする機会	とても満足	5	27.8%	4	18.2%	3	20.0%	4	12.5%	8	25.0%	5	20.8%	31	49.2%
	満足	11	61.1%	13	59.1%	10	66.7%	21	65.6%	21	65.6%	15	62.5%	30	47.6%
	どちらともいえない	2	11.1%	5	22.7%	2	13.3%	7	21.9%	3	9.4%	4	16.7%	2	3.2%
	不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	とても不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大学のなかでの学生同士の一体感	とても満足	5	27.8%	4	18.2%	2	13.3%	6	18.8%	5	15.6%	8	33.3%	29	46.0%
	満足	8	44.4%	9	40.9%	9	60.0%	16	50.0%	17	53.1%	12	50.0%	32	50.8%
	どちらともいえない	5	27.8%	9	40.9%	4	26.7%	9	28.1%	8	25.0%	3	12.5%	2	3.2%
	不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.1%	2	6.3%	1	4.2%	0	0.0%
	とても不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

項目	選択肢	英語学科		日本文化学科		音楽学科		食生活健康学科		生活デザイン学科		子ども学科		看護学科	
		N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%	N	%
多様な考え方を認め合う雰囲気	とても満足	4	22.2%	4	18.2%	3	20.0%	4	12.5%	8	25.0%	6	25.0%	25	39.7%
	満足	11	61.1%	14	63.6%	11	73.3%	20	62.5%	19	59.4%	13	54.2%	36	57.1%
	どちらともいえない	3	16.7%	4	18.2%	1	6.7%	8	25.0%	5	15.6%	5	20.8%	2	3.2%
	不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	とても不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
学習支援や個別の学習指導	とても満足	2	11.1%	4	18.2%	2	13.3%	4	12.5%	5	15.6%	1	4.2%	14	22.2%
	満足	11	61.1%	11	50.0%	9	60.0%	21	65.6%	17	53.1%	8	33.3%	39	61.9%
	どちらともいえない	5	27.8%	7	31.8%	4	26.7%	7	21.9%	10	31.3%	14	58.3%	10	15.9%
	不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%
	とても不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
各種資格講座・試験対策講座	とても満足	3	16.7%	7	31.8%	2	13.3%	6	18.8%	5	15.6%	2	8.3%	18	28.6%
	満足	7	38.9%	5	22.7%	6	40.0%	20	62.5%	11	34.4%	6	25.0%	36	57.1%
	どちらともいえない	8	44.4%	8	36.4%	7	46.7%	6	18.8%	16	50.0%	15	62.5%	9	14.3%
	不満	0	0.0%	2	9.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%
	とても不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
教育支援全般	とても満足	2	11.1%	5	22.7%	2	13.3%	4	12.5%	5	15.6%	0	0.0%	17	27.0%
	満足	12	66.7%	10	45.5%	10	66.7%	18	56.3%	17	53.1%	11	45.8%	38	60.3%
	どちらともいえない	4	22.2%	7	31.8%	3	20.0%	10	31.3%	10	31.3%	12	50.0%	8	12.7%
	不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.2%	0	0.0%
	とても不満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
就職先・進学先は希望通りでしたか。	第1希望	5	27.78%	9	40.91%	7	46.67%	13	40.63%	18	56.25%	16	66.67%	56	88.89%
	ほぼ希望通り	6	33.33%	10	45.45%	3	20.00%	15	46.88%	10	31.25%	4	16.67%	4	6.35%
	やや不本意	2	11.11%	1	4.55%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	8.33%	2	3.17%
	かなり不本意	0	0.00%	2	9.09%	0	0.00%	0	0.00%	1	3.13%	0	0.00%	0	0.00%
	無回答（未定・留学等）	5	27.78%	0	0.00%	5	33.33%	4	12.50%	3	9.38%	2	8.33%	1	1.59%
本学での経験全般についてどれくらい満足していますか。	とても満足	6	33.33%	10	45.45%	3	20.00%	8	25.00%	11	34.38%	3	12.50%	28	44.44%
	満足	10	55.56%	10	45.45%	10	66.67%	20	62.50%	19	59.38%	13	54.17%	35	55.56%
	どちらともいえない	2	11.11%	2	9.09%	2	13.33%	4	12.50%	2	6.25%	6	25.00%	0	0.00%
	不満	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	8.33%	0	0.00%
	とても不満	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
本学での学生生活をふまえて、皆さんのお知り合いの方に本学への進学をすすめたいと思いますか。	すすめたい	4	22.22%	7	31.82%	3	20.00%	6	18.75%	5	15.63%	3	12.50%	17	26.98%
	どちらかと言えばすすめたい	6	33.33%	9	40.91%	2	13.33%	11	34.38%	17	53.13%	7	29.17%	29	46.03%
	どちらともいえない	6	33.33%	5	22.73%	8	53.33%	13	40.63%	5	15.63%	9	37.50%	14	22.22%
	どちらかと言えばすすめたくない	0	0.00%	0	0.00%	2	13.33%	1	3.13%	1	3.13%	1	4.17%	1	1.59%
	すすめたくない	1	5.56%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	6.25%	3	12.50%	1	1.59%
	無回答	1	5.56%	1	4.55%	0	0.00%	1	3.13%	2	6.25%	1	4.17%	1	1.59%

2-2. 国際文化学部　英語学科

Ⅰ. 大学生活について

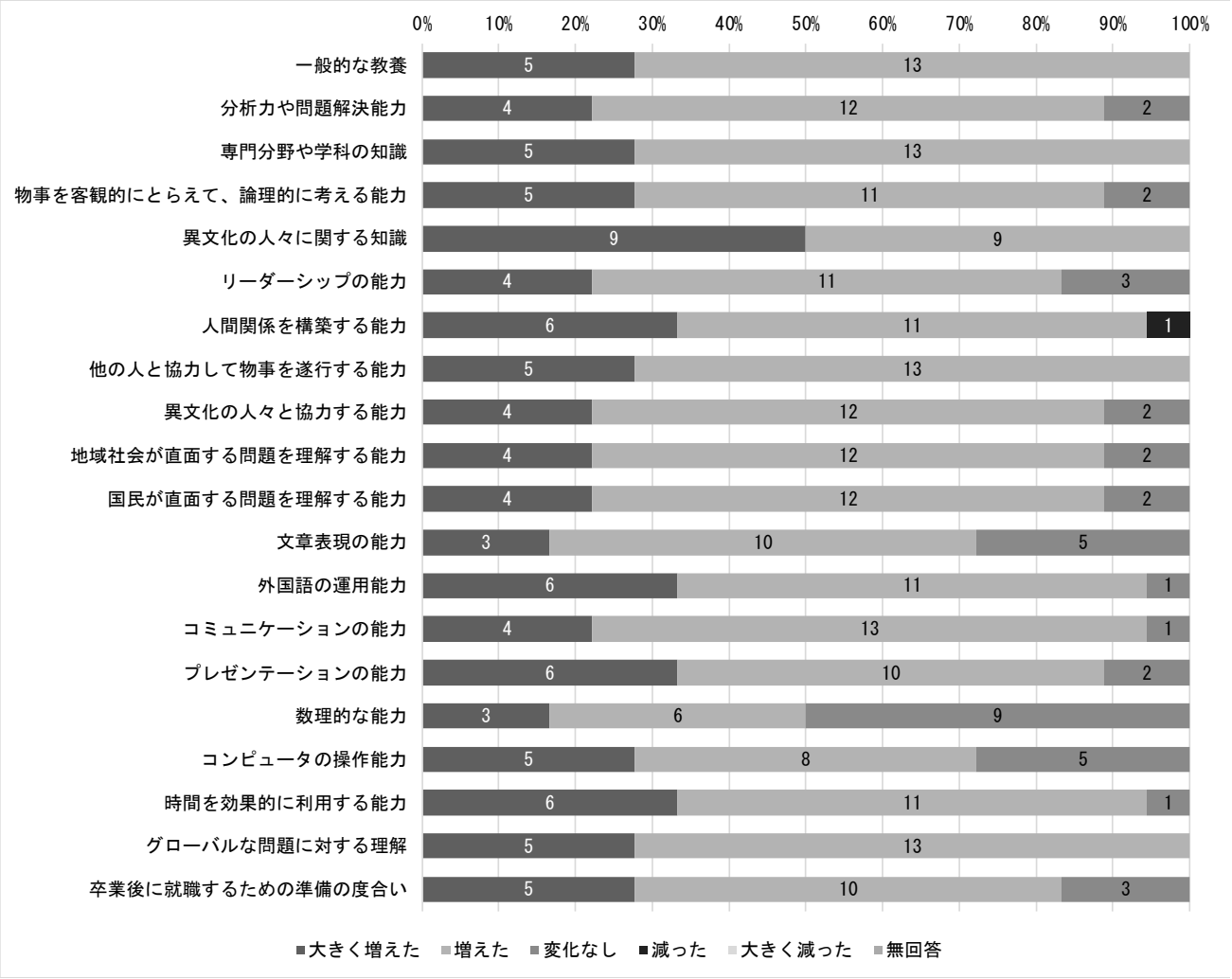
Q1. 大学の授業科目の学修や課外活動について、どの程度熱心に取り組みましたか。



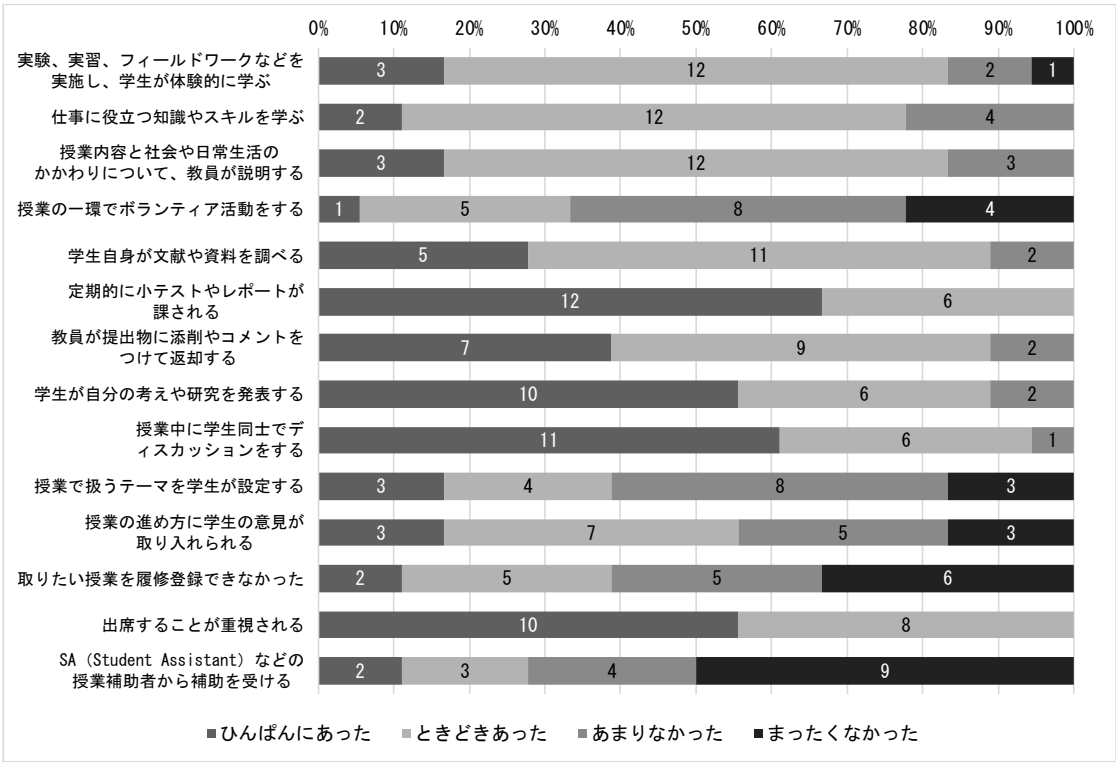
Q2. 上記以外で、大学時代に熱心に取り組んだことがあれば記入してください。

・インターン
・サッカー
・就職活動
・大学以外の場所で自分が興味もったことへの取り組みを特に頑張った。
・友達と遊んだりして、人間関係の構築に努めたこと。
・留学

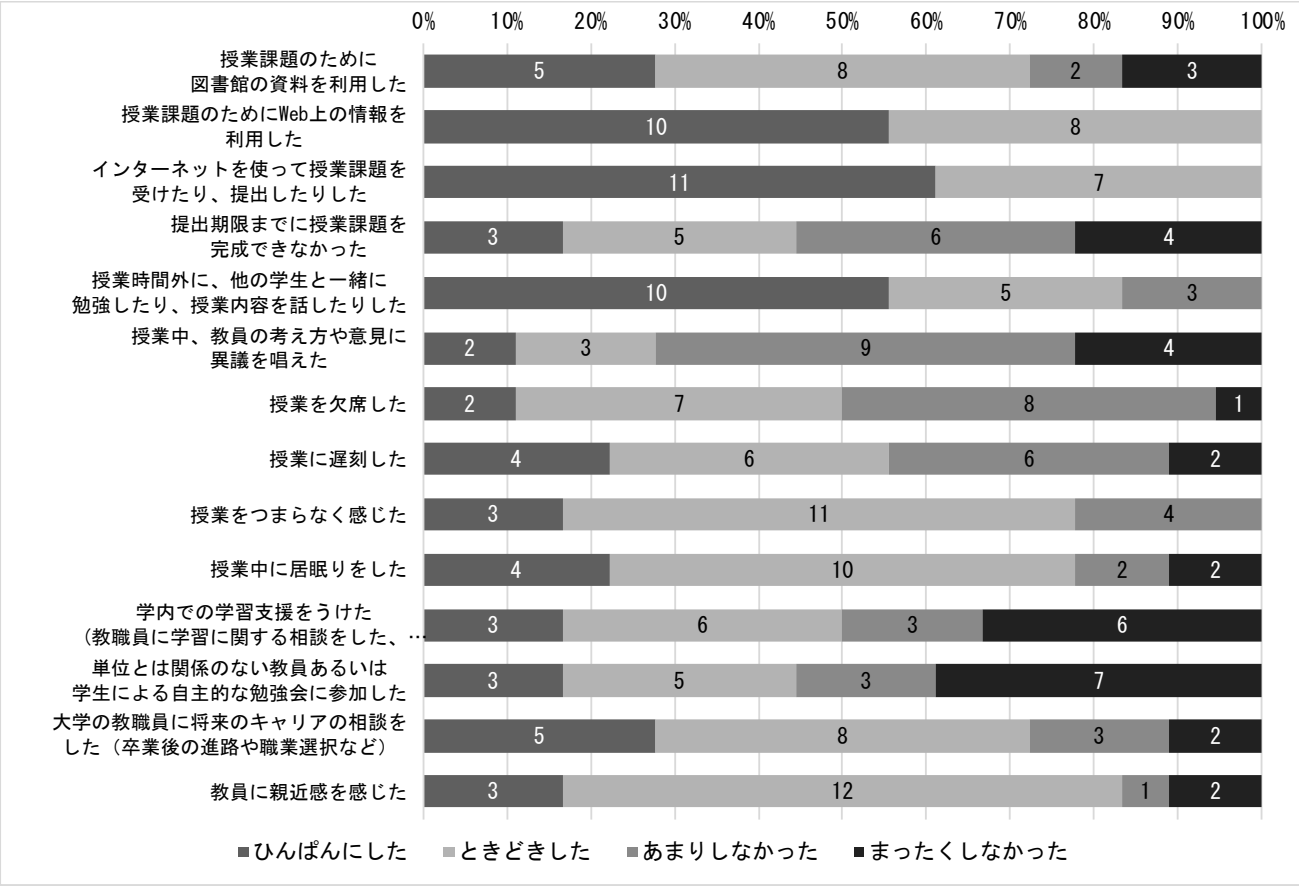
Q3. 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。



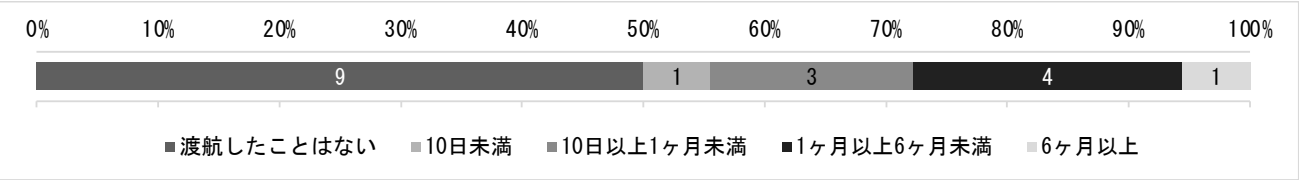
Q4. あなたが受講した授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか。



Q5. 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらい経験しましたか。

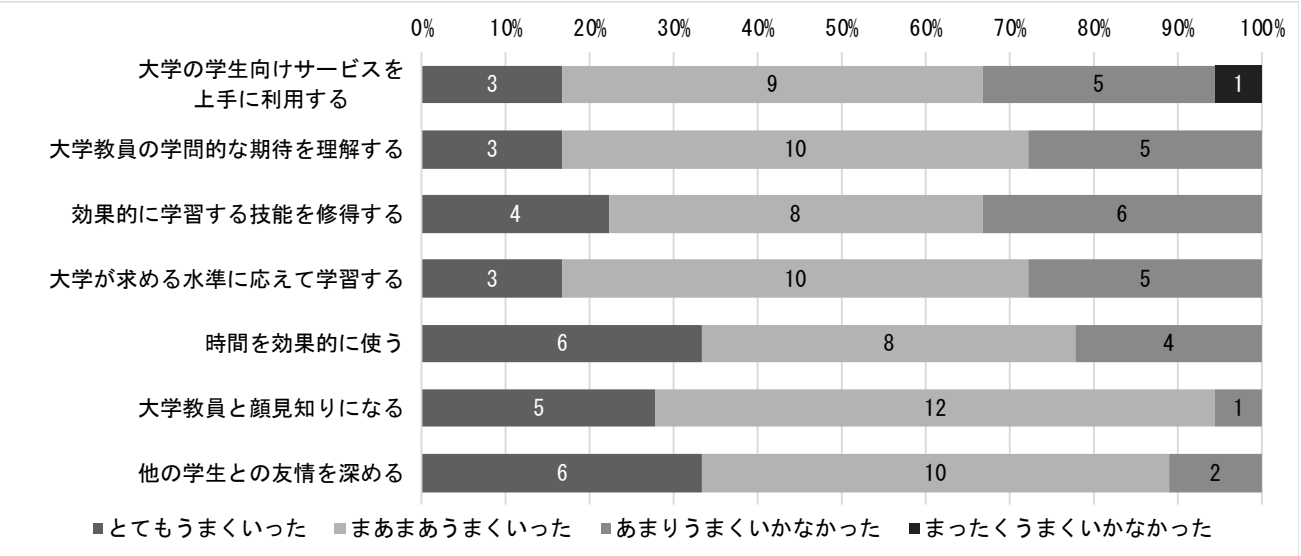


Q6. あなたは大学時代に留学をしましたか。最も長期の経験を 1 つだけ選んでください。

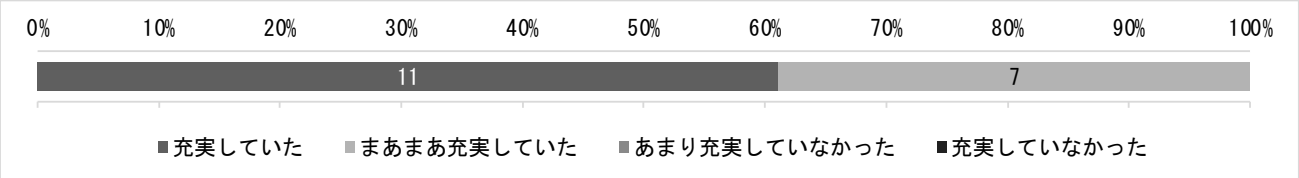


Ⅱ. 大学生活に対する考えや満足度について

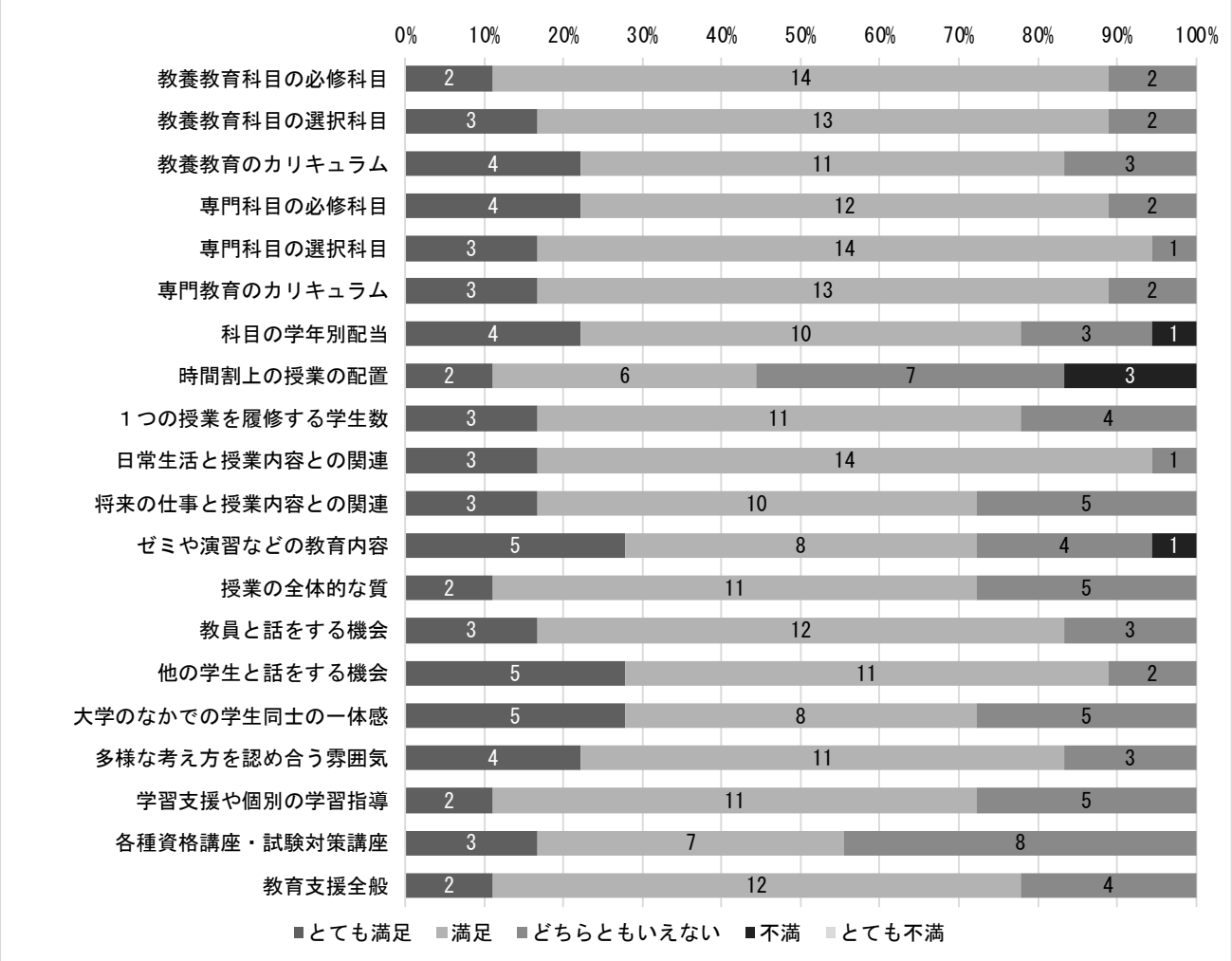
Q7. 本学に入学してから、あなたにとって次のことがらはどれくらいうまくいきましたか。



Q8. あなたの学生生活は充実していましたか。



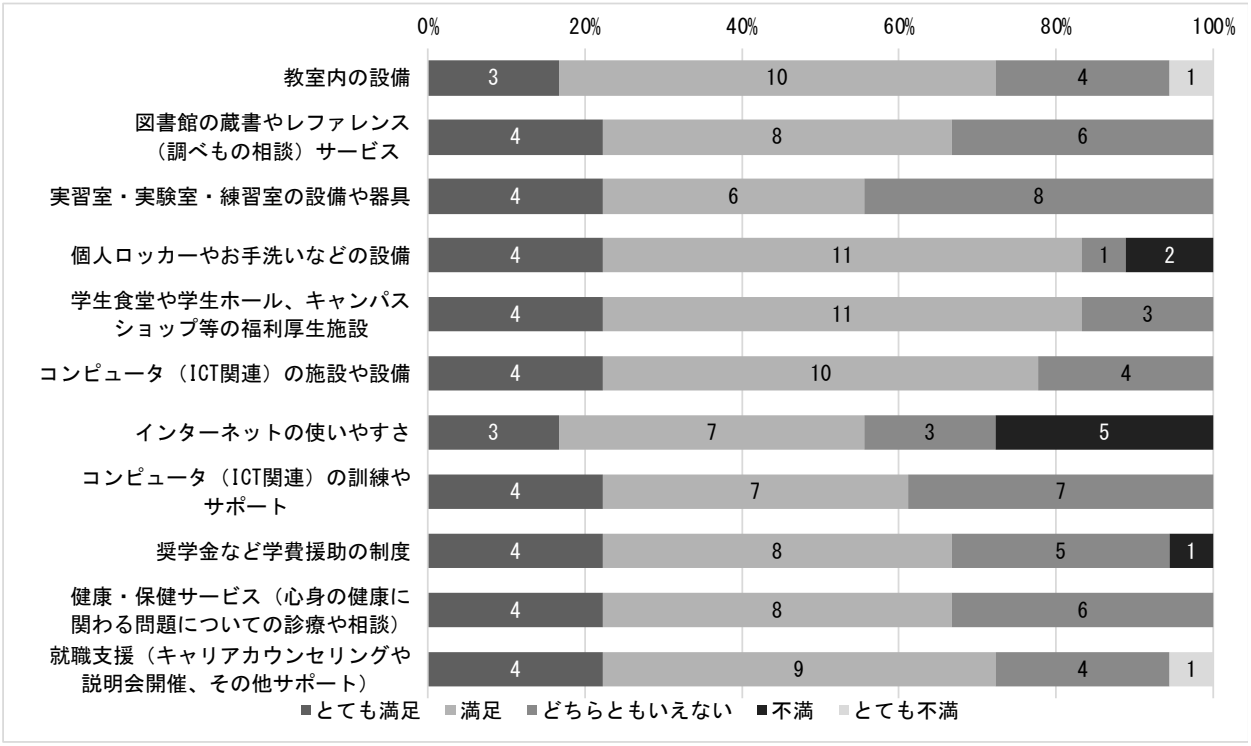
Q9. あなたは、本学の教育課程や教育支援等にどれくらい満足していますか。



Q10. 本学の教育課程や教育支援等に対して、ご意見・ご感想等があれば、自由に記入してください。

・英語学科の卒業論文ゼミの先生の教え方がクラスで違いすぎる。確実にサポートし順調に進んでいるクラスがあるなかで、毎回何も進まない 90 分間を過ごして 11 月頃まで卒論に対する細かい指導が全く無いクラスもあり、卒論の授業に関しては非常に先生選びが大切だと感じた。

Q11. あなたは、本学の設備や学生支援制度にどれくらい満足していますか。

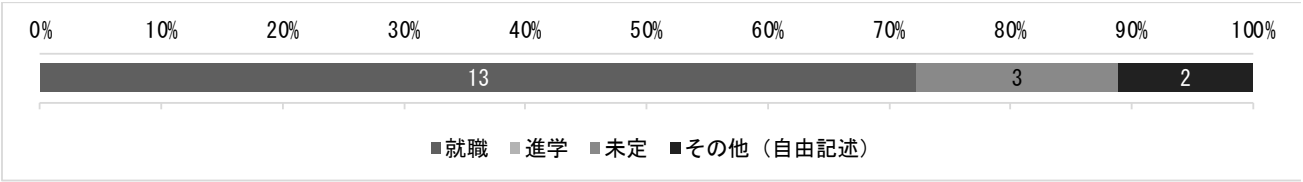


Q12. 本学の設備や学生支援制度に対して、ご意見・ご感想等があれば、自由に記入してください。

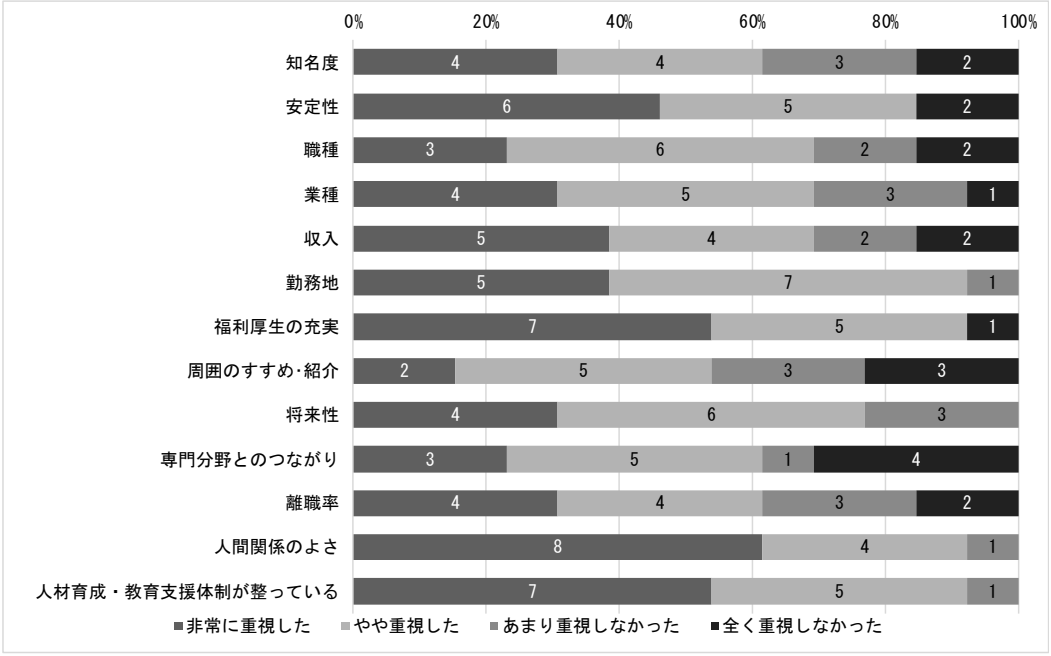
・就職課の方が非常に良くしてくださった。就職課が無ければ就活をスムーズに進めることは出来なかったと思う。

Ⅲ. 卒業後の進路について

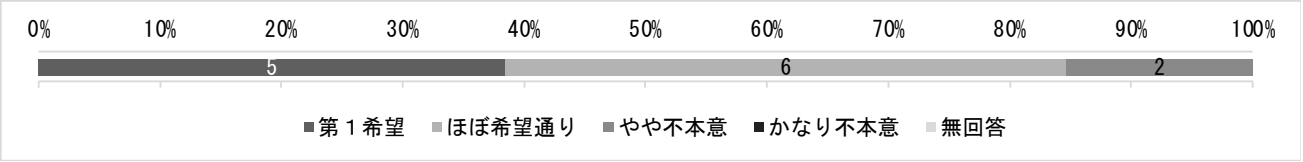
Q13. 卒業後の進路を教えてください。



Q14. 就職先の選択に際し、以下の項目をどれくらい重視しましたか。



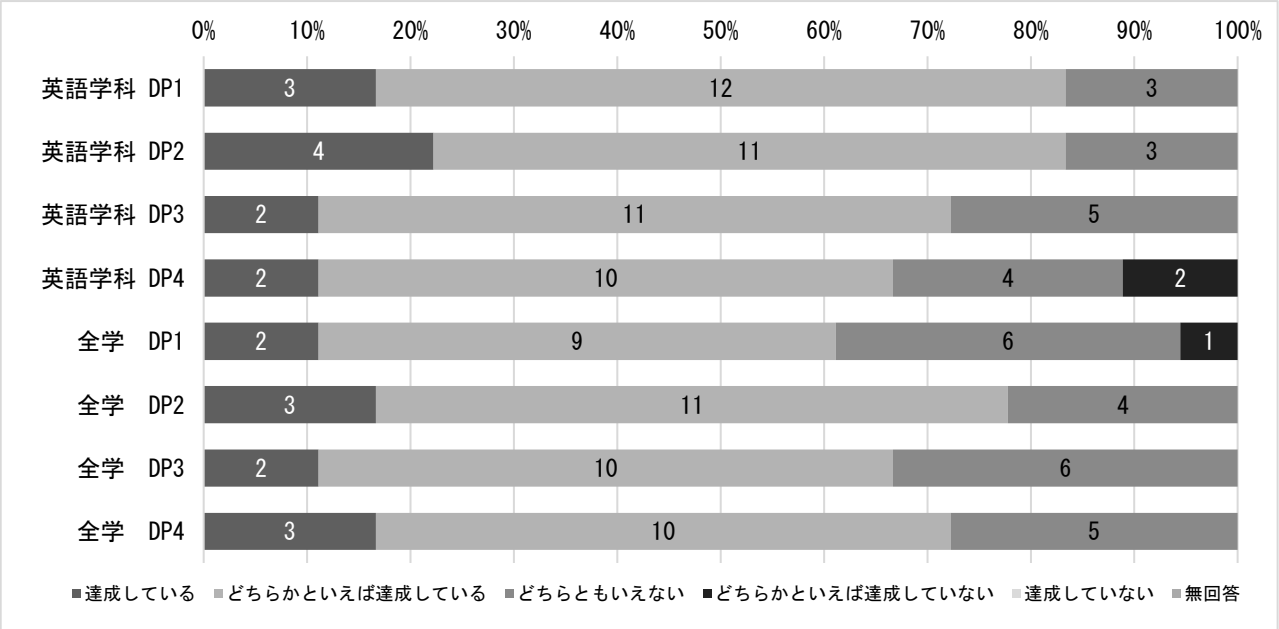
Q15. 就職先・進学先は希望通りでしたか。該当するものを１つだけ選んでください。



Q16. 卒業後の進路決定に関して、ご意見・ご感想等があれば、自由に記入してください。
（記入なし）

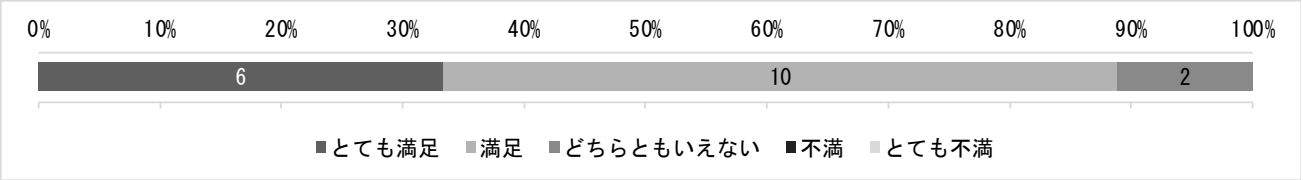
Ⅳ. 所属学科*ならびに大学のディプロマポリシーの達成度について　*Q17 で学科をたずねている
Q18. 英語学科のディプロマポリシーの達成についておたずねします。それぞれについて、該当すると思うものを１つ選んでください。
Q19. 大学全体のディプロマポリシーの達成についてうかがいます。それぞれについて、該当すると思うものを１つ選んでください。

No.	項目	n	達成している	どちらかといえば達成している	どちらともいえない	どちらかといえば達成していない	達成していない	無回答
1	他者の意見や価値観を尊重することができ、国際的視野に立って連携して社会に貢献する力を備えている。	18	3	12	3	0	0	0
			16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
2	英語圏の国々をはじめとする諸外国の言語・文学・文化を学び、その背景にある社会や歴史に関する知識を修得している。	18	2	11	5	0	0	0
			11.1%	61.1%	27.8%	0.0%	0.0%	0.0%
3	コミュニケーションのための英語運用能力を修得している。	18	2	11	5	0	0	0
			11.1%	61.1%	27.8%	0.0%	0.0%	0.0%
4	明晰かつ批判的に思考することができ、論文、発表として表現できる。	18	2	10	4	2	0	0
			11.1%	55.6%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%
1	（建学の精神） キリスト教の理念ならびに本学の建学の精神を理解し、それらに基づき世界や人間のあり方について深く思索・探究できる。	18	2	9	6	1	0	0
			11.1%	50.0%	33.3%	5.6%	0.0%	0.0%
2	（人間としての尊厳） 平和的・民主的な社会の担い手となるため、自らと他者の尊厳を重んじることができる。	18	3	11	4	0	0	0
			16.7%	61.1%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
3	（職業人） 職業人として経済的・精神的に独立していくために必要な、広い教養と専攻分野における専門的知識・技能を身に付けている。	18	2	10	6	0	0	0
			11.1%	55.6%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
4	（広い視野に立つ社会人） 国際的な視野を持つ社会人として地域や人類社会の福祉と発展に貢献するため、他者と協働し、生涯にわたり自ら学び続けようとする態度を身に付けている。	18	3	10	5	0	0	0
			16.7%	55.6%	27.8%	0.0%	0.0%	0.0%



Ⅴ.本学の教育全般について

Q20.本学での経験全般についてどれくらい満足していますか。



Q21.特に印象に残っている科目について、その理由もあわせて教えてください。

・Advanced English
・Graduation thesis 先生がとても親身になってくれて時間をかけて添削してくれたり、サポートしてくれたから
・ゴリンジ先生の Academic English は先生が毎回のトピックで私達に考えさせるような現代社会の問題などを投げかけてくださり、毎回の授業で今まで考えたことのなかった内容を話し合ったりして新たな視点を得ることができたと思う。授業時間もあっという間で特に印象に残っている。
・ドイツ語 自分が触れたことの無い言語をはじめから丁寧に学べた。先生の教え方も教科書を使いながらも、話せるようになることを目標に実践的な学び方をしたため非常に楽しかったし、ドイツ語の基礎が身に付いた。
・英語、常に英語の勉強をしてきたと思う
・西原先生の授業 おもしろい、生きてる英語って感じでした。
・卒業セミナー 自分で研究をして、初めて長い論文を書いたから。
・卒業研究 興味のあるテーマについて学びを深めることができたから
・通訳ガイド講習

Q22.あなたの成長に大きく寄与した教養教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。

・グローバル企業を知る
・西原先生の授業 日常の細かな英語に目を向けるようになったから。

Q23.あなたの成長に大きく寄与した専門教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。

・教職課程の１つでもあった、Teaching Young Leaders の授業は演習も充実していておもしろかった。

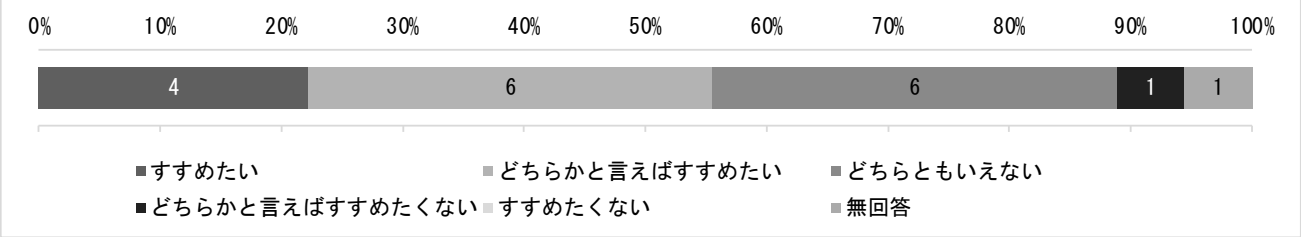
Q24.あなたのキャリア選択に大きく寄与した教養教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。

・グローバル企業を知る

Q25.あなたのキャリア選択に大きく寄与した専門教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。

（記入なし）

Q26.本学での学生生活をふまえて、皆さんのお知り合いの方に本学への進学をすすめたいと思いますか。



Q27.本学への進学の推奨に関して、上記のように回答した具体的な理由を教えてください。

すすめたい	・学生サポートがあるのが有難いし、配慮してくださるので学習しやすかった ・ひとつひとつのサポートが手厚いことが多い。
どちらかと言えばすすめたい	・留学生が少ないと感じる。もっと異文化交流があってもいいのではないかと思うから。 ・充実した学校生活を送れたから。 ・全体的に治安が良く、校内の雰囲気も良いから。
どちらともいえない	・県内に住んでいる人だといいと思うから ・TOEICなど座学では高得点を取ることができるようになったが、実際に英語を話すことに関してはあまり上達できなかったため
すすめたくない	・学校では生徒へ寄り添っていないと思った。理不尽なことが多い。

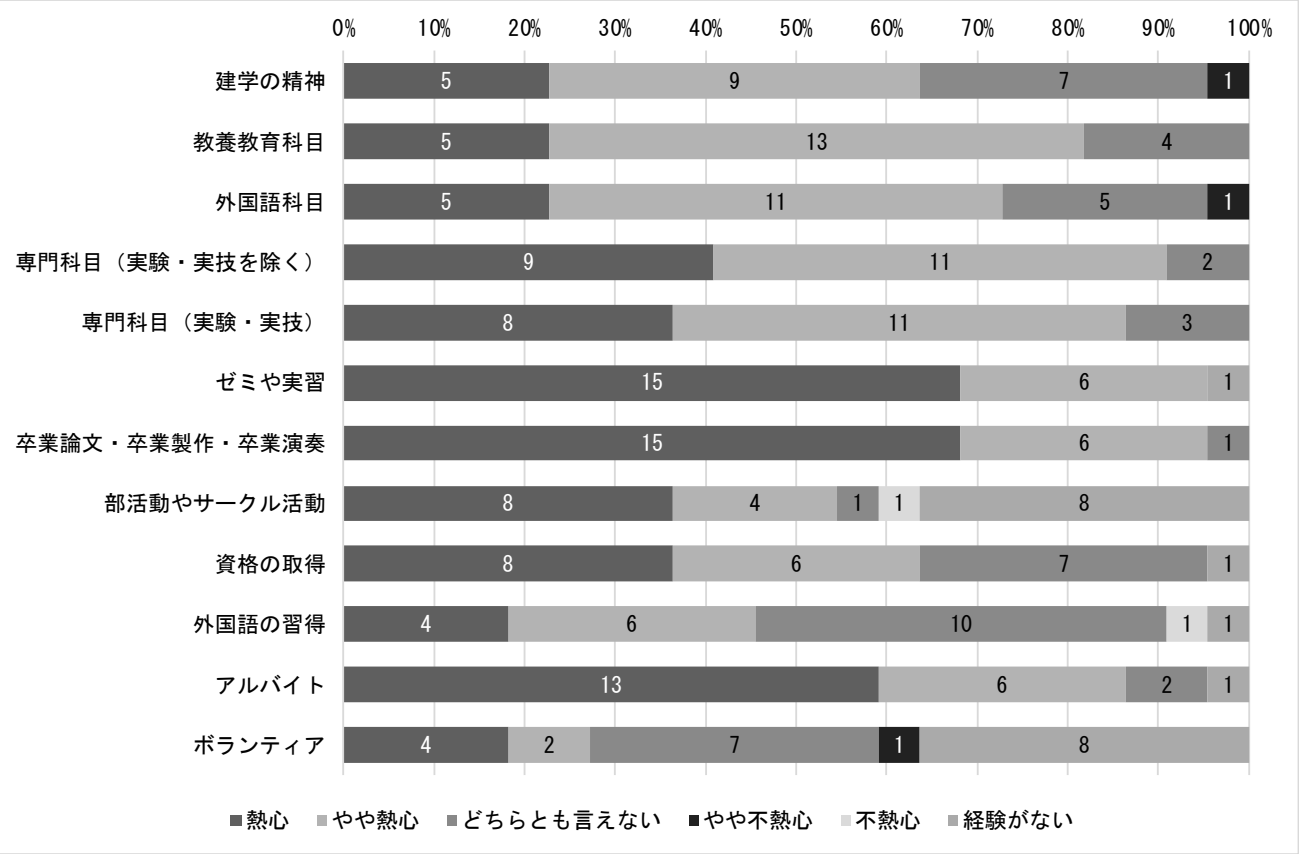
Q28.その他、本学に対するご意見・ご感想があれば記入してください。

（記入なし）

2-3. 国際文化学部　日本文化学科

Ⅰ. 大学生活について

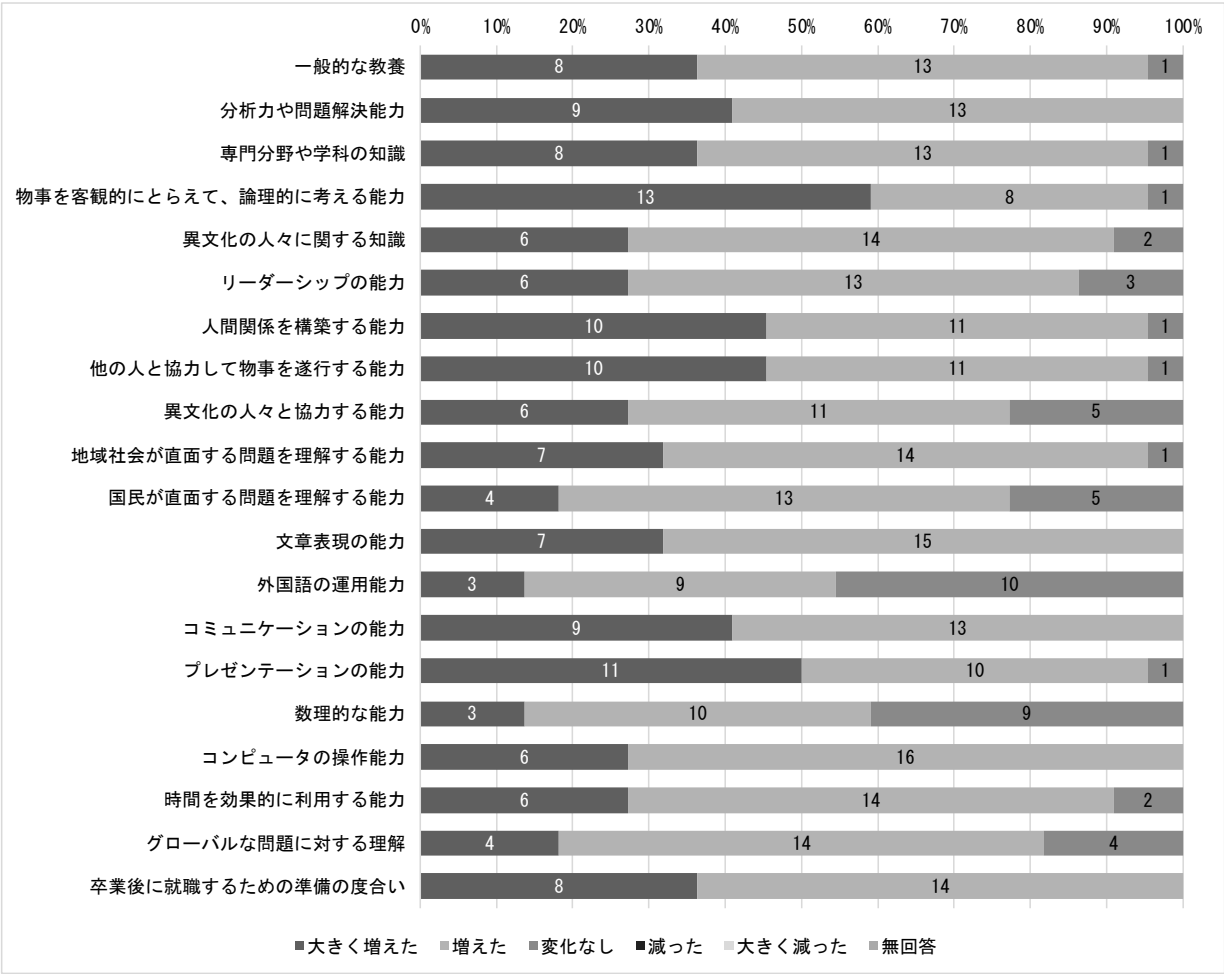
Q1. 大学の授業科目の学修や課外活動について、どの程度熱心に取り組みましたか。



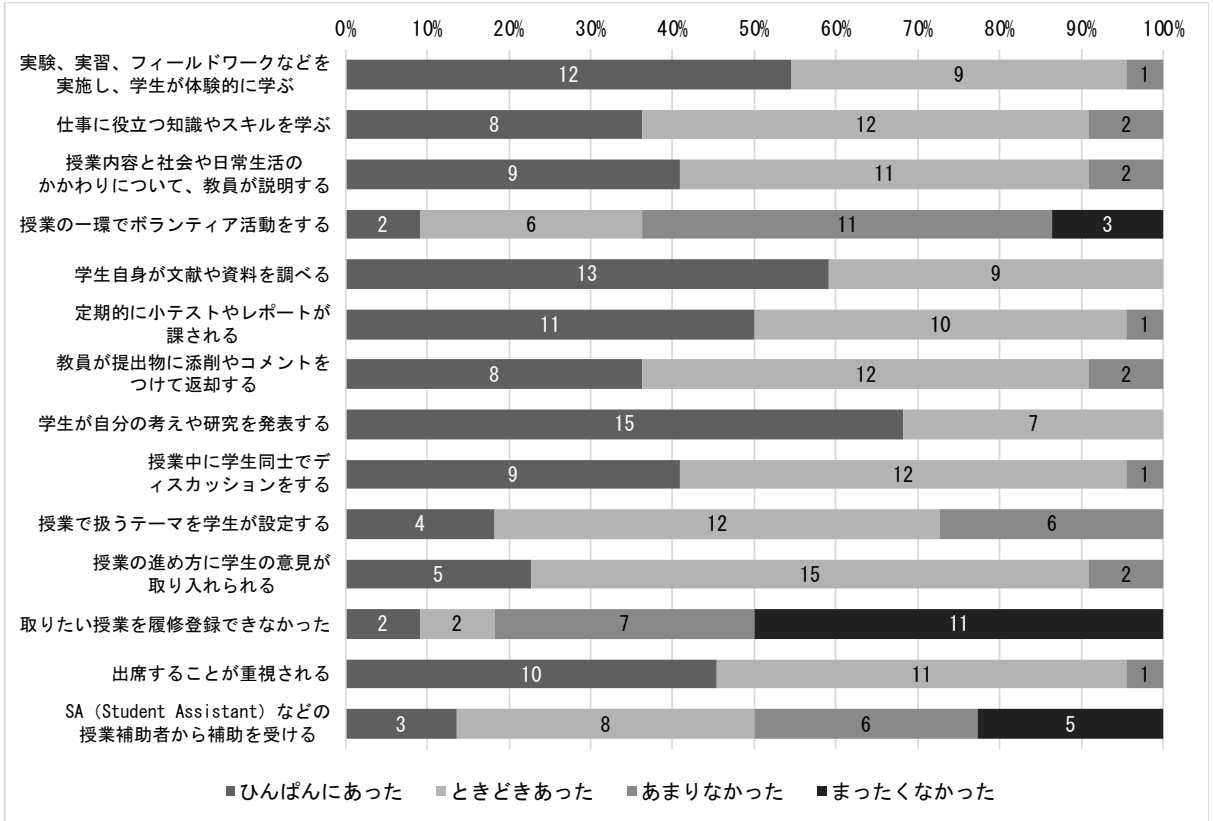
Q2. 上記以外で、大学時代に熱心に取り組んだことがあれば記入してください。

・外国人のサポート
・自治会活動、学外活動での中国学生との交流
・部活動

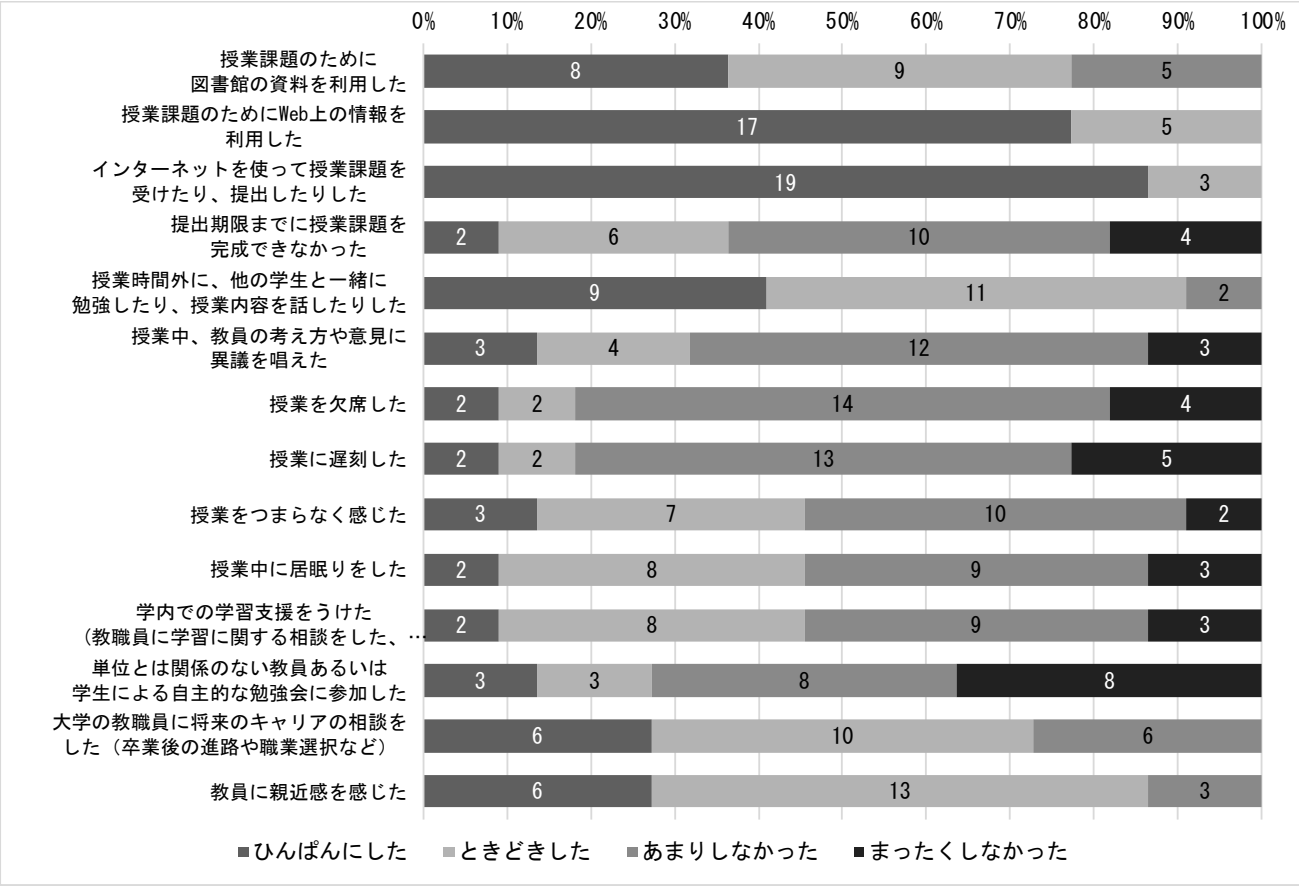
Q3. 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。



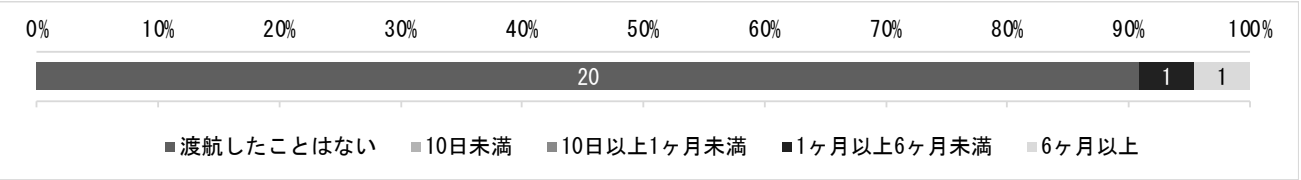
Q4. あなたが受講した授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか。



Q5. 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらい経験しましたか。

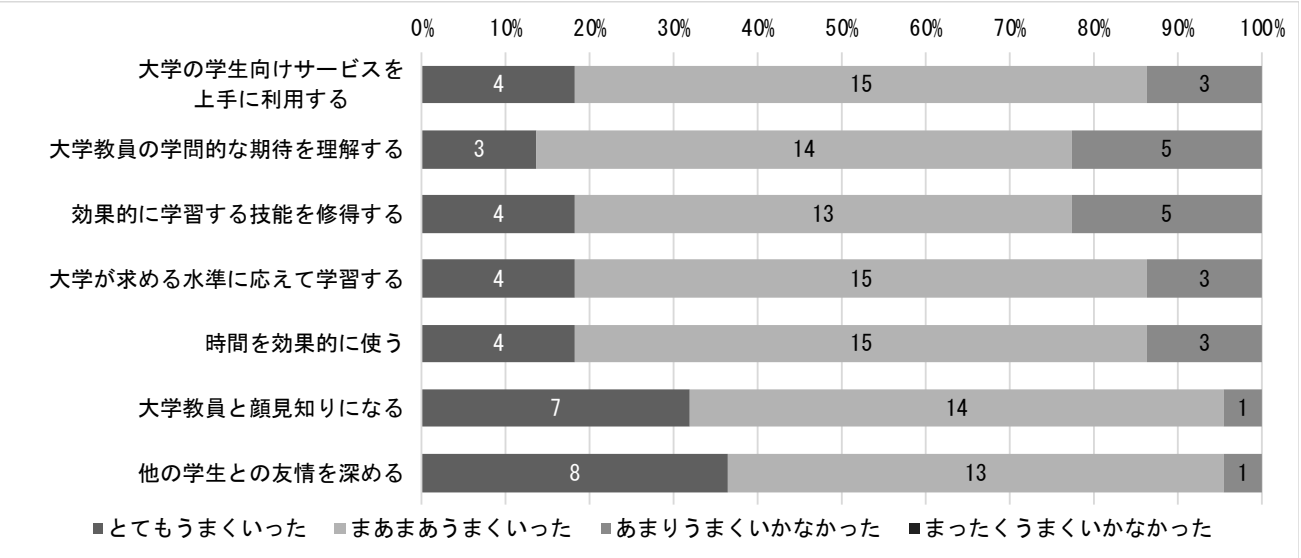


Q6. あなたは大学時代に留学をしましたか。最も長期の経験を 1 つだけ選んでください。

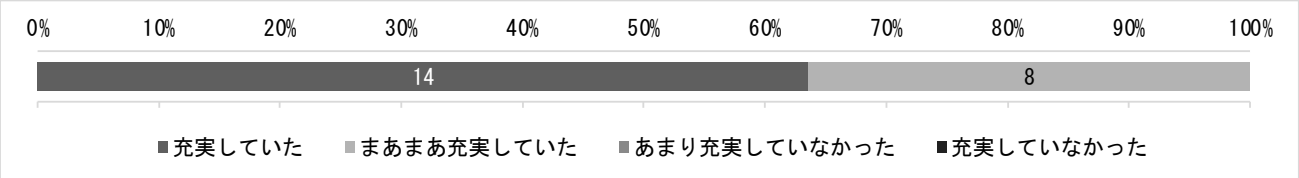


Ⅱ. 大学生活に対する考えや満足度について

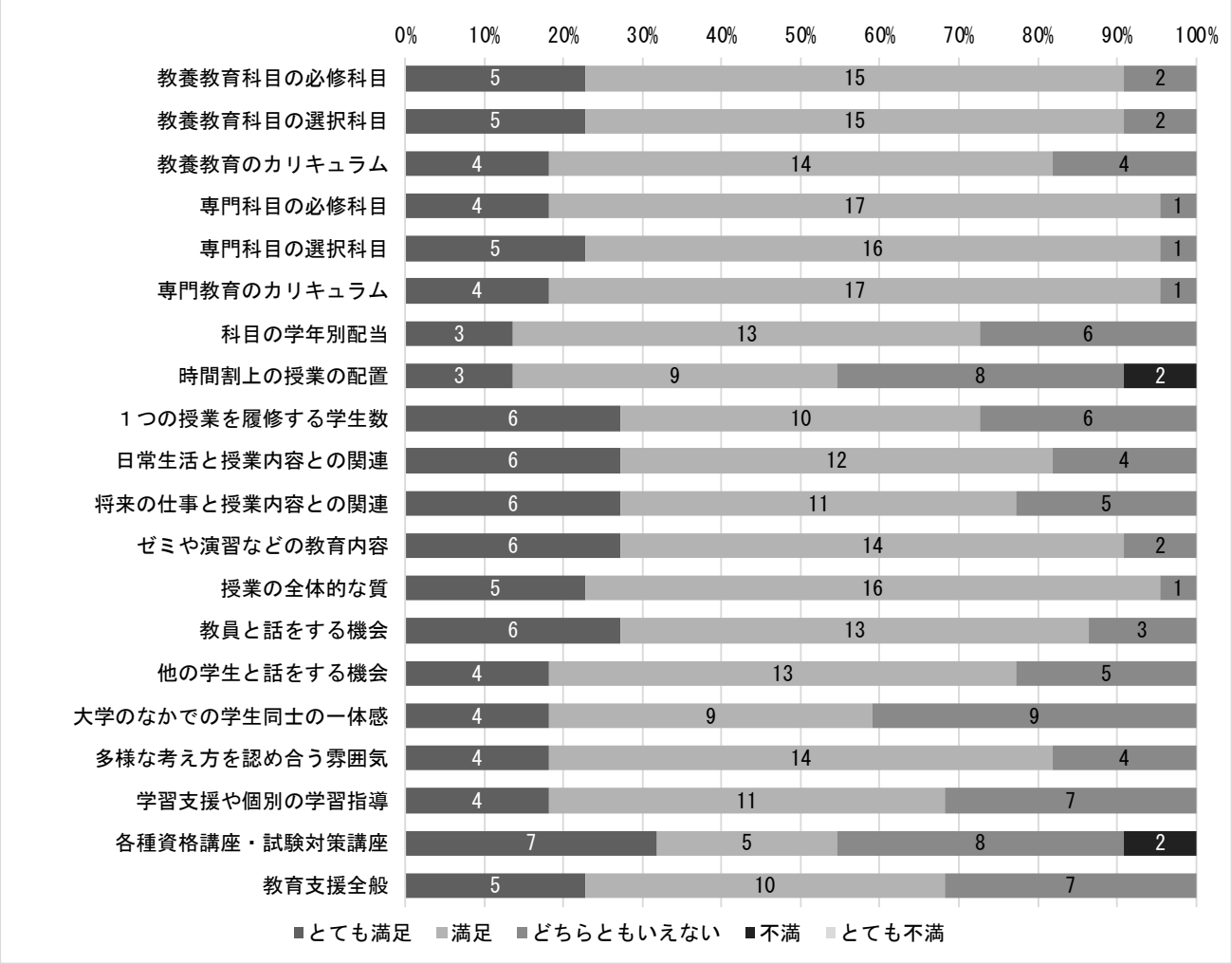
Q7. 本学に入学してから、あなたにとって次のことがらはどれくらいうまくいきましたか。



Q8. あなたの学生生活は充実していましたか。



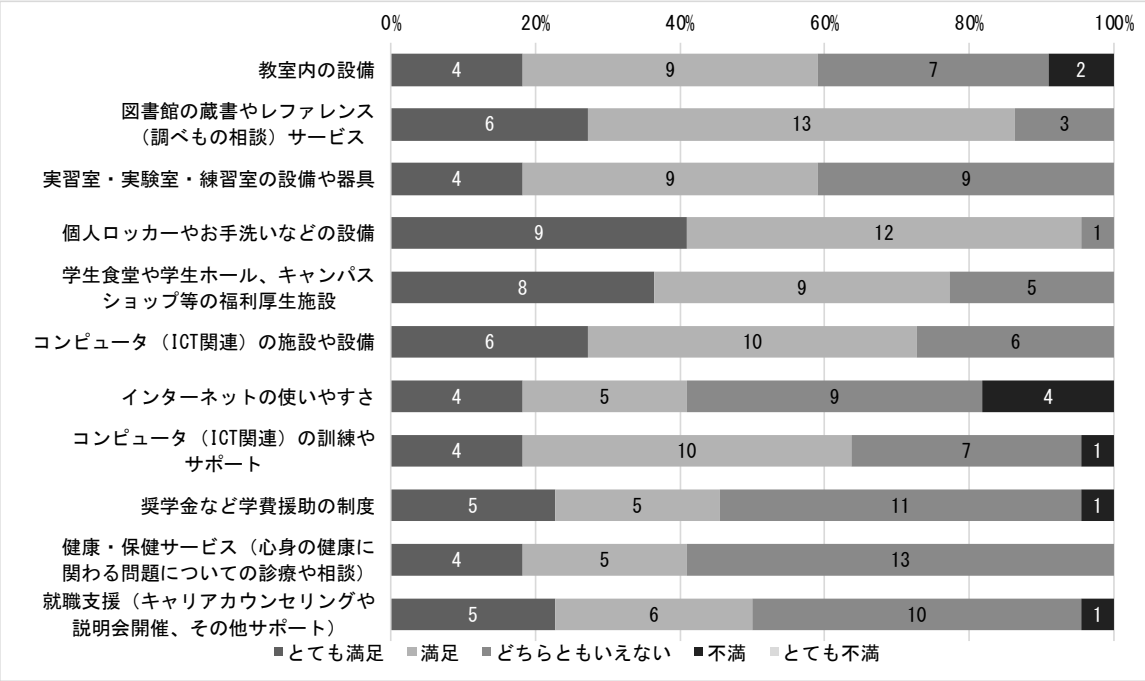
Q9. あなたは、本学の教育課程や教育支援等にどれくらい満足していますか。



Q10. 本学の教育課程や教育支援等に対して、ご意見・ご感想等があれば、自由に記入してください。

・4年生に対して、就活などをしやすいカリキュラムや環境だともっといいなと思いました。
・教職の支援が多くあって助かりました。

Q11. あなたは、本学の設備や学生支援制度にどれくらい満足していますか。

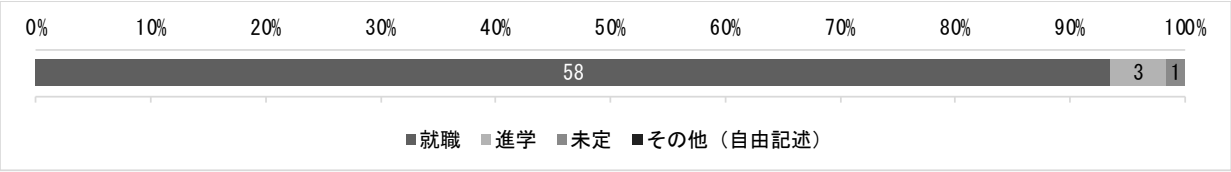


Q12. 本学の設備や学生支援制度に対して、ご意見・ご感想等があれば、自由に記入してください。

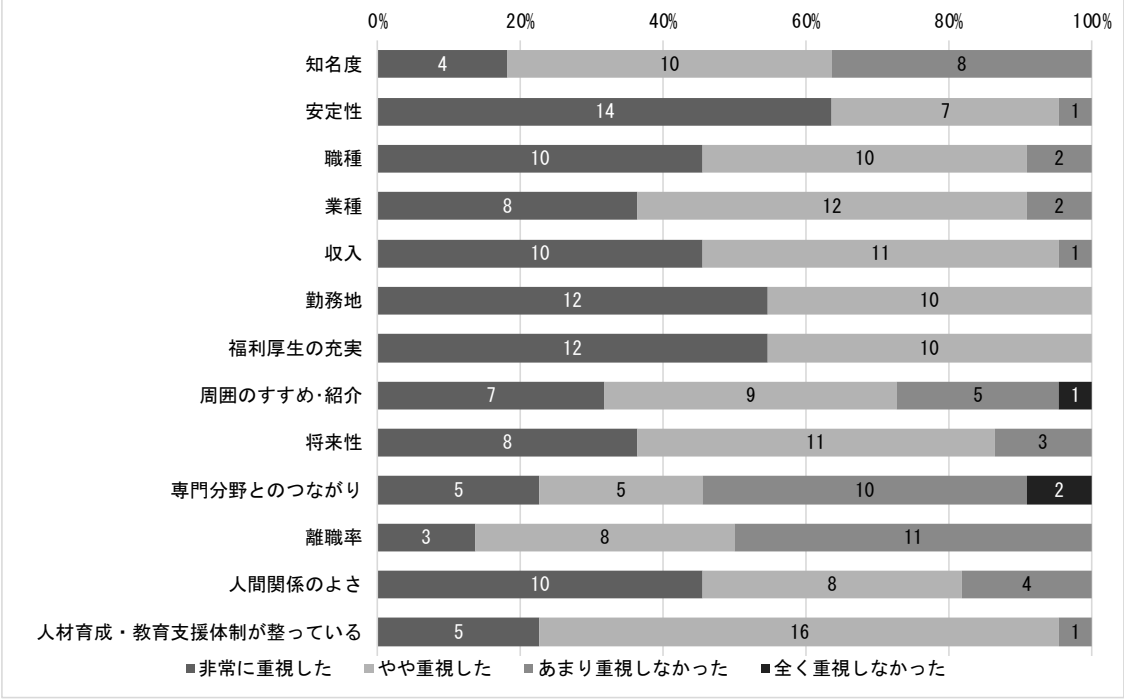
（記入なし）

Ⅲ. 卒業後の進路について

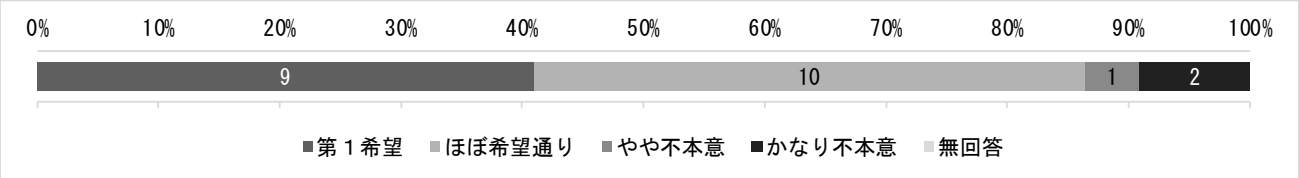
Q13. 卒業後の進路を教えてください。



Q14. 就職先の選択に際し、以下の項目をどれくらい重視しましたか。



Q15.就職先・進学先は希望通りでしたか。該当するものを１つだけ選んでください。



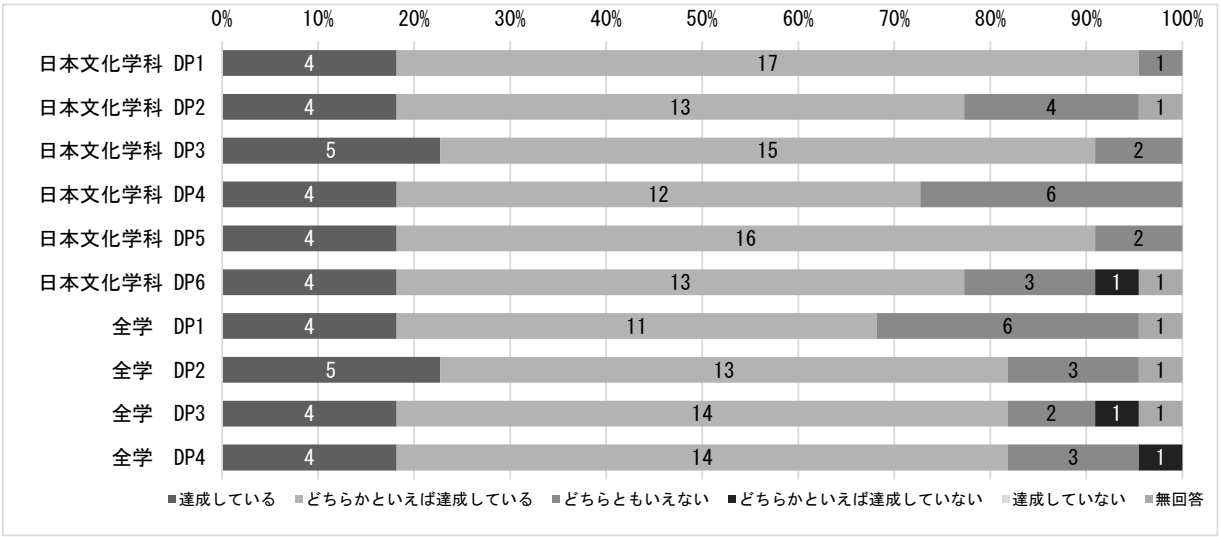
Q16.卒業後の進路決定に関して、ご意見・ご感想等があれば、自由に記入してください。
（記入なし）

Ⅳ.所属学科*ならびに大学のディプロマポリシーの達成度について　*Q17 で学科をたずねている

Q18.日本文化学科のディプロマポリシーの達成についておたずねします。それぞれについて、該当すると思うものを１つ選んでください。

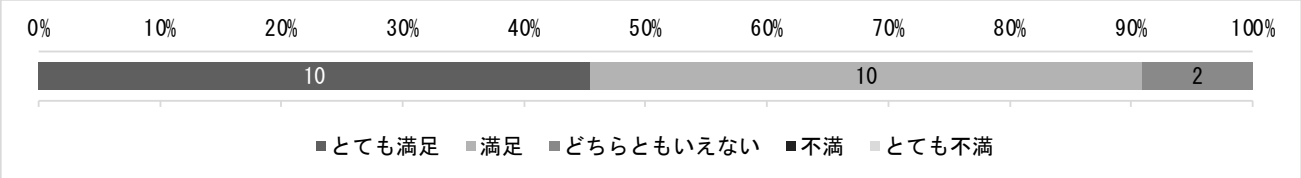
Q19.大学全体のディプロマポリシーの達成についてうかがいます。それぞれについて、該当すると思うものを１つ選んでください。

No.	項目	n	達成している	どちらかといえば達成している	どちらともいえない	どちらかといえば達成していない	達成していない	無回答
1	日本文化に関わる事象の特徴・特色に関心を持ち、それを発見しようとし、それを応用して社会に貢献しようとする態度を身につけている。	22	4	17	1	0	0	0
			18.2%	77.3%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%
2	日本語・日本文学・日本史・日本の地域・日本の社会を包摂する日本文化の基本的知識をもち、その構造を理解している。	22	4	13	4	0	0	1
			18.2%	59.1%	18.2%	0.0%	0.0%	4.5%
3	日本文化に関わる高度な知識・理解・表現力に基づいて、国語教員・日本語教員・司書として必要な専門的能力を修得し、あるいは地域の課題を解決する提案や組織の経営に関わる企画を作成し、実行に移す能力を獲得している。	22	5	15	2	0	0	0
			22.7%	68.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
4	日本文化についての知識・理解をもとに、日本国内外の地域や社会の問題点に気がつき、解決する方法を考える志向を身につけている。	22	4	12	6	0	0	0
			18.2%	54.5%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%
5	日本文化を踏まえて異なる文化や異なる思考を同等の価値を持つものとして評価することができる。	22	4	16	2	0	0	0
			18.2%	72.7%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
6	日本文化について考察して、その全体または部分を表現できる。	22	4	13	3	1	0	1
			18.2%	59.1%	13.6%	4.5%	0.0%	4.5%
1	（建学の精神） キリスト教の理念ならびに本学の建学の精神を理解し、それらに基づき世界や人間のあり方について深く思索・探究できる。	22	4	11	6	0	0	0
			18.2%	50.0%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%
2	（人間としての尊厳） 平和的・民主的な社会の担い手となるため、自らと他者の尊厳を重んじることができる。	22	5	13	3	0	0	1
			22.7%	59.1%	13.6%	0.0%	0.0%	4.5%
3	（職業人） 職業人として経済的・精神的に独立していくために必要な、広い教養と専攻分野における専門的知識・技能を身に付けている。	22	4	14	2	1	0	1
			18.2%	63.6%	9.1%	4.5%	0.0%	0.0%
4	（広い視野に立つ社会人） 国際的な視野を持つ社会人として地域や人類社会の福祉と発展に貢献するため、他者と協働し、生涯にわたり自ら学び続けようとする態度を身に付けている。	22	4	14	3	1	0	0
			18.2%	63.6%	13.6%	4.5%	0.0%	0.0%



Ⅴ.本学の教育全般について

Q20.本学での経験全般についてどれくらい満足していますか。



Q21.特に印象に残っている科目について、その理由もあわせて教えてください。

・韓国語で文章の使い方を理解できた
・基礎セミナーがこれから社会で扱うような内容ばかりでタメになったので印象に残っている。
・女性リーダーシップ論
・女性起業論 実際に自分たちで企画を立案し、民間企業に提案するまで行ったため、非常に達成感があり楽しかった。
・卒業論文など、書きたいことを書けて良かったと思いました。
・渡辺先生の日本語学に関する科目はどれも興味深く、わからないことを探究することの楽しさや日常を疑問的に見る視点を教えられました。
・日本語教育実習です。外国人に日本語を教えるという貴重な経験ができて楽しかったし、授業をつくる過程も大変でしたが、自身の成長に繋がりました。

Q22.あなたの成長に大きく寄与した教養教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。

・キリスト教。宗教と深く関わってこなかったので、色んな考えがあって成長できた。
・グループワークなどのあった、キャリアデザインセミナーなどはこの大学ならではでないかと思った。
・パソコン系 パソコンは苦手だったが得意になった

Q23.あなたの成長に大きく寄与した専門教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。

・教職科目は、難しい反面、やりがいなども感じることができました。
・国語科教育法。国語の知識だけでなく、プレゼンテーションなどにも役に立つような内容であったため。
・専門セミナー

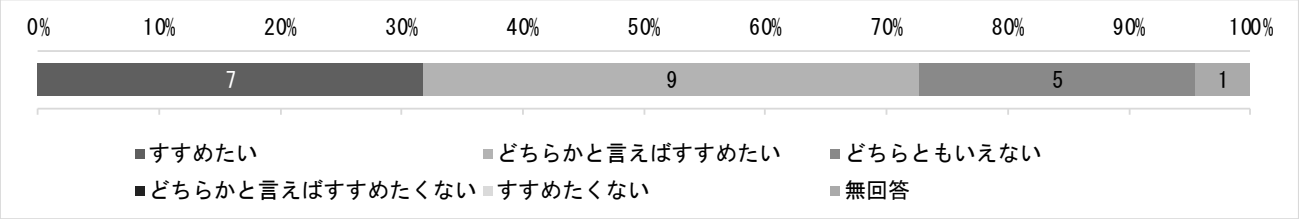
Q24.あなたのキャリア選択に大きく寄与した教養教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。

・教職に関する授業は、自分のキャリアに深く関わっていたと思います。

Q25.あなたのキャリア選択に大きく寄与した専門教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。

・キャリア支援。就職に役立つ内容が多かったから。
・国語科教育法の授業で、教員について深く学ぶことができた。
・女性起業論 いろんなことがしれた

Q26.本学での学生生活をふまえて、皆さんのお知り合いの方に本学への進学をすすめたいと思いますか。



Q27.本学への進学の推奨に関して、上記のように回答した具体的な理由を教えてください。

すすめたい	（記入なし）
どちらかと言えばすすめたい	・学びやすい環境と、学生として思い出を多く作りやすい立地が魅力的だと思うから。 ・楽しかったから ・女性が多く、安心感がある。
どちらともいえない	・もう少し取れる資格が増えたらいいなと思います。

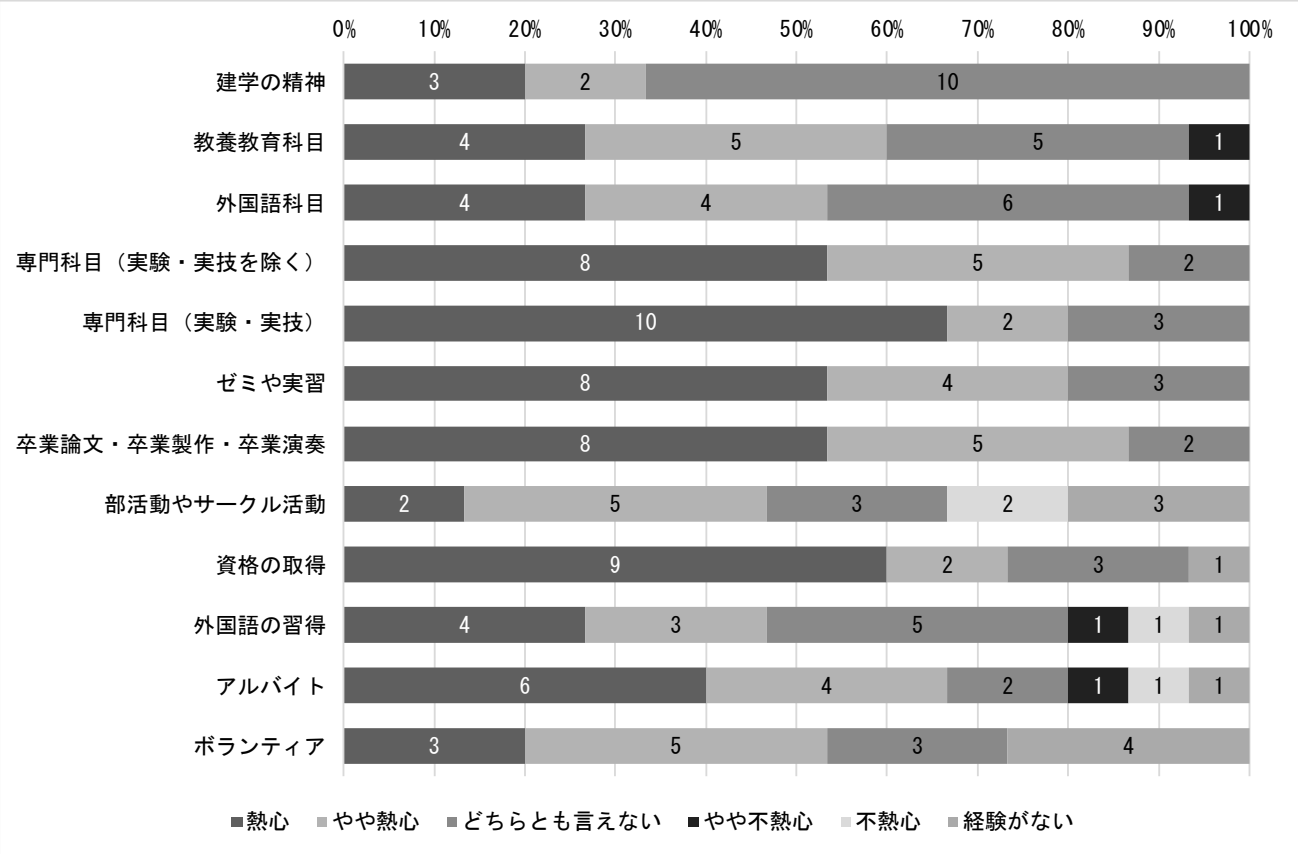
Q28.その他、本学に対するご意見・ご感想があれば記入してください。

（記入なし）

2-4. 音楽部音楽学科

Ⅰ. 大学生活について

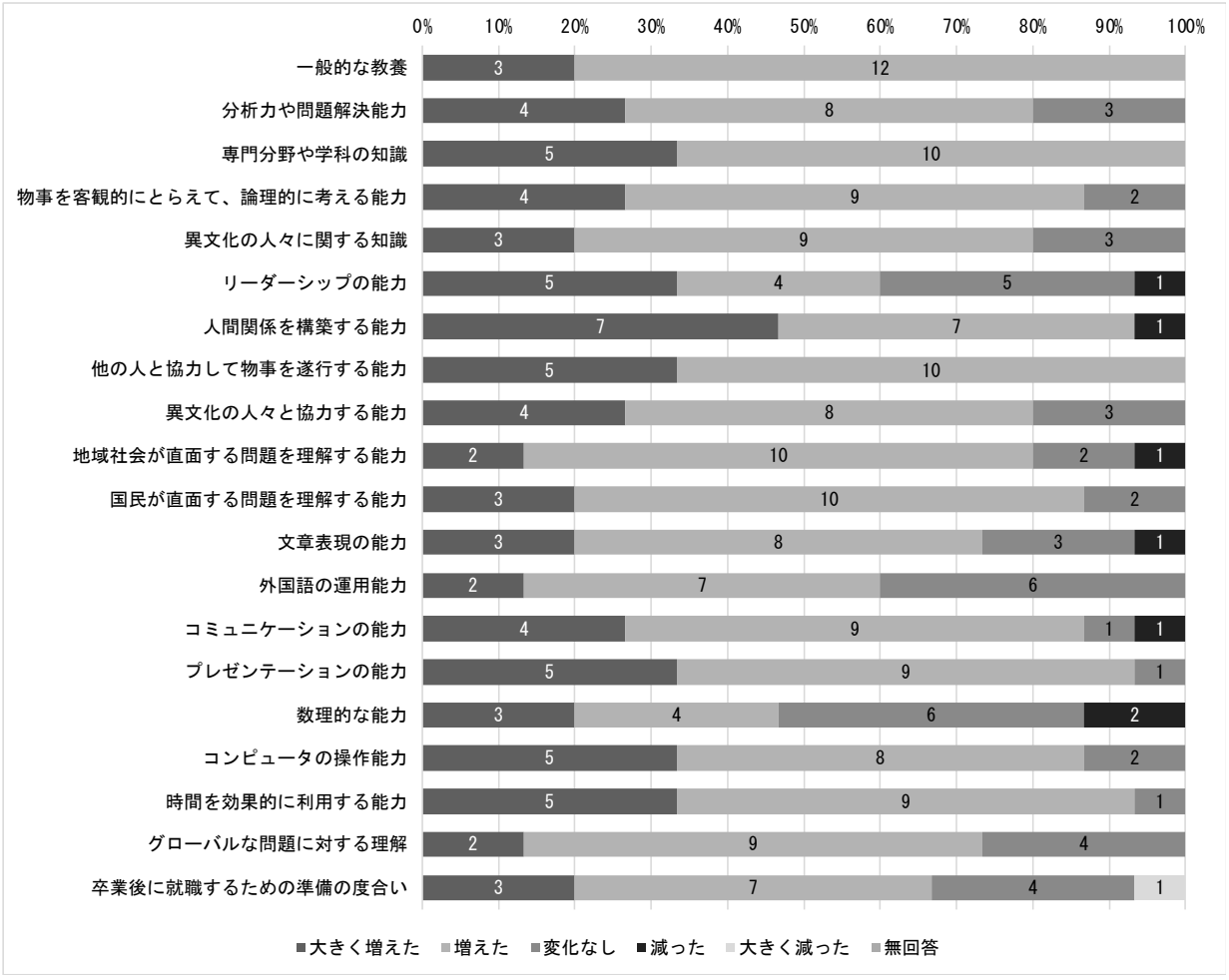
Q1. 大学の授業科目の学修や課外活動について、どの程度熱心に取り組みましたか。



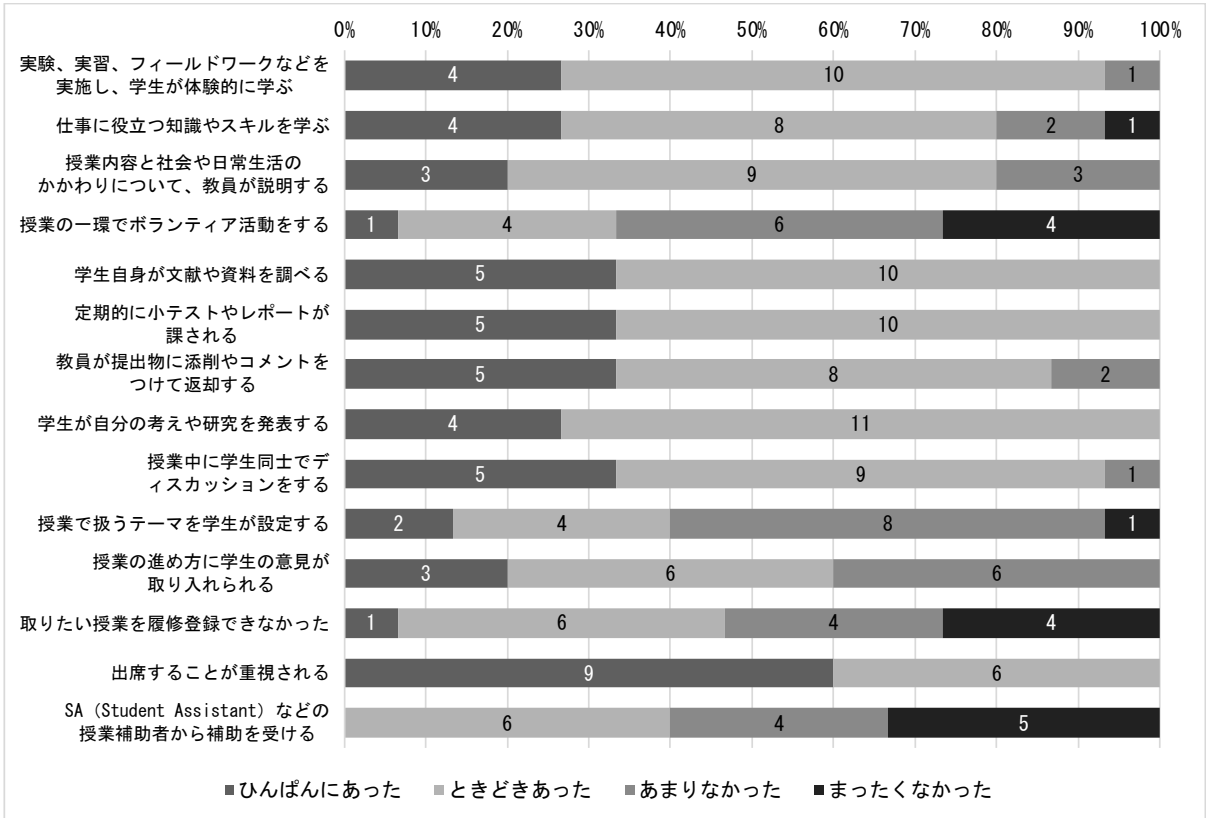
Q2. 上記以外で、大学時代に熱心に取り組んだことがあれば記入してください。

・アルバイト
・ピアノ
・教員採用試験の勉強
・推し活

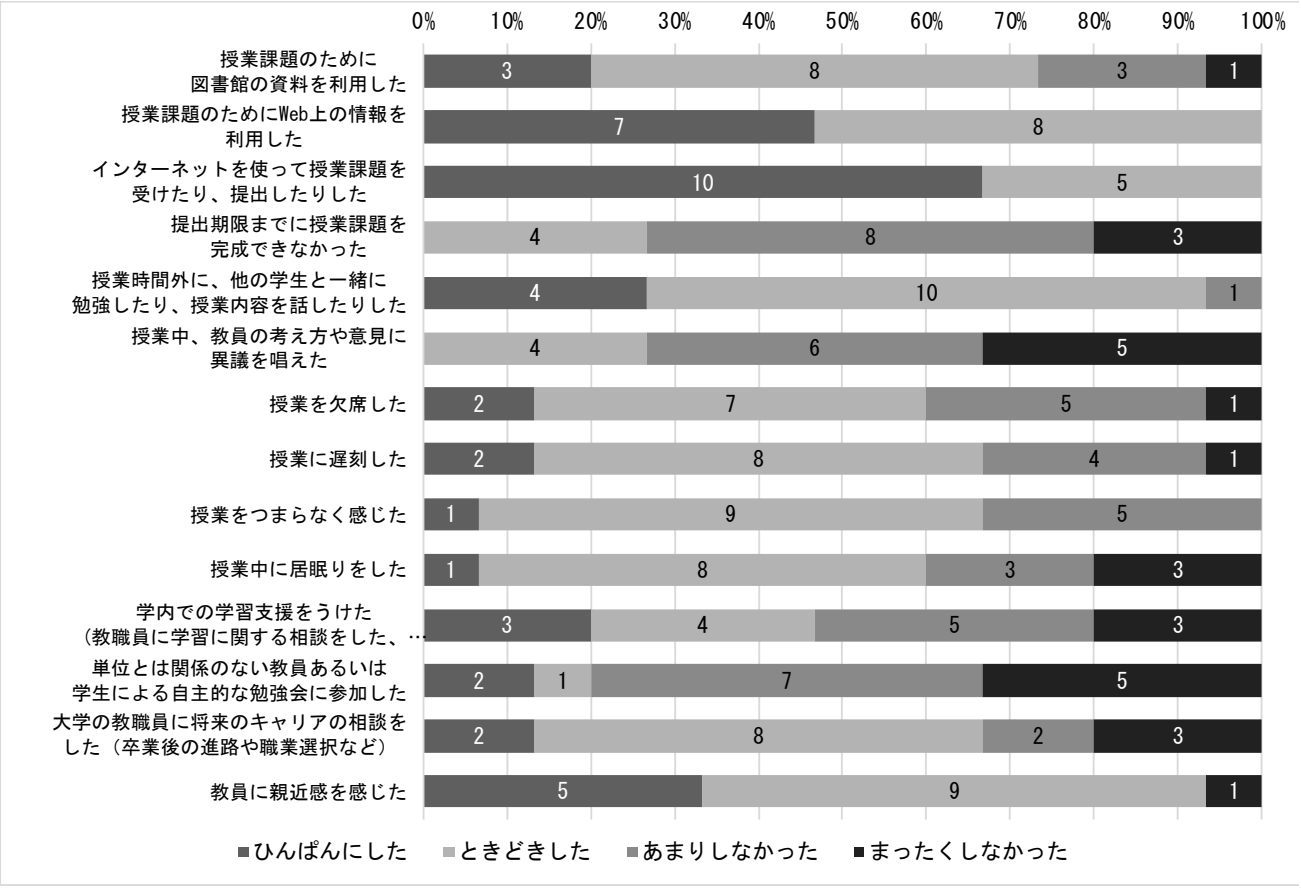
Q3. 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。



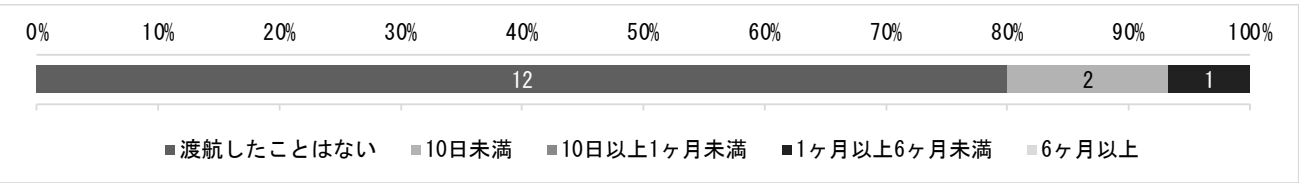
Q4. あなたが受講した授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか。



Q5. 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらい経験しましたか。

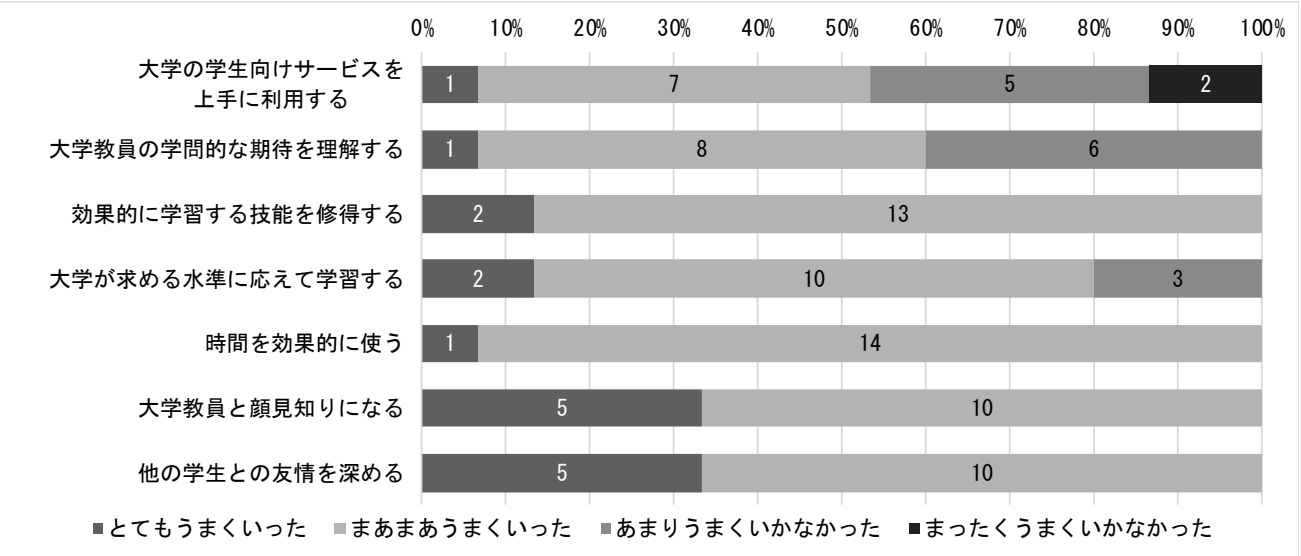


Q6. あなたは大学時代に留学をしましたか。最も長期の経験を 1 つだけ選んでください。

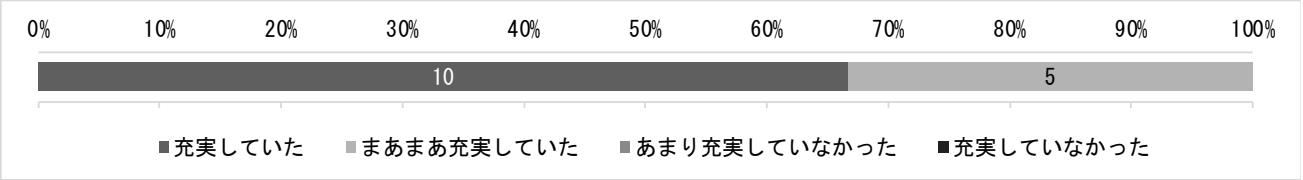


Ⅱ. 大学生活に対する考えや満足度について

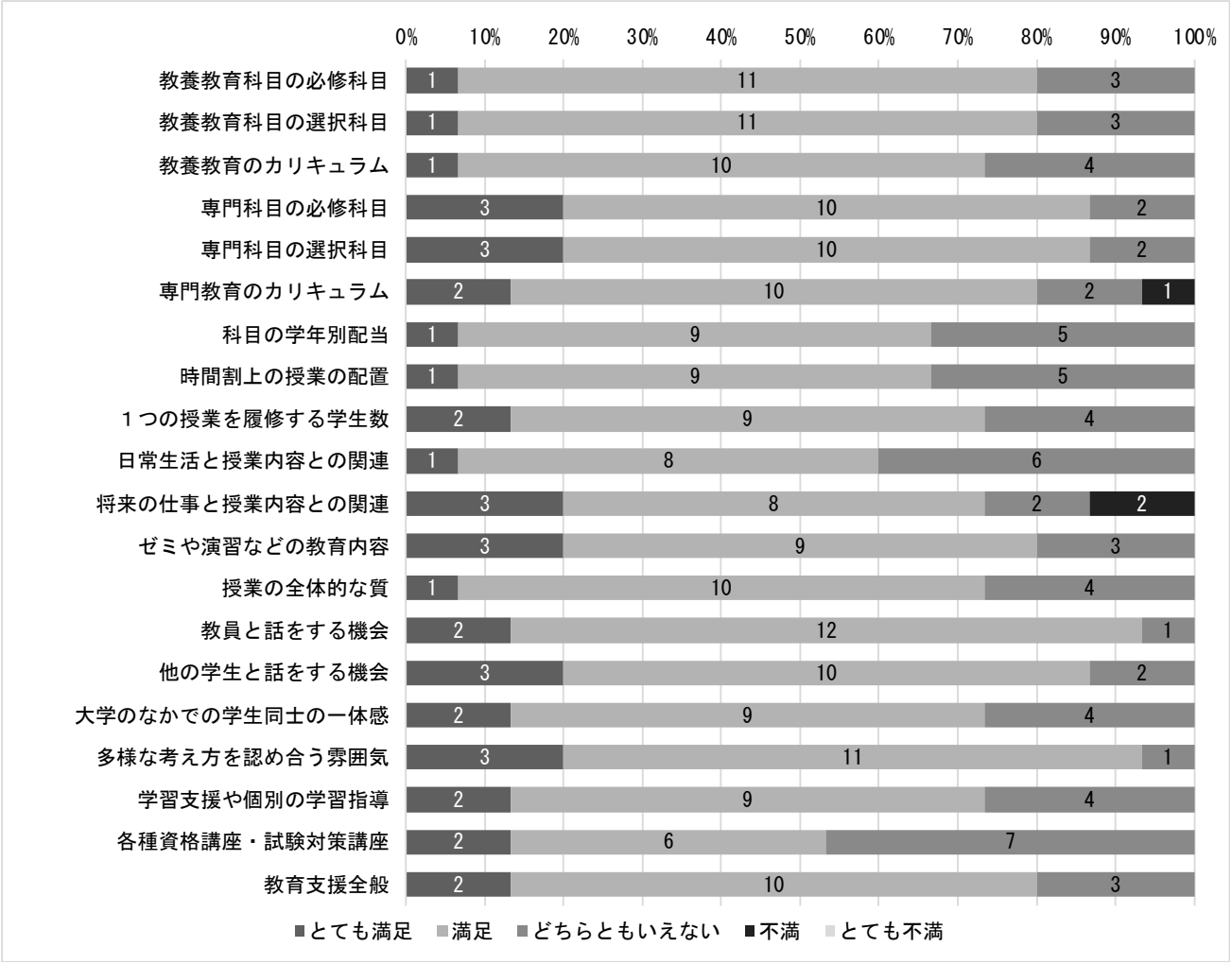
Q7. 本学に入学してから、あなたにとって次のことがらはどれくらいうまくいきましたか。



Q8. あなたの学生生活は充実していましたか。

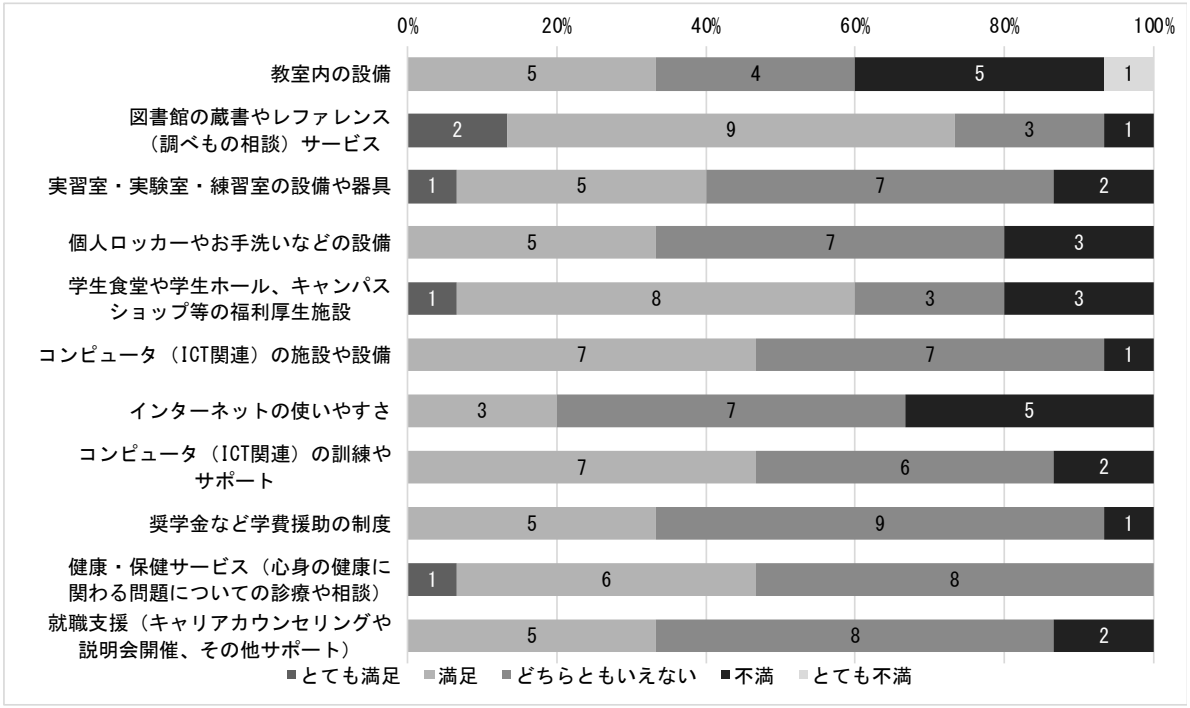


Q9. あなたは、本学の教育課程や教育支援等にどれくらい満足していますか。



Q10. 本学の教育課程や教育支援等に対して、ご意見・ご感想等があれば、自由に記入してください。
（記入なし）

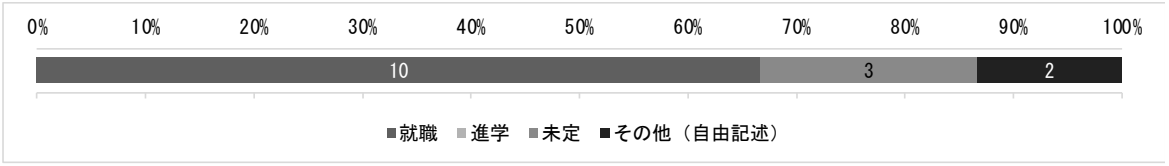
Q11. あなたは、本学の設備や学生支援制度にどれくらい満足していますか。



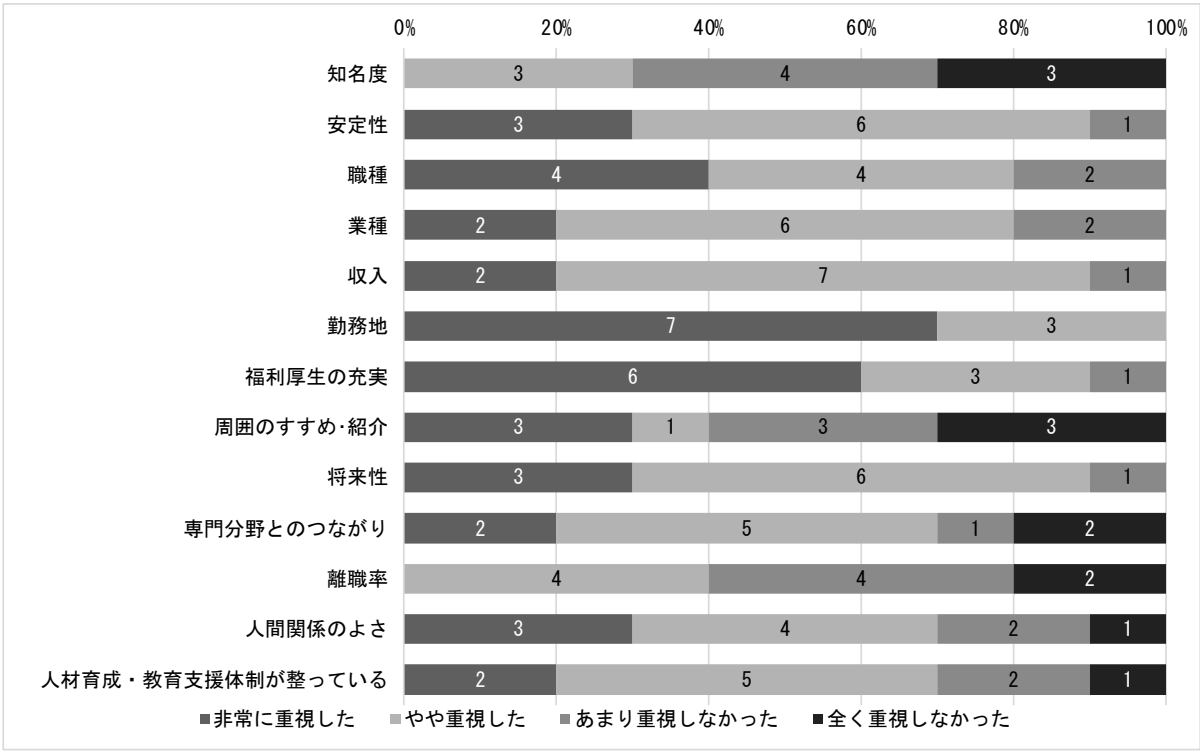
Q12. 本学の設備や学生支援制度に対して、ご意見・ご感想等があれば、自由に記入してください。
（記入なし）

Ⅲ. 卒業後の進路について

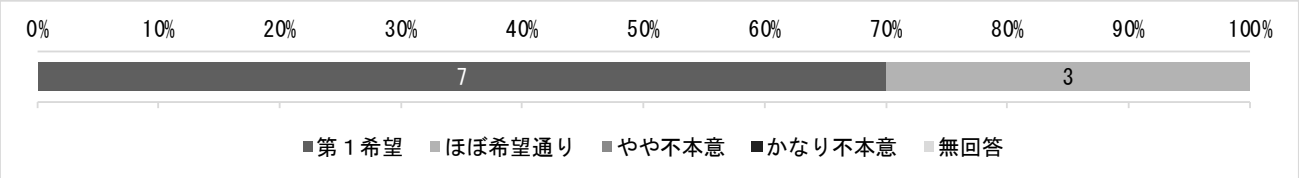
Q13. 卒業後の進路を教えてください。



Q14. 就職先の選択に際し、以下の項目をどれくらい重視しましたか。



Q15. 就職先・進学先は希望通りでしたか。該当するものを１つだけ選んでください。



Q16. 卒業後の進路決定に関して、ご意見・ご感想等があれば、自由に記入してください。

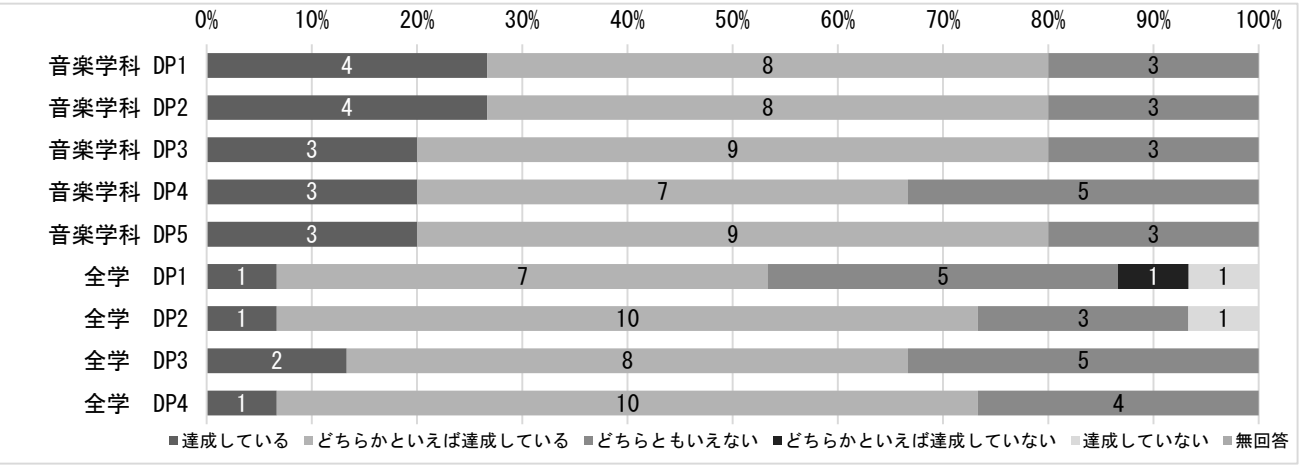
・音楽学部は、カリキュラムの中で学んだことを直接的に就職に活かすことは難しいと思った

Ⅳ. 所属学科*ならびに大学のディプロマポリシーの達成度について　*Q17 で学科をたずねている

Q18. 音楽学科のディプロマポリシーの達成についておたずねします。それぞれについて、該当すると思うものを１つ選んでください。

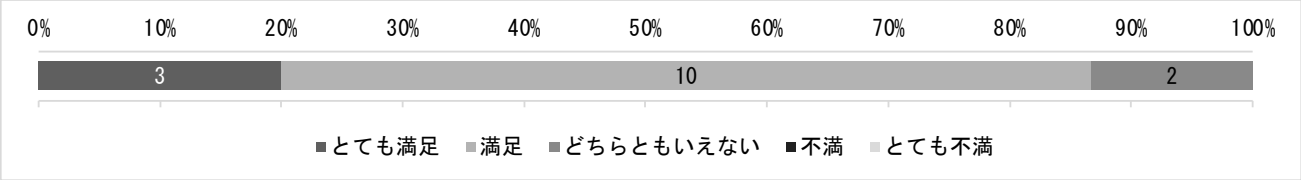
Q19. 大学全体のディプロマポリシーの達成についてうかがいます。それぞれについて、該当すると思うものを１つ選んでください。

No.	項目	n	達成している	どちらかといえば達成している	どちらともいえない	どちらかといえば達成していない	達成していない	無回答
1	専門技術と音楽知識に関心を持つとともに、体得する姿勢を持ち、自らの音楽キャリアを築くための社会人としての力を身につけている。	15	4	8	3	0	0	0
			26.7%	53.3%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2	専攻する領域、多様な音楽分野に関する体系的な知識を持っている。	15	4	8	3	0	0	0
			26.7%	53.3%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3	専攻する領域に必要な技術を持ち、問題解決に応用できる能力を身につける。	15	3	9	3	0	0	0
			20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4	音楽の様々な領域で協力して創り上げるための専門技術、コミュニケーション能力、文章能力を持つ。	15	3	7	5	0	0	0
			20.0%	46.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
5	専攻分野および社会の事象を多角的に判断する力を持ち、自身で思考することができる。	15	3	9	3	0	0	0
			20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1	（建学の精神） キリスト教の理念ならびに本学の建学の精神を理解し、それらに基づき世界や人間のあり方について深く思索・探究できる。	15	1	7	5	1	1	0
			6.7%	46.7%	33.3%	6.7%	6.7%	0.0%
2	（人間としての尊厳） 平和的・民主的な社会の担い手となるため、自らと他者の尊厳を重んじることができる。	15	1	10	3	0	0	1
			6.7%	66.7%	20.0%	0.0%	0.0%	6.7%
3	（職業人） 職業人として経済的・精神的に独立していくために必要な、広い教養と専攻分野における専門的知識・技能を身に付けている。	15	2	8	5	0	0	0
			13.3%	53.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
4	（広い視野に立つ社会人） 国際的な視野を持つ社会人として地域や人類社会の福祉と発展に貢献するため、他者と協働し、生涯にわたり自ら学び続けようとする態度を身に付けている。	15	1	10	4	0	0	0
			6.7%	66.7%	26.7%	0.0%	0.0%	0.0%



Ⅴ.本学の教育全般について

Q20.本学での経験全般についてどれくらい満足していますか。



Q21.特に印象に残っている科目について、その理由もあわせて教えてください。

・音楽科教育法です。 模擬授業などを教えていただいた。
・教育科目系 就職に向けて必要な科目であり、新しい学びの連続で興味深かった。
・教育原理です。理由は、1番苦戦した科目だったからです。
・教職ピアノ 毎回のレッスンを楽しく受けることができた
・実技教科です。技術面が伸びたと思います。わかりやすく指導してくださり、ありがたかったです。

Q22.あなたの成長に大きく寄与した教養教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。

・キリスト教の教えについて学んだ。
・キリスト教学です。理由は、キリスト教について詳しく学ぶことができたからです。
・化学 色々なことを楽しく学ぶことができた。
・教育心理学 授業外で個人的に学習するほど面白い教科だった。自身と照らし合せたりしながら学びを進められ、現場でも大いに役立つ教科だと思う。

Q23.あなたの成長に大きく寄与した専門教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。

・シチズンシップ 色々な分野についての学びが得られた。(※教養科目)
・音楽科教育法です。模擬授業も沢山でき、自信につながりました。
・音楽理論 少し難しかったが内容はとてもよく理解できた、
・音楽理論です。理由は、知識を深く学ぶことができたからです。
・実技です。ピアノ頑張りました。。

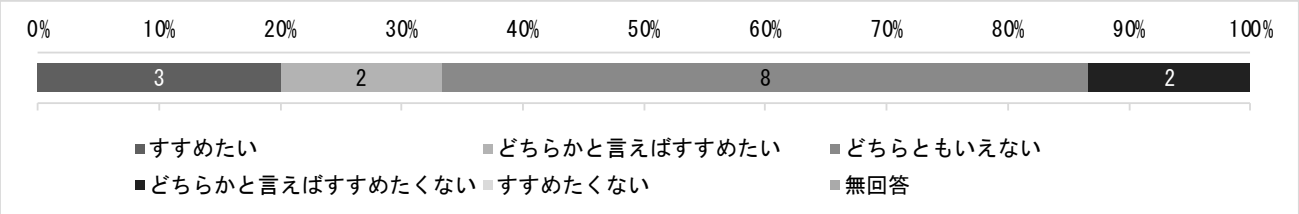
Q24.あなたのキャリア選択に大きく寄与した教養教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。

・キリスト教学です。理由は、キリスト教について詳しく学ぶことができたからです。
・シチズンシップ 他の学生とのコミュニケーションがよく取れたと思う。
・音楽科教育法 実践的な学習で、自身の成長に大きく貢献した。
・音楽科教育法です。授業頑張りました。

Q25.あなたのキャリア選択に大きく寄与した専門教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。

・ソルフェージュ 毎回色々な問題をした、
・音楽理論です。理由は、知識を深く学ぶことができたからです。
・音楽理論で和声を学んだ。

Q26.本学での学生生活をふまえて、皆さんのお知り合いの方に本学への進学をすすめたいと思いますか。



Q27.本学への進学の推奨に関して、上記のように回答した具体的な理由を教えてください。

すすめたい	・専門的に学ぶことができるから。
どちらかと言えばすすめたい	・就職したいところにいけるカリキュラムは揃ったらので ・女子大学として充実していると思うから。
どちらともいえない	・学生同士の人間関係に悩むことが度々あったから ・支援面や便利性を考えると微妙だなーと思います。デジタル化が更に進み、事務的な資料やアンケート等もデジタル化してくれればうれしいなと思います。 ・生徒数の減少、設備の不十分さ等

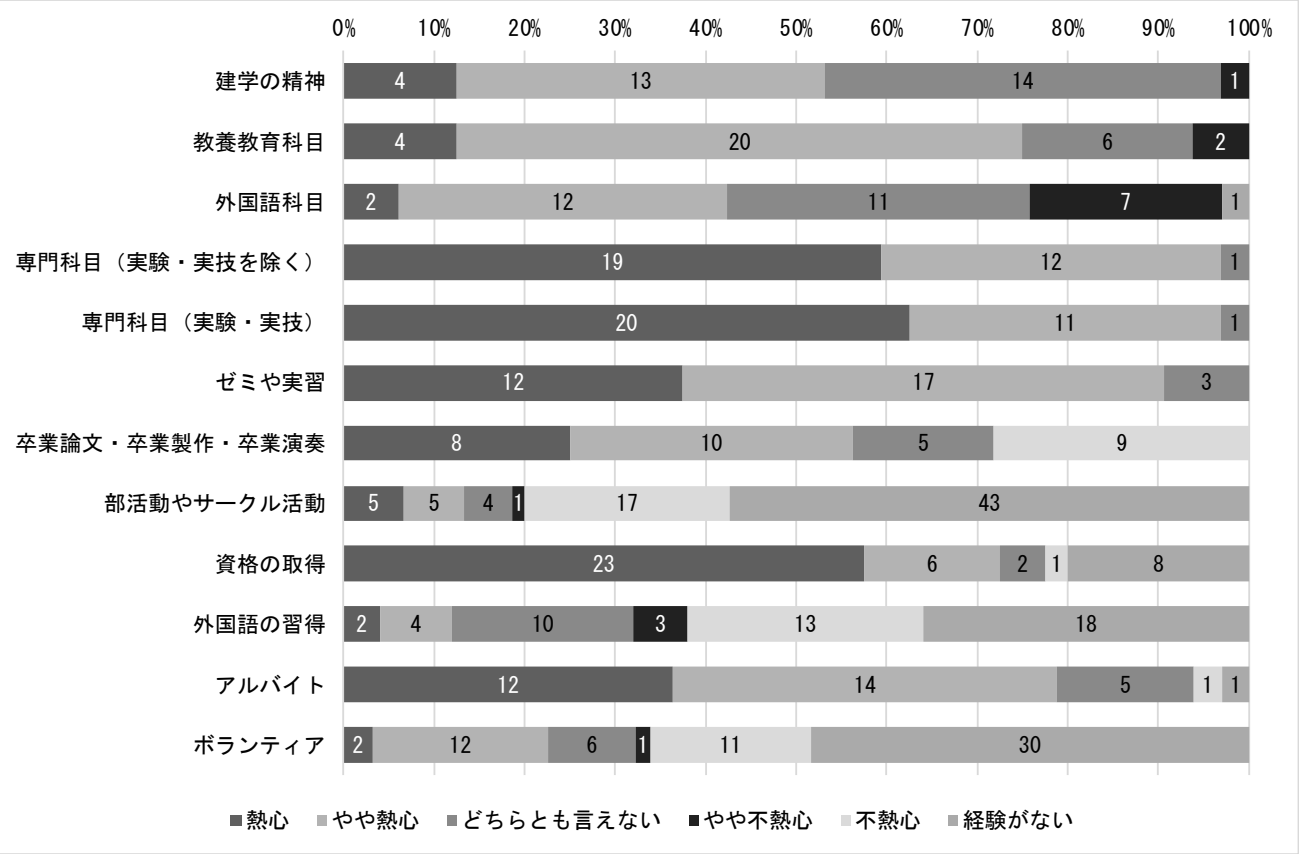
Q28.その他、本学に対するご意見・ご感想があれば記入してください。

（記入なし）

2-5. 健康生活学部　食生活健康学科

Ⅰ. 大学生活について

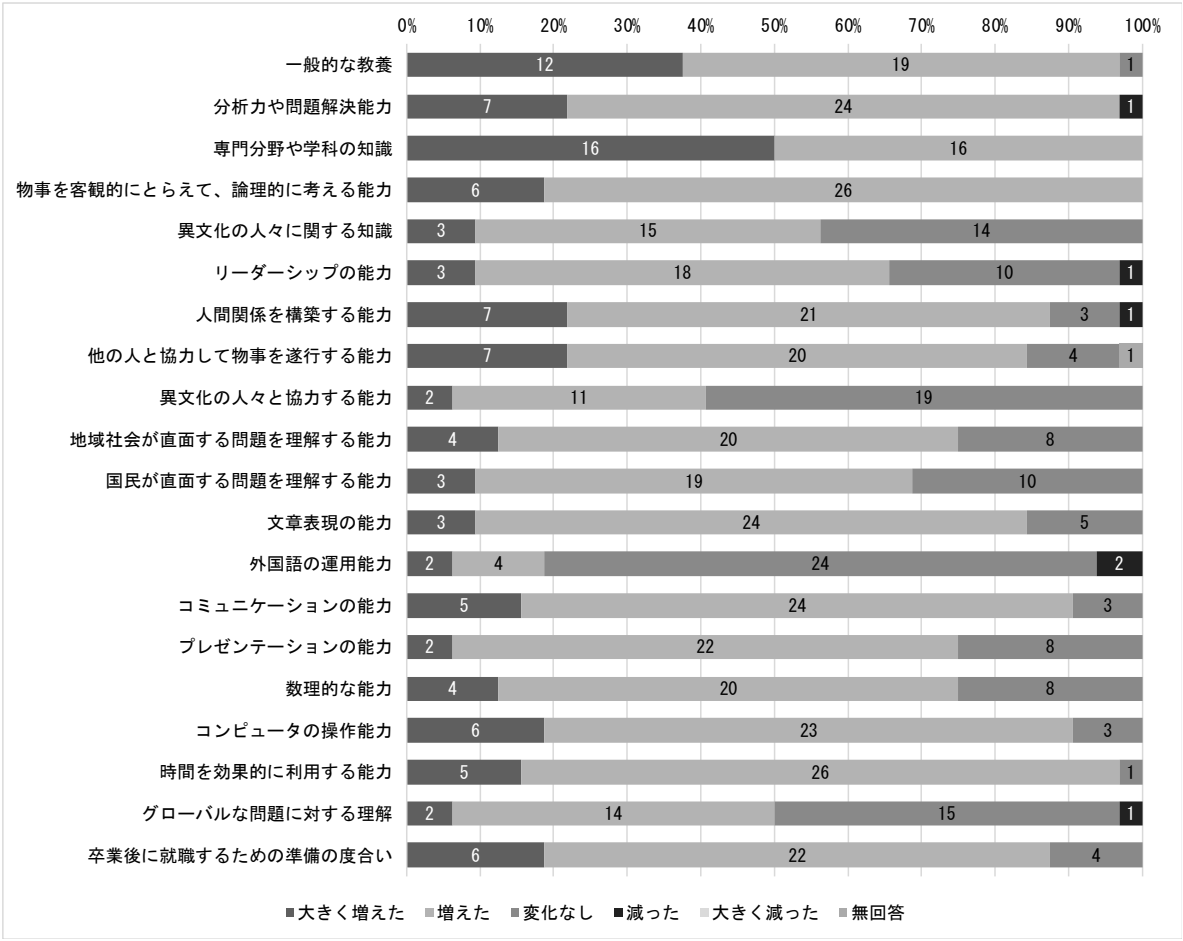
Q1. 大学の授業科目の学修や課外活動について、どの程度熱心に取り組みましたか。



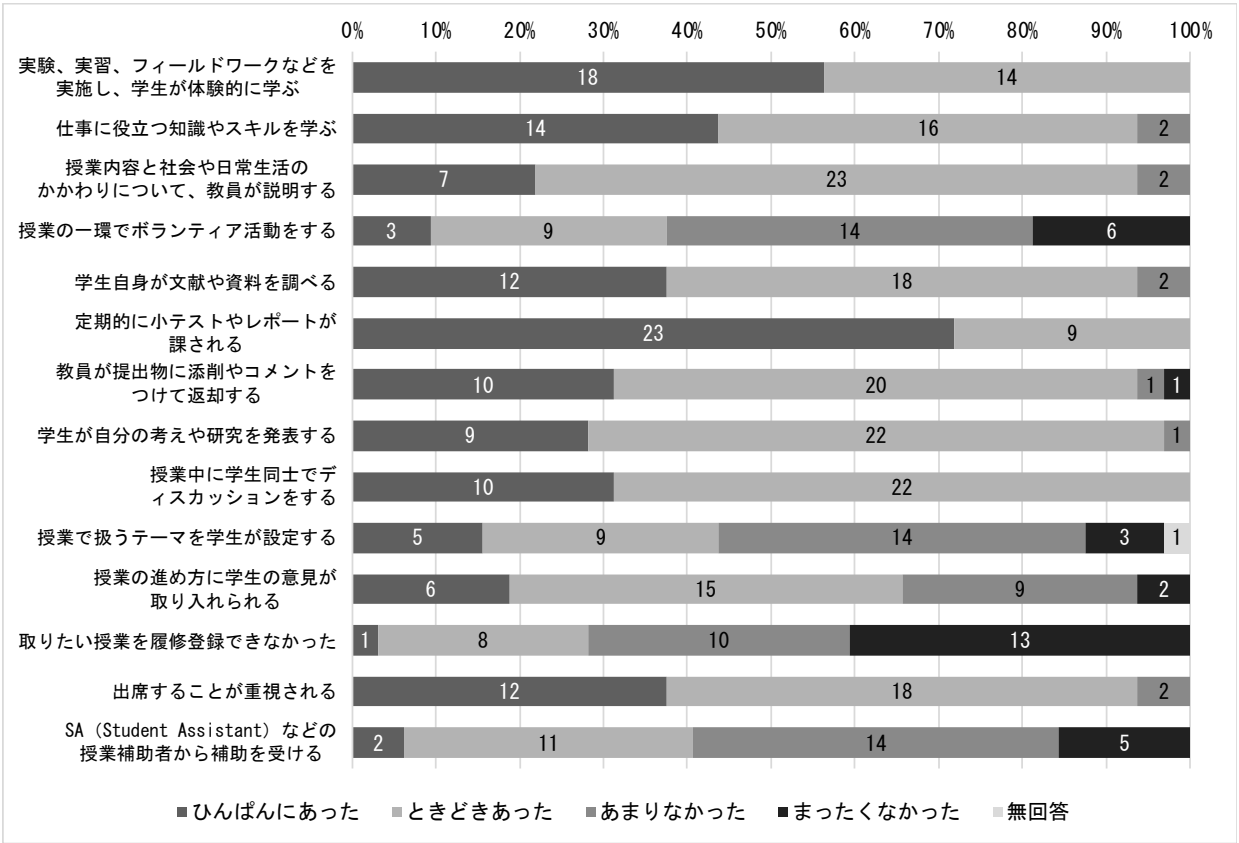
Q2. 上記以外で、大学時代に熱心に取り組んだことがあれば記入してください。

・she-side（魚食推進活動）
・就職活動

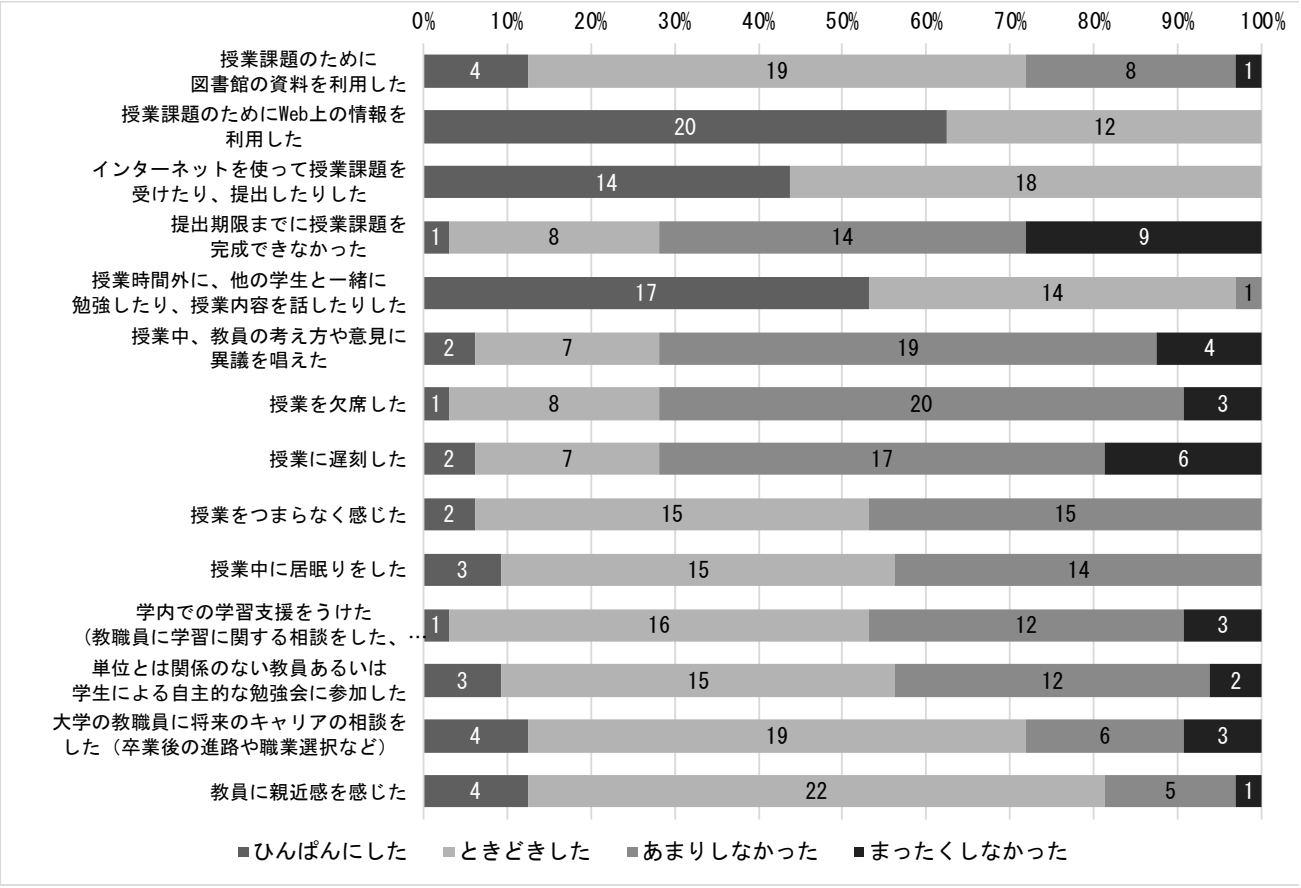
Q3. 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。



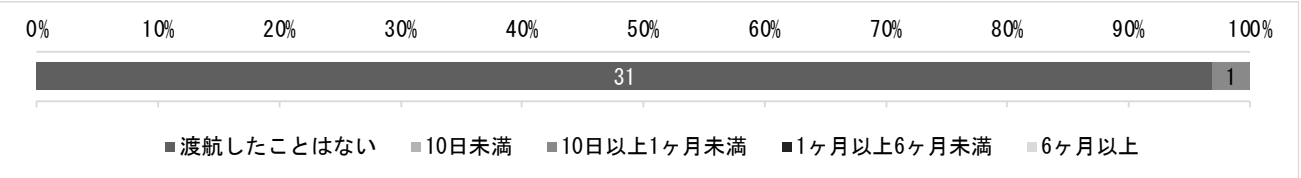
Q4. あなたが受講した授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか。



Q5. 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらい経験しましたか。

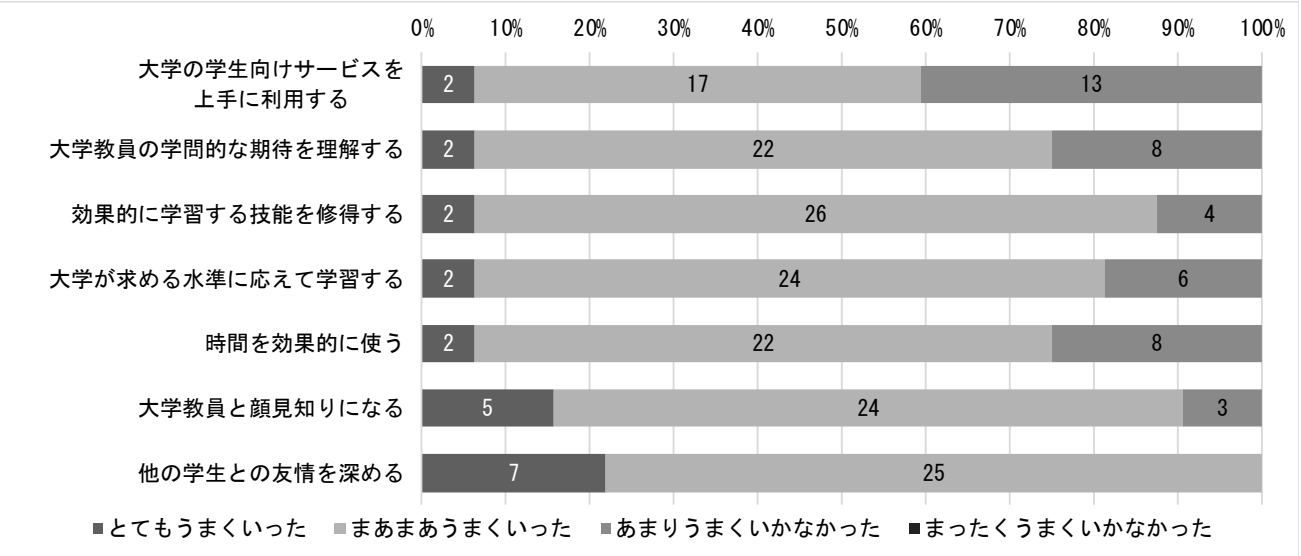


Q6. あなたは大学時代に留学をしましたか。最も長期の経験を 1 つだけ選んでください。

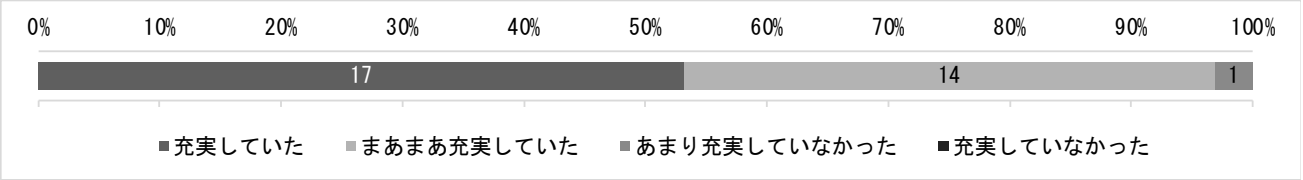


Ⅱ. 大学生活に対する考えや満足度について

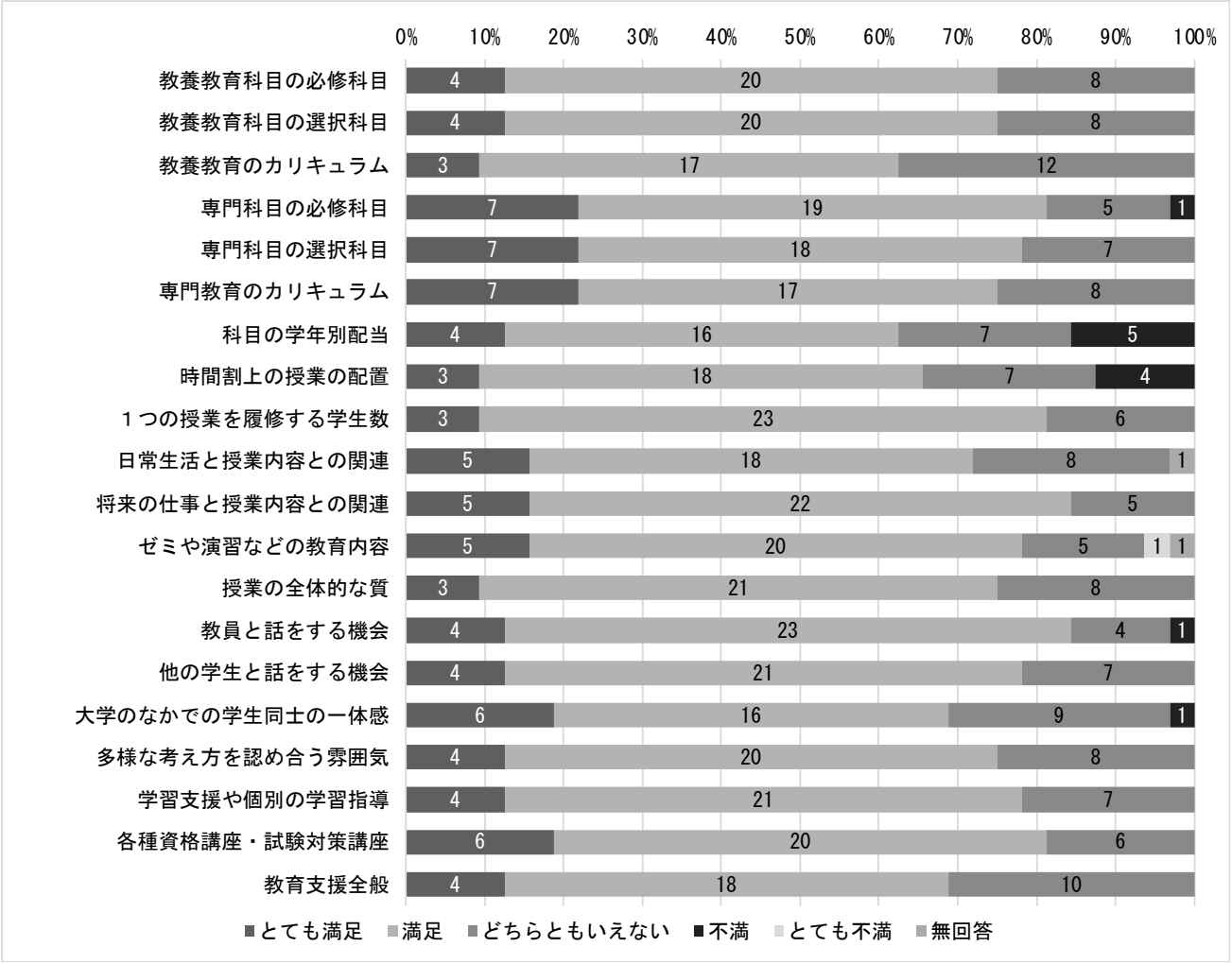
Q7. 本学に入学してから、あなたにとって次のことがらはどれくらいうまくいきましたか。



Q8. あなたの学生生活は充実していましたか。



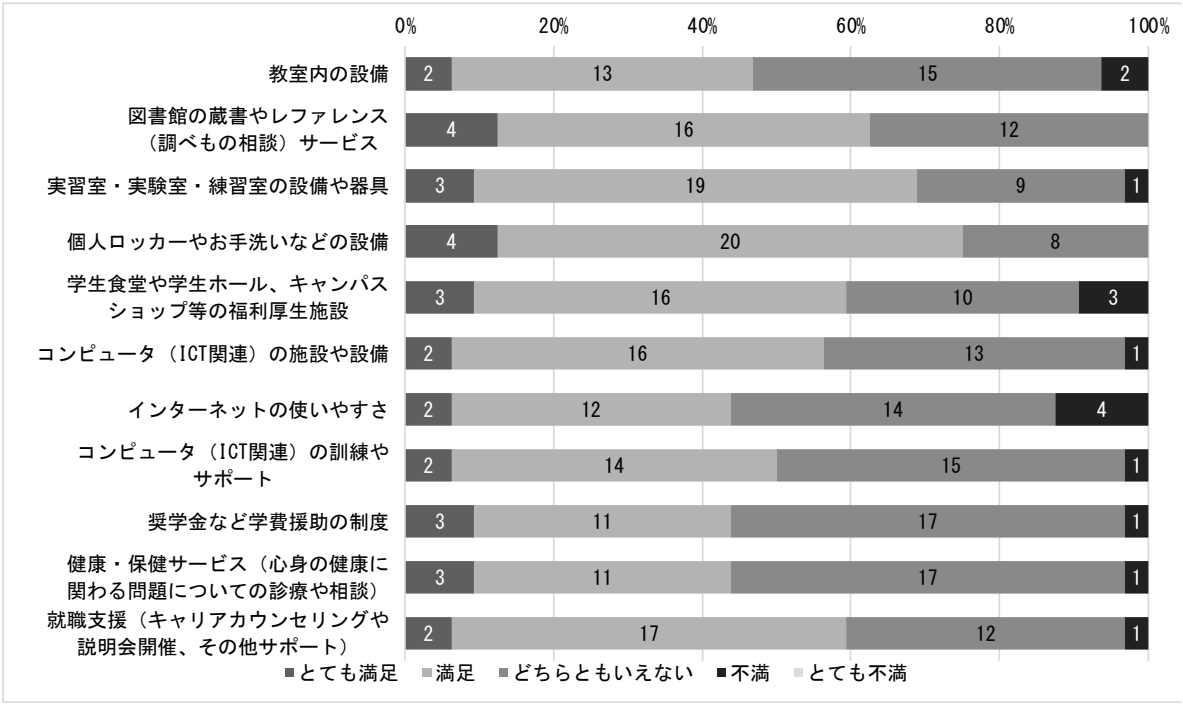
Q9. あなたは、本学の教育課程や教育支援等にどれくらい満足していますか。



Q10. 本学の教育課程や教育支援等に対して、ご意見・ご感想等があれば、自由に記入してください。

・キリスト教学を４年の後期に入れないでほしいです。国家試験だけに集中したかったです。
・実践的に学べた

Q11. あなたは、本学の設備や学生支援制度にどれくらい満足していますか。

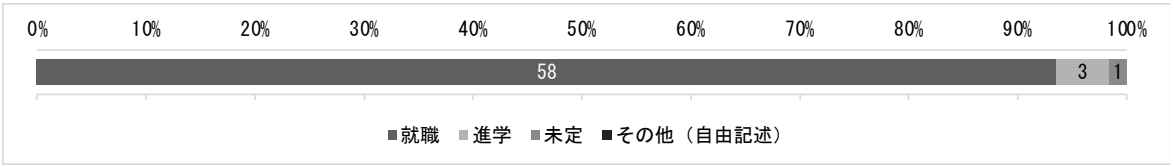


Q12. 本学の設備や学生支援制度に対して、ご意見・ご感想等があれば、自由に記入してください。

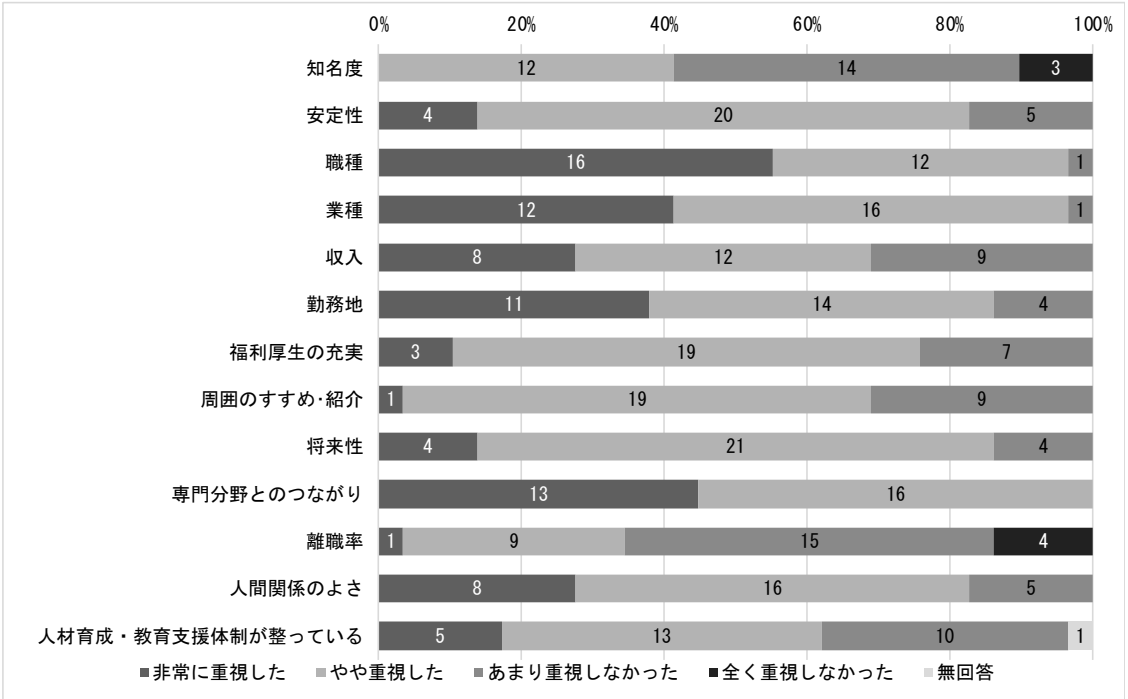
・キャンパスショップ　食品の価格設定が高いです。 1 号館にもお湯が出る機械がほしいです。

Ⅲ. 卒業後の進路について

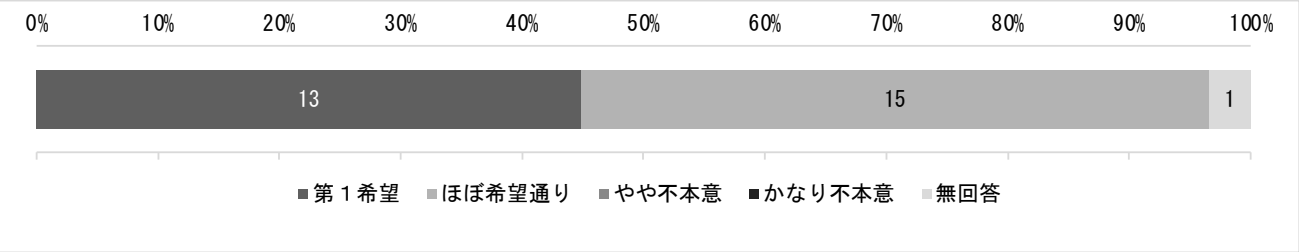
Q13. 卒業後の進路を教えてください。



Q14. 就職先の選択に際し、以下の項目をどれくらい重視しましたか。



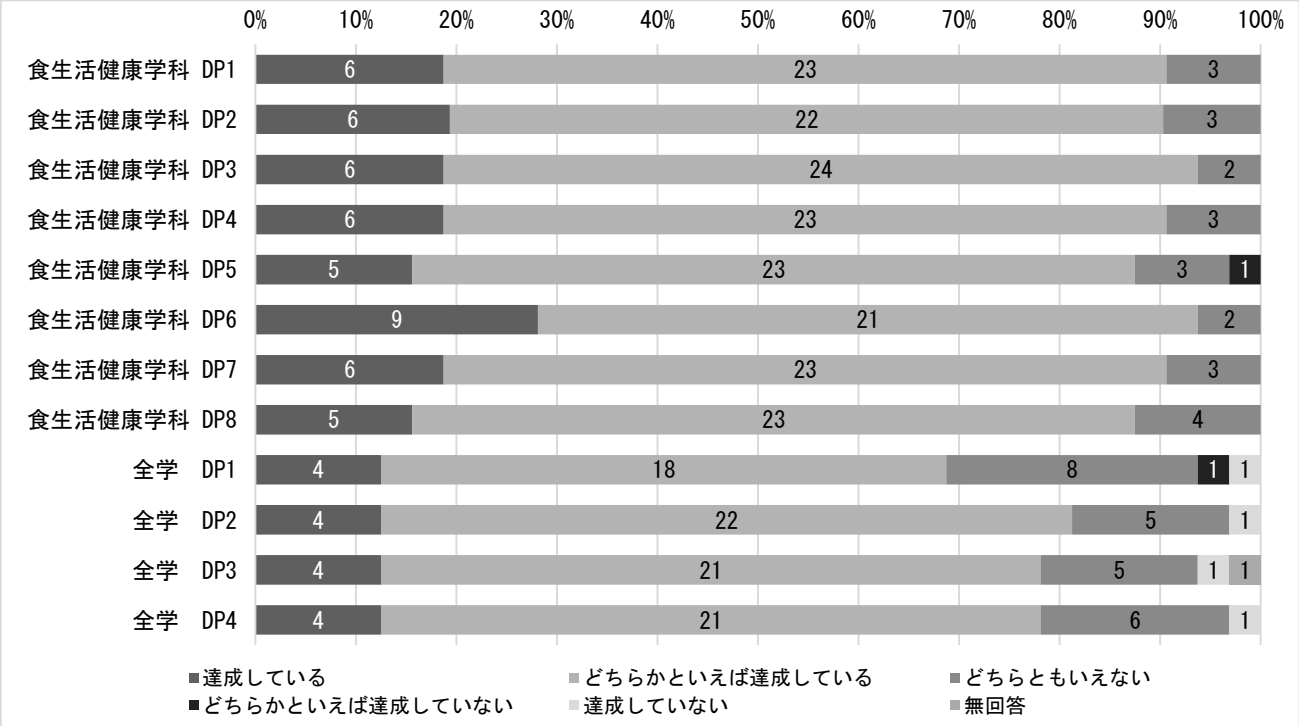
Q15. 就職先・進学先は希望通りでしたか。該当するものを１つだけ選んでください。



Q16. 卒業後の進路決定に関して、ご意見・ご感想等があれば、自由に記入してください。
（記入なし）

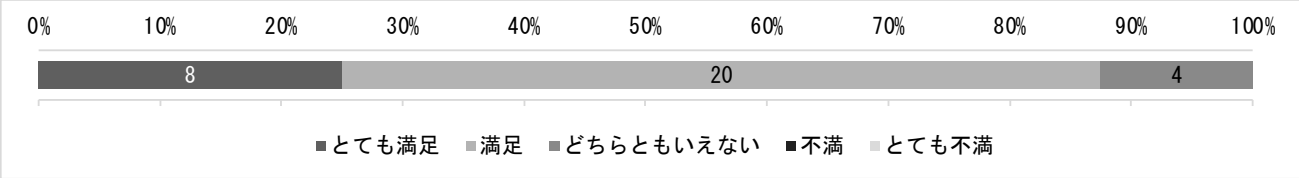
Ⅳ. 所属学科*ならびに大学のディプロマポリシーの達成度について　*Q17 で学科をたずねている
Q18. 食生活健康学科のディプロマポリシーの達成についておたずねします。それぞれについて、該当すると思うものを１つ選んでください。
Q19. 大学全体のディプロマポリシーの達成についてうかがいます。それぞれについて、該当すると思うものを１つ選んでください。

No.	項目	n	達成している	どちらかといえば達成している	どちらともいえない	どちらかといえば達成していない	達成していない	無回答
1	人々の健康と幸福に寄与したいという熱意を有する。	32	6	23	3	0	0	0
			18.8%	71.9%	9.4%	0.0%	0.0%	0.0%
2	専門的知識やスキル向上のために自己研鑽を惜しまない姿勢を有する。	32	6	22	3	0	0	1
			18.8%	68.8%	9.4%	0.0%	0.0%	3.1%
3	人間の健康の維持・増進および疾病の発症予防・重症化予防に関する専門的知識を有する。	32	6	24	2	0	0	0
			18.8%	75.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%
4	疾病の発症予防・重症化予防の栄養管理ができる。	32	6	23	3	0	0	0
			18.8%	71.9%	9.4%	0.0%	0.0%	0.0%
5	対象者に応じて給食経営管理ができる。	32	5	23	3	1	0	0
			15.6%	71.9%	9.4%	3.1%	0.0%	0.0%
6	管理栄養士として適切に他者とコミュニケーションをとることができる。	32	9	21	2	0	0	0
			28.1%	65.6%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%
7	科学的な根拠に基づいて対象者の健康状態を分析できる。	32	6	23	3	0	0	0
			18.8%	71.9%	9.4%	0.0%	0.0%	0.0%
8	栄養ケアプランを立てることができる。	32	5	23	4	0	0	0
			15.6%	71.9%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
1	（建学の精神） キリスト教の理念ならびに本学の建学の精神を理解し、それらに基づき世界や人間のあり方について深く思索・探究できる。	32	4	18	8	1	1	0
			12.5%	56.3%	25.0%	3.1%	3.1%	0.0%
2	（人間としての尊厳） 平和的・民主的な社会の担い手となるため、自らと他者の尊厳を重んじることができる。	32	4	22	5	0	1	0
			12.5%	68.8%	15.6%	0.0%	3.1%	0.0%
3	（職業人） 職業人として経済的・精神的に独立していくために必要な、広い教養と専攻分野における専門的知識・技能を身に付けている。	32	4	21	5	0	1	1
			12.5%	65.6%	15.6%	0.0%	3.1%	3.1%
4	（広い視野に立つ社会人） 国際的な視野を持つ社会人として地域や人類社会の福祉と発展に貢献するため、他者と協働し、生涯にわたり自ら学び続けようとする態度を身に付けている。	32	4	21	6	0	1	0
			12.5%	65.6%	18.8%	0.0%	3.1%	0.0%



Ⅴ. 本学の教育全般について

Q20. 本学での経験全般についてどれくらい満足していますか。



Q21. 特に印象に残っている科目について、その理由もあわせて教えてください。

・教育原理 学校の先生になるために必要な心構えや物事の捉え方を学べた。
・実習 実際に経験したから。
・人体 難しかったから
・生化学 頑張ったから。
・生化学実験 実験を通して座学で学んだ生化学の知識を深めることができ、面白かった。
・臨床医学実験 実際に難しい実験や分析をしたことが楽しかったから
・臨床医学実験：文、検査値を見て対象者がどういう病気なのか見て解く力をつけることができたと思う。
・臨地実習
・臨地実習が印象に残っています。実際に現場で経験することができ工夫点や注意点を見て学ぶことができ、とても良い経験になりました。

Q22. あなたの成長に大きく寄与した教養教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。

・シチズンシップ 社会問題を考えるきっかけになった。
・科目名を覚えていないが、現代の情勢や女性の文化などを学んだ科目が面白かった
・教養セミナーは、他学科とのふれあいを深められた
・調理実習 リーダーになったから(※専門科目)
・臨地実習　たくさん学んだ。(※専門科目)

Q23. あなたの成長に大きく寄与した専門教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。

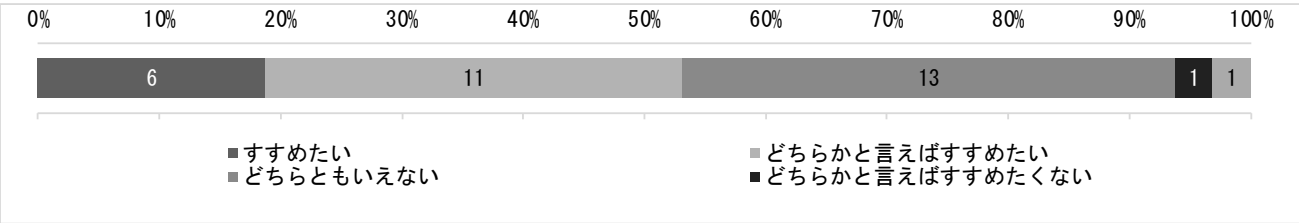
・SA をしたキャリアデザイン系の科目（※教養科目）
・栄養教育実習 栄養指導について考えるきっかけになった。

・栄養教育論実習 人の前に立って話すことが苦手だが、栄養教育をクラスの人の前で緊張しながら話す機会が今までにないので貴重な経験が出来ました。
・調理実習 リーダーを経験したから
・臨床栄養学は国試でも安定してとることが出来た

Q24.あなたのキャリア選択に大きく寄与した教養教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。
・調理実習(※専門科目)
・日本国憲法 自分の向き不向きがわかった。

Q25.あなたのキャリア選択に大きく寄与した専門教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。
・実習 自分の向き不向きがわかった。
・調理実習

Q26.本学での学生生活をふまえて、皆さんのお知り合いの方に本学への進学をすすめたいと思いますか。



Q27.本学への進学の推奨に関して、上記のように回答した具体的な理由を教えてください。

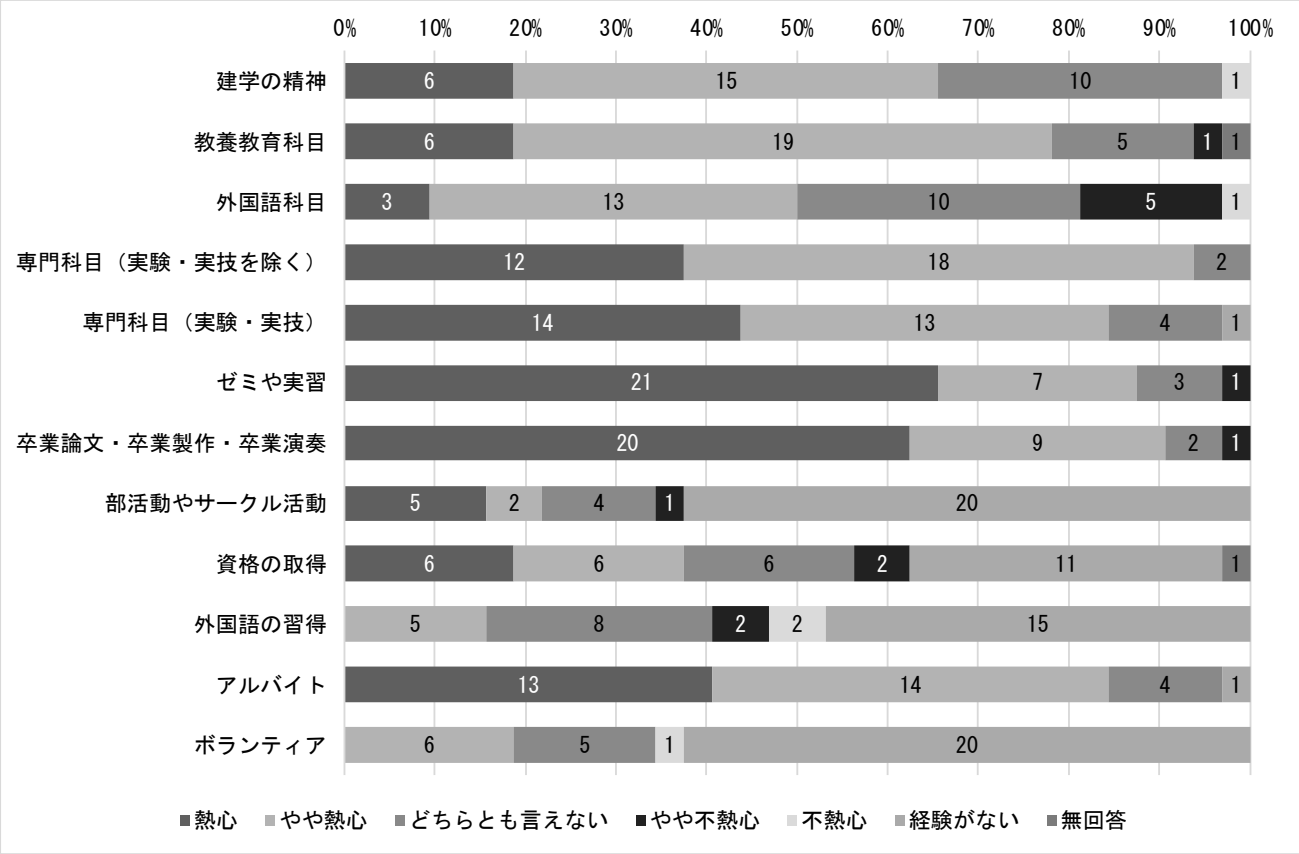
すすめたい	・きついこともちろんありましたが、先生方がとても親身になってくださり楽しく4年間を過ごせたからです。 ・先生たちが親身になって支えてくださるし、良い仲間に出会えたのでおすすめです。 ・先生方が優しく、手厚いサポートをして下さったため。
どちらかと言えばすすめたい	・大学の授業だけでなく、課外活動に参加できる機会が多く、充実した4年間を過ごすことができたため。
どちらともいえない	・今後、管理栄養士という職業が必要なのかどうか分からないから。 ・少人数クラスだからこその特徴があるため。 ・大学にしては課題の量や授業の負担が大きいため、自分の大学生活のビジョンによっては合わないと思う。 ・大変だから
どちらかと言えばすすめたくない	（記入なし）

Q28.その他、本学に対するご意見・ご感想があれば記入してください。
・活水に進学してよかったです。
・人間関係でいろいろあり、大学に通うことが苦に感じることがあった。夢のために頑張って通った。今思えばそれも経験なのかもしれませんが、もっと頼れるところが欲しかったです。

2-6.健康生活学部　生活デザイン学科

Ⅰ.大学生活について

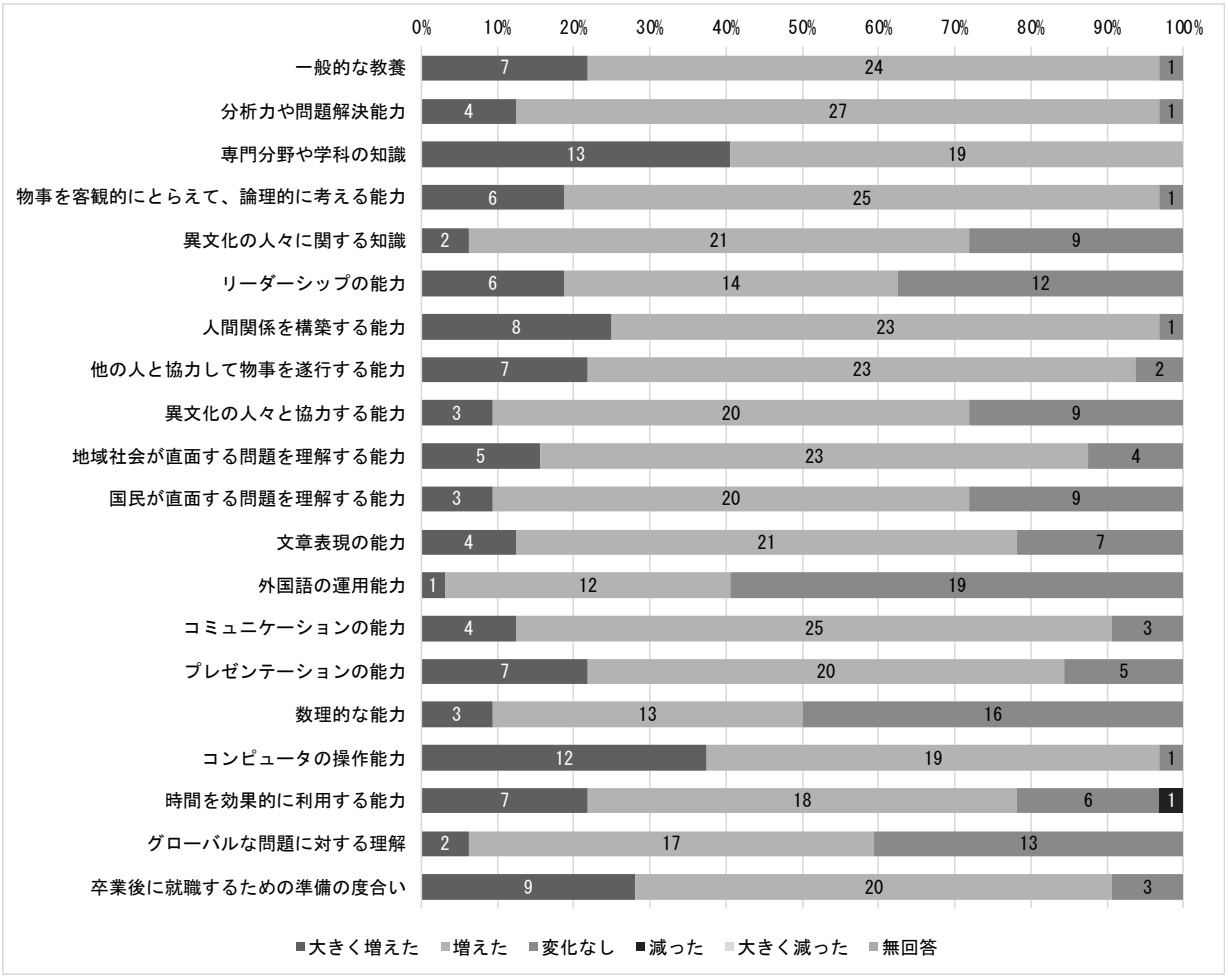
Q1.大学の授業科目の学修や課外活動について、どの程度熱心に取り組みましたか。



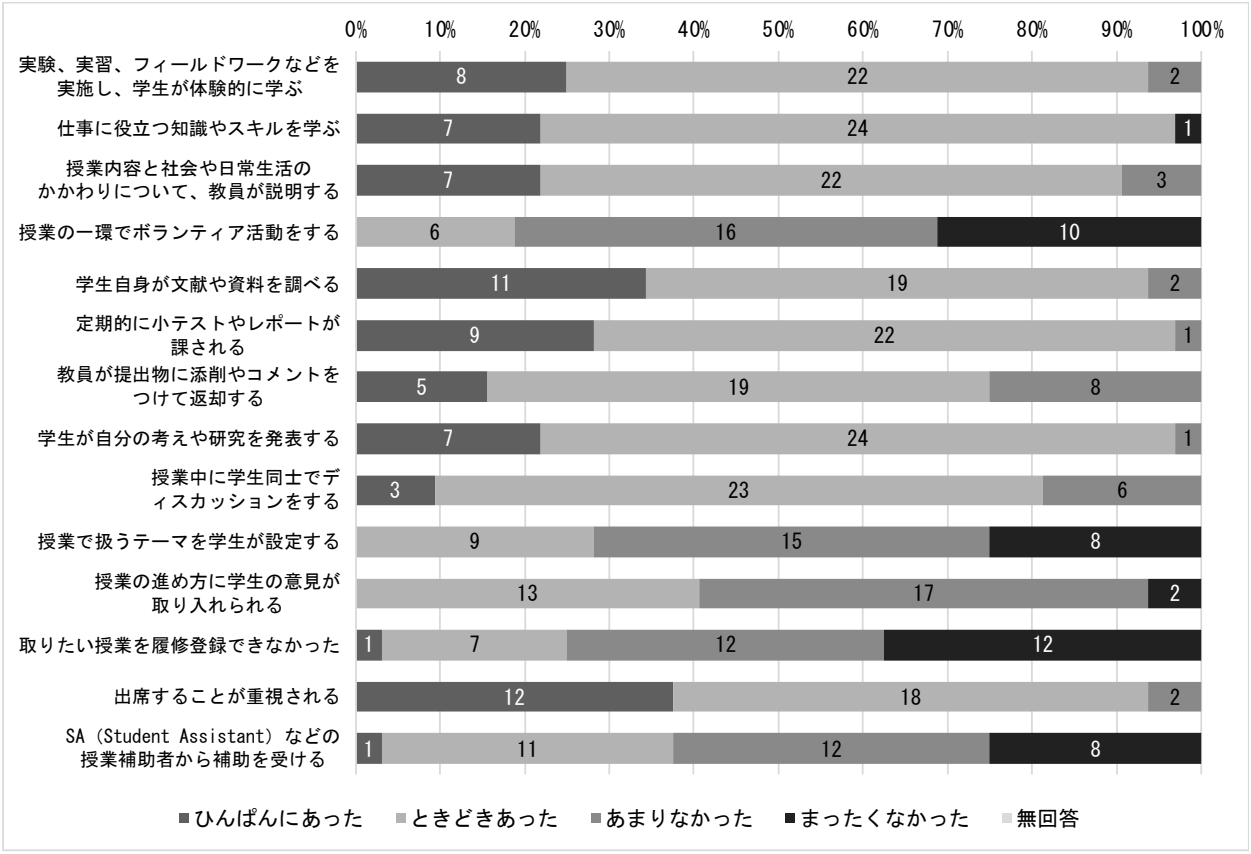
Q2.上記以外で、大学時代に熱心に取り組んだことがあれば記入してください。

・スキルの向上
・一人暮らし
・公務員の勉強
・卒業制作、卒業論文は力を入れて取り組みました。
・文化祭実行委員

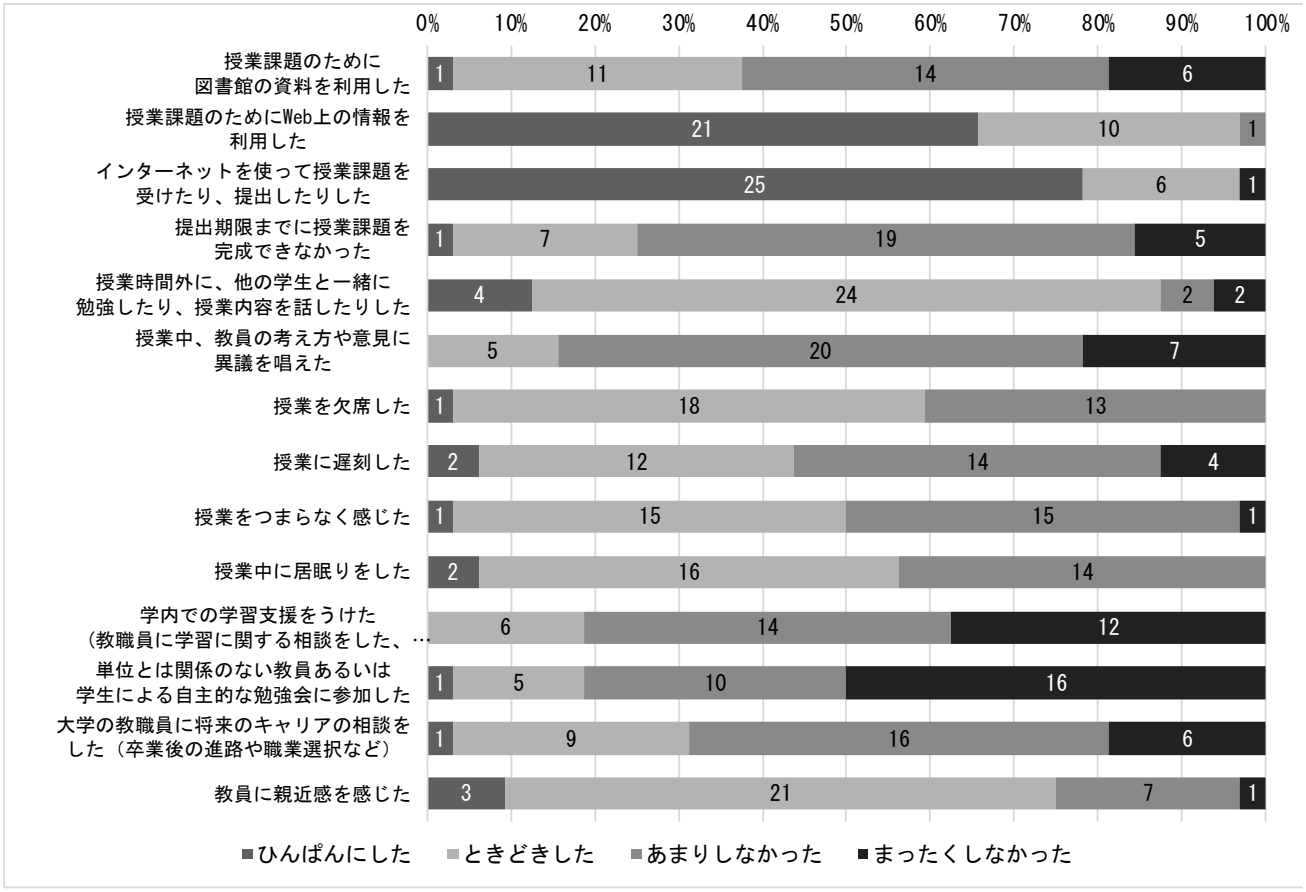
Q3. 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。



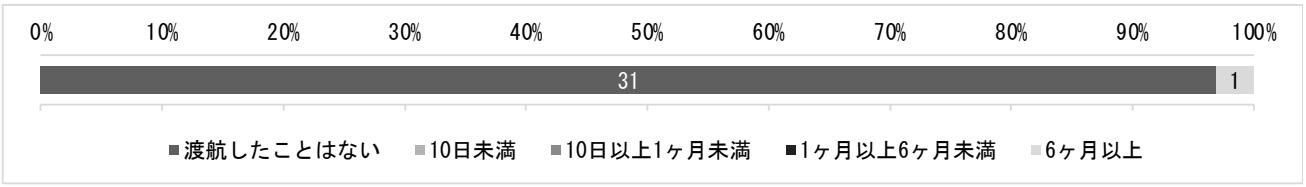
Q4. あなたが受講した授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか。



Q5. 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらい経験しましたか。

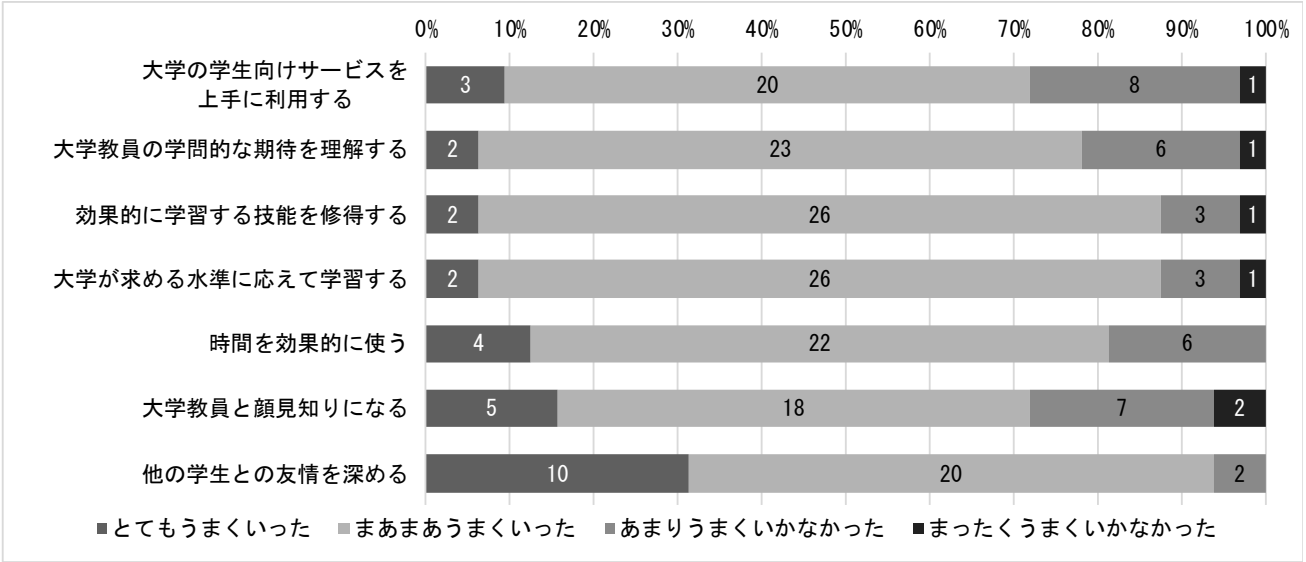


Q6. あなたは大学時代に留学をしましたか。最も長期の経験を１つだけ選んでください。

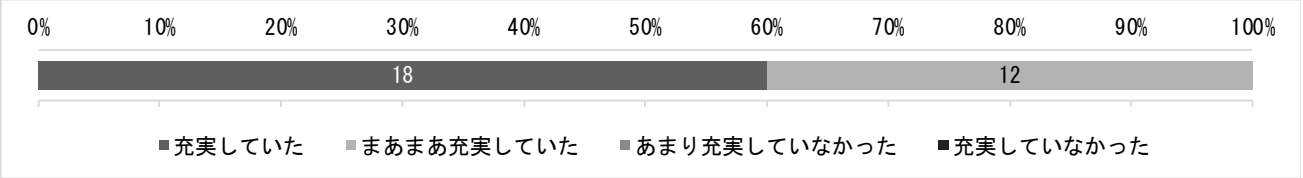


Ⅱ. 大学生活に対する考えや満足度について

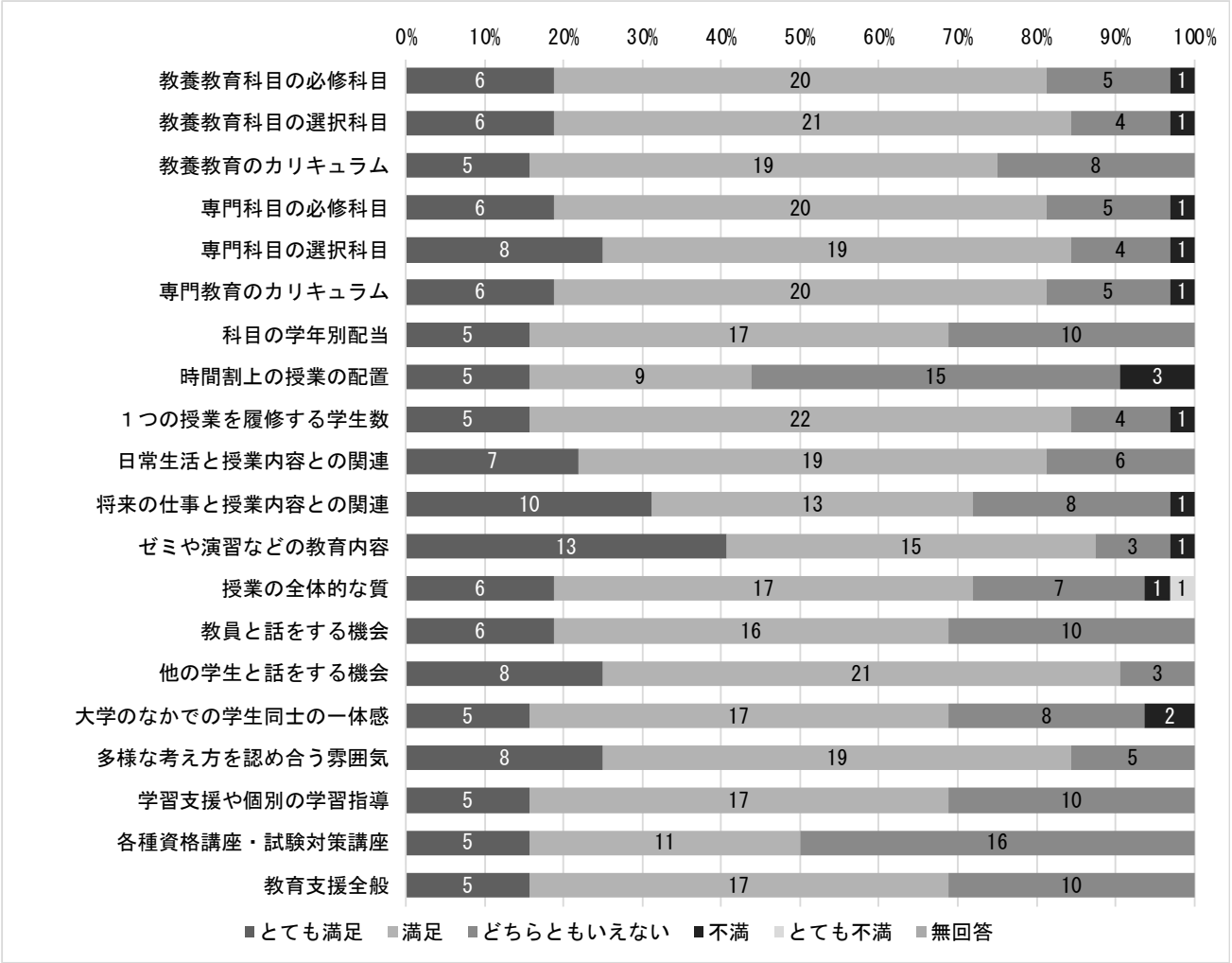
Q7. 本学に入学してから、あなたにとって次のことがらはどれくらいうまくいきましたか。



Q8. あなたの学生生活は充実していましたか。



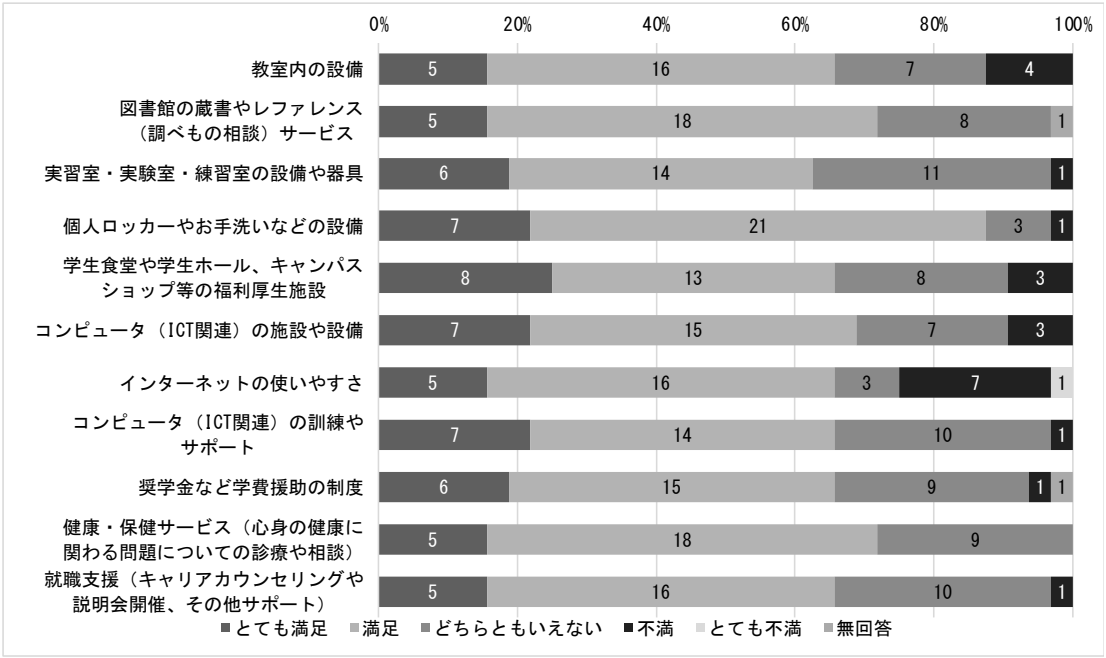
Q9. あなたは、本学の教育課程や教育支援等にどれくらい満足していますか。



Q10. 本学の教育課程や教育支援等に対して、ご意見・ご感想等があれば、自由に記入してください。

・建築についての基礎知識が、授業だけではあまり身につかなかったように思います。卒業してから、再度着実に勉強が必要だと思いました。
・連絡が遅かったり指導の効率が悪く感じる時が多々あった。

Q11. あなたは、本学の設備や学生支援制度にどれくらい満足していますか。

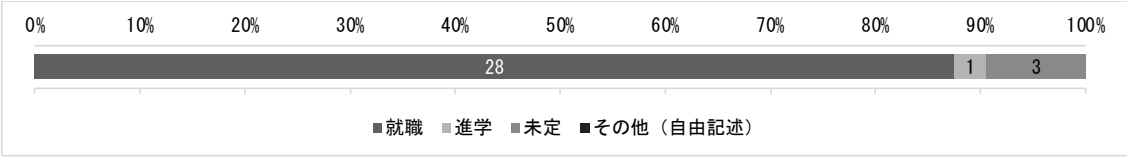


Q12. 本学の設備や学生支援制度に対して、ご意見・ご感想等があれば、自由に記入してください。

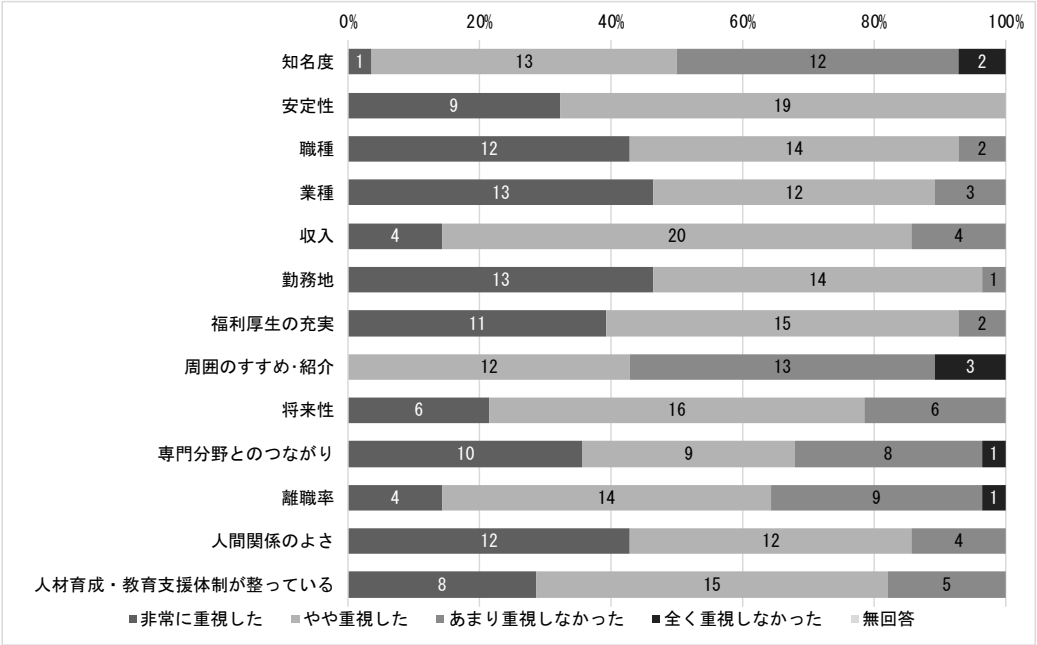
・ナプキンを全トイレに配置して欲しかった
・学生生活支援課や就職課の人には様々な面でお世話になりました。助かりました
・紹介していただく就職先の幅がなく、専門職がほとんどないためその分の幅を増やしていただけると今後の就活生にとっては気持ち的に安心するかと思います。
・電子レンジはあるがお湯が使える場所が少なく不便だった

Ⅲ. 卒業後の進路について

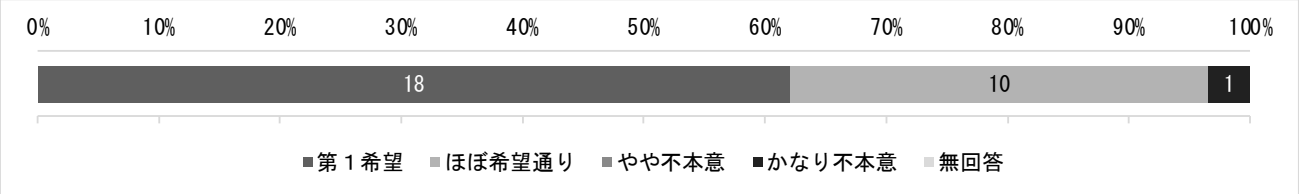
Q13. 卒業後の進路を教えてください。



Q14. 就職先の選択に際し、以下の項目をどれくらい重視しましたか。



Q15. 就職先・進学先は希望通りでしたか。該当するものを１つだけ選んでください。



Q16. 卒業後の進路決定に関して、ご意見・ご感想等があれば、自由に記入してください。

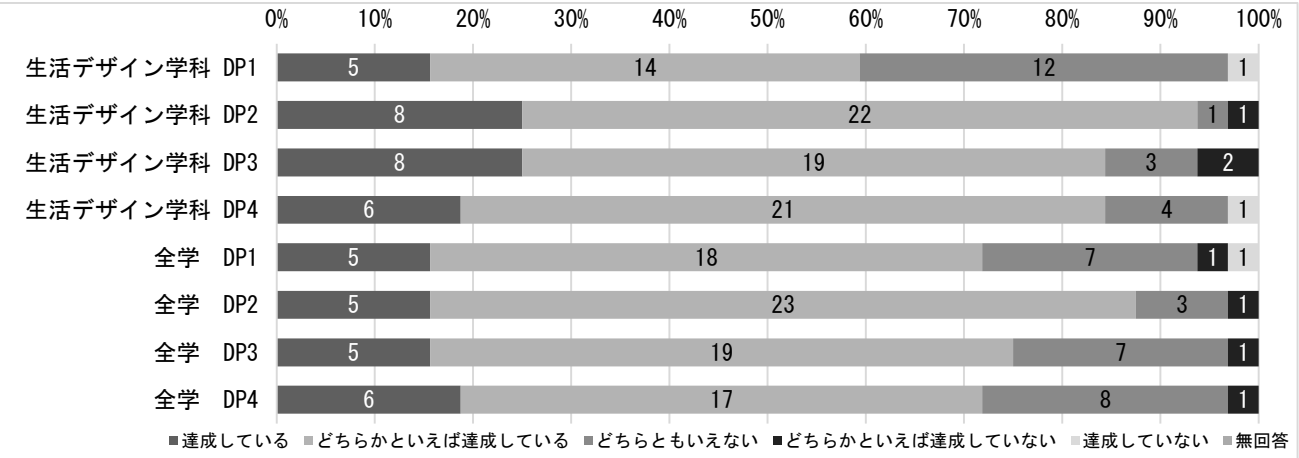
・先輩たちが受けた企業などを学科の先生は全く教えてくれなかった。インターンに行きたいと言っても反対されるだけで就職することに重きを置いていなかったのが辛かった。

Ⅳ. 所属学科*ならびに大学のディプロマポリシーの達成度について　*Q17 で学科をたずねている

Q18. 生活デザイン学科のディプロマポリシーの達成についておたずねします。それぞれについて、該当すると思うものを１つ選んでください。

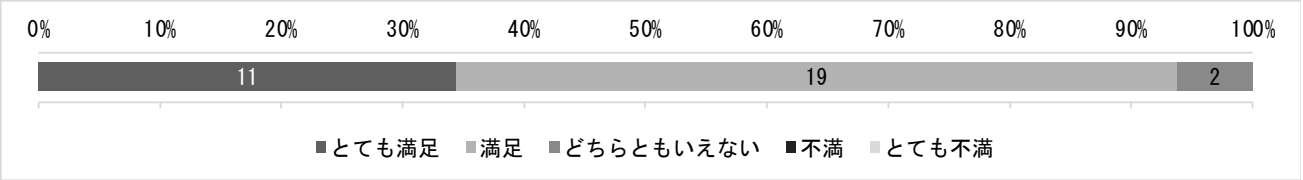
Q19. 大学全体のディプロマポリシーの達成についてうかがいます。それぞれについて、該当すると思うものを１つ選んでください。

		No.	項目	n	達成している	どちらかといえば達成している	どちらともいえない	どちらかといえば達成していない	達成していない	無回答
18	生活デザイン学科のディプロマポリシー（DP）の達成についておたずねします。それぞれについて、該当すると思うものを1つ選んでください。	1	地域・社会において、生活の向上のために貢献する意志と姿勢、国際的な視野を有している。	32	5	14	12	0	1	0
					15.6%	43.8%	37.5%	0.0%	3.1%	0.0%
		2	生活デザインに関する衣食住の専門知識を修得している。	32	8	22	1	1	0	0
					25.0%	68.8%	3.1%	3.1%	0.0%	0.0%
		3	生活デザインに関する衣食住の専門技術を修得している。	32	8	19	3	2	0	0
					25.0%	59.4%	9.4%	6.3%	0.0%	0.0%
		4	生活者の視点から問題を発見し、解決し、表現する能力、およびコミュニケーション能力を修得している。	32	6	21	4	0	1	0
					18.8%	65.6%	12.5%	0.0%	3.1%	0.0%
19	大学全体のディプロマポリシー（DP）の達成についてうかがいます。それぞれについて、該当すると思うものを1つ選んでください。	1	（建学の精神） キリスト教の理念ならびに本学の建学の精神を理解し、それらに基づき世界や人間のあり方について深く思索・探究できる。	32	5	18	7	1	1	0
					15.6%	56.3%	21.9%	3.1%	3.1%	0.0%
		2	（人間としての尊厳） 平和的・民主的な社会の担い手となるため、自らと他者の尊厳を重んじることができる。	32	5	23	3	1	0	0
					15.6%	71.9%	9.4%	3.1%	0.0%	0.0%
		3	（職業人） 職業人として経済的・精神的に独立していくために必要な、広い教養と専攻分野における専門的知識・技能を身に付けている。	32	5	19	7	1	0	0
					15.6%	59.4%	21.9%	3.1%	0.0%	0.0%
		4	（広い視野に立つ社会人） 国際的な視野を持つ社会人として地域や人類社会の福祉と発展に貢献するため、他者と協働し、生涯にわたり自ら学び続けようとする態度を身に付けている。	32	6	17	8	1	0	0
					18.8%	53.1%	25.0%	3.1%	0.0%	0.0%



Ⅴ.本学の教育全般について

Q20.本学での経験全般についてどれくらい満足していますか。



Q21.特に印象に残っている科目について、その理由もあわせて教えてください。

・ゼミ・卒業研究　1番時間と労力をかけたから。
・ゼミ、卒業研究 4年間の集大成の時間だったし、長期間かけて1つの作品を完成させるという達成感を味わうことができたから。
・ゼミ。自分がやりたいことを一から調べれたから
・ゼミ活動
・デッサン、難しかったから
・メディアデザイン 映像編集をやったことがなかったため、興味深かった
・ランドスケープ　一から設計し、模型を作るのは楽しかった
・映像編集の授業。外部の講師（実際にお仕事されている）を招き、実際に働いて活躍している方の話を聞きながら授業に取り組めたことはとても良かったです。
・教職の科目
・芸術文化論 有名な絵画について知れるので楽しかった
・建築デザイン 初めて模型を制作し、知識を蓄えた。
・小畑先生のゼミの時間。先生がとても親身で、とても助かりました。先生のおかげもあり、大学において学びたかったことが学べました。
・卒業研究 深い学びをさせてくれた。
・卒業制作:一番追い込んだから
・陶芸 元々陶芸が好きで授業で教えて頂きながらする経験ができたため
・陶芸 手間はかかったけど1番印象に残ってます。

Q22.あなたの成長に大きく寄与した教養教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。

・教養科目で看護の先生も来てくださった授業
・心理学 人の考え方、思考を学ぶことが出来た
・心理学 なるほどなーと思うことが多かったです。先生の質疑応答もしっかりしていました。
・卒業制作 満足できるまで、諦めずに頑張れた。（※専門科目）
・ゼミ活動（※専門科目）

Q23.あなたの成長に大きく寄与した専門教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。

・CAD、設計できるようになったから
・ゼミ活動
・プロダクトデザイン ソフトの使い方をある程度理解出来た気がします。
・家庭科教育法:授業の作り方などを学べたから
・建築CAD　基礎は使えるようになった
・小畑先生のゼミ。分からないことがあればなんでも質問できやすい環境で、とても楽しく充実したゼミでした。

Q24.あなたのキャリア選択に大きく寄与した教養教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。

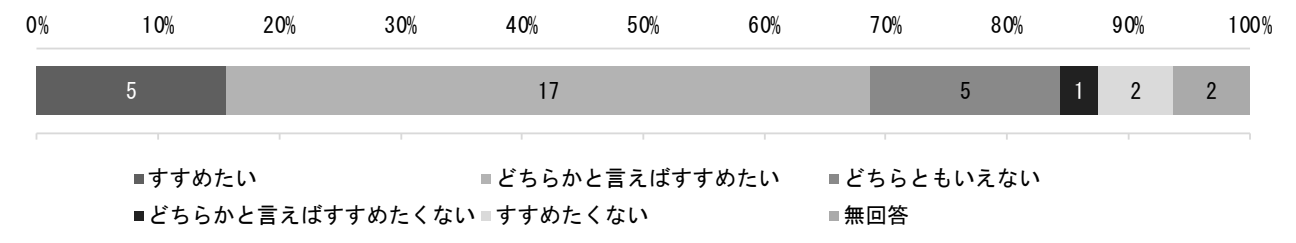
・ゼミ活動（※専門科目）
・建築デザイン 住宅以外の設計にも興味を持った。（※専門科目）

Q25.あなたのキャリア選択に大きく寄与した専門教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。

・ゼミ活動

・建築・インテリア系科目全般 不動産会社に就職することに繋がったから

Q26.本学での学生生活をふまえて、皆さんのお知り合いの方に本学への進学をすすめたいと思いますか。



Q27.本学への進学の推奨に関して、上記のように回答した具体的な理由を教えてください。

すすめたい	・とても充実した４年間でした。 ・充実した楽しい4年間を過ごせた。 ・沢山のことを学べ、知識や経験を身につけることが出来、充実した4年間だったから。
どちらかと言えばすすめたい	・4年後期までキリスト教学が必修だったため、その点でどちらかとにした。 ・過ごしやすいから ・学びたい分野があって迷っているなら活水で学ぶという選択肢があると伝えるから。 学びたい分野が学べるから。 ・県内で数少ないデザイン系の分野がある大学なのでその道を進むなら幅広い知識を得られて勉強になると思います。 ・自分の興味のある分野が活水にあるのならば、自分の好きなことについて、追求できると思ったから。 ・生活デザイン学科に関しては、 やりたいことが決まっていない人にとっては、様々な分野を経験することができる場である。 ・先生方、準備室の方皆さん優しく、快適で楽しい大学生活を送れたから ・満足はしているから。 ・様々な分野の科目を学べたから
どちらともいえない	・建築士の資格をとれるわりには、他大学に比べて教育の質が良くないと思います。 特に構造力学については、もっと難しい問題を解きたかったです。
どちらかと言えばすすめたくない	・キリスト教学が四年生まで必修になっているのが意味わからない。 ・就職に対してデザイン学科は協力的ではないから。

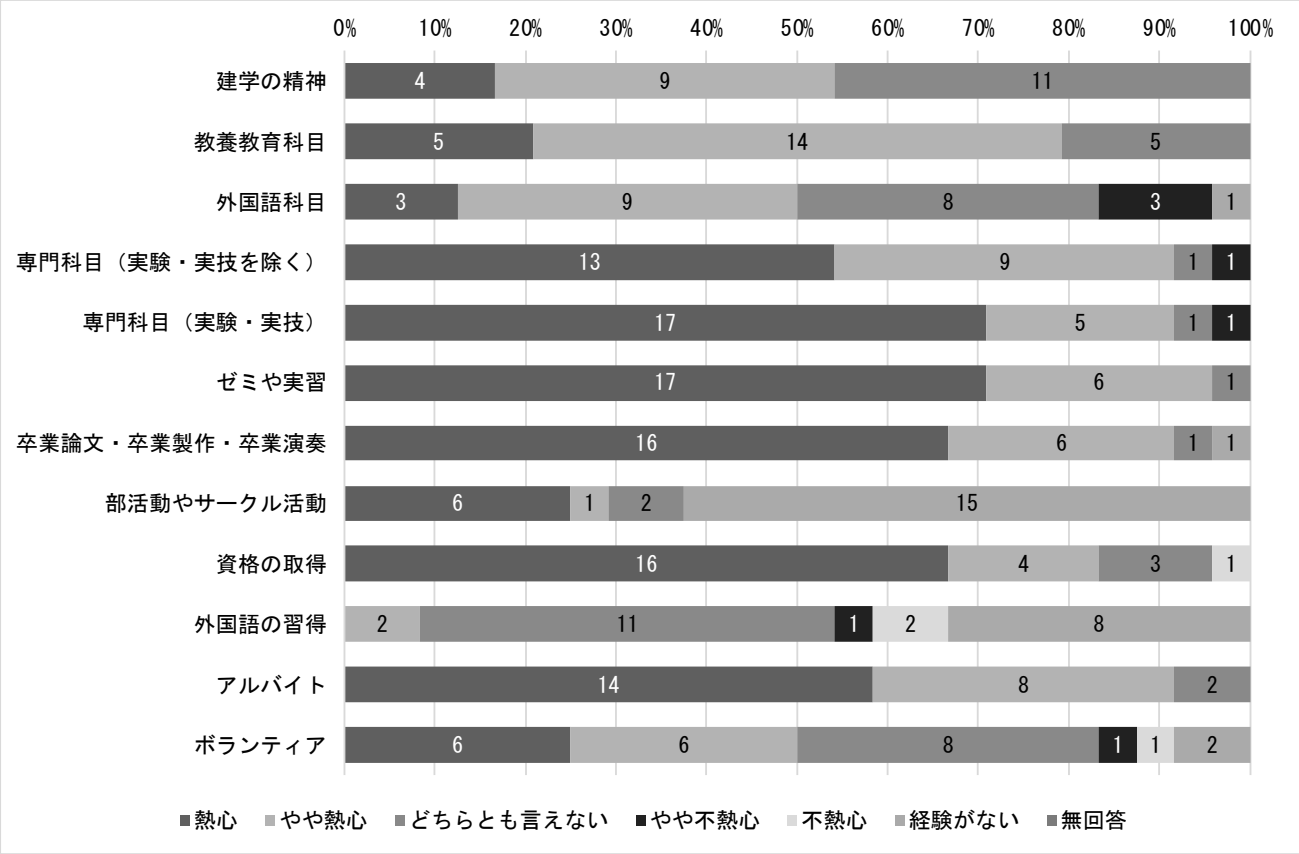
Q28.その他、本学に対するご意見・ご感想があれば記入してください。

・もっと教育のレベルをあげたほうがいいと思います。

2-6.健康生活学部　子ども学科

Ⅰ.大学生活について

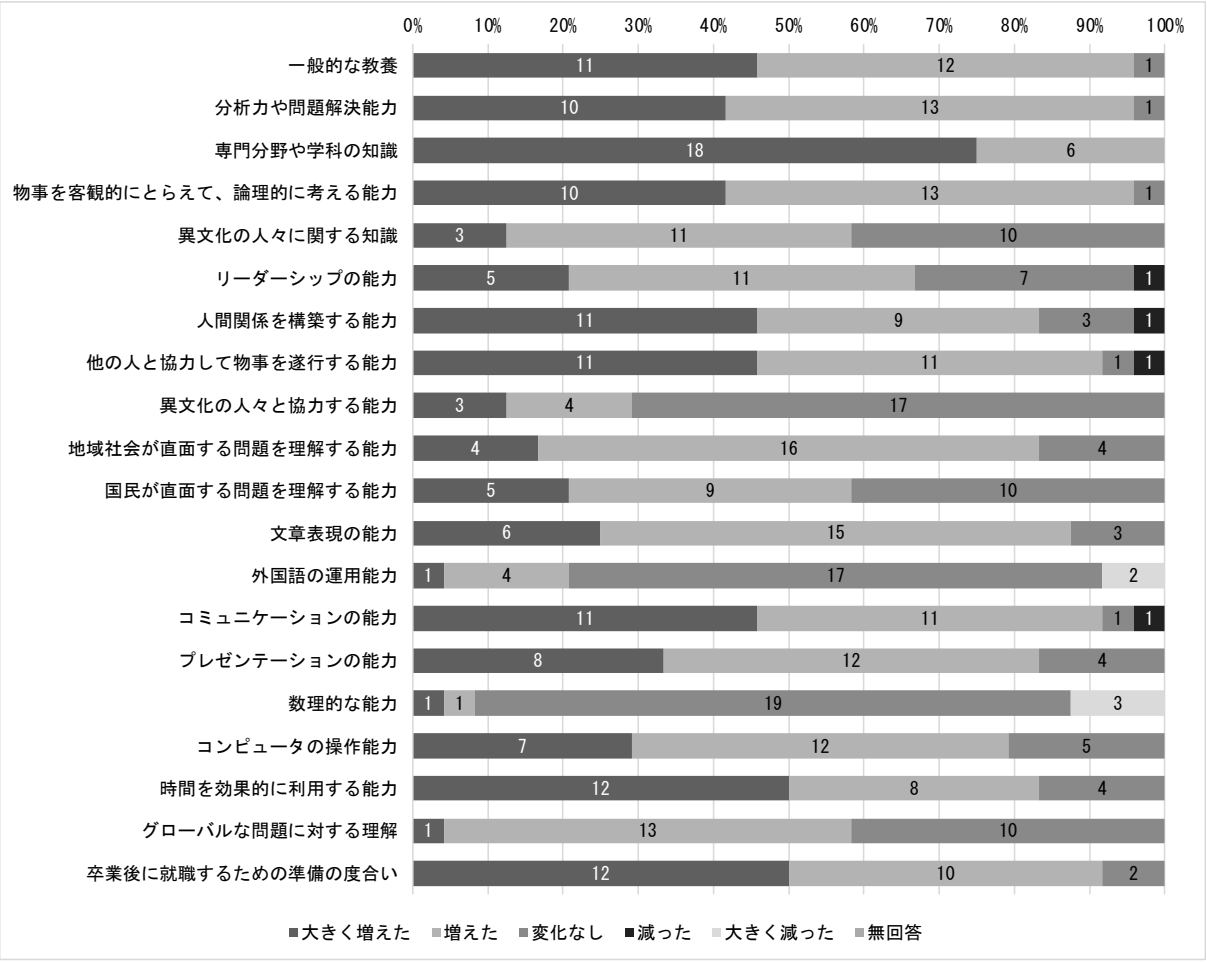
Q1.大学の授業科目の学修や課外活動について、どの程度熱心に取り組みましたか。



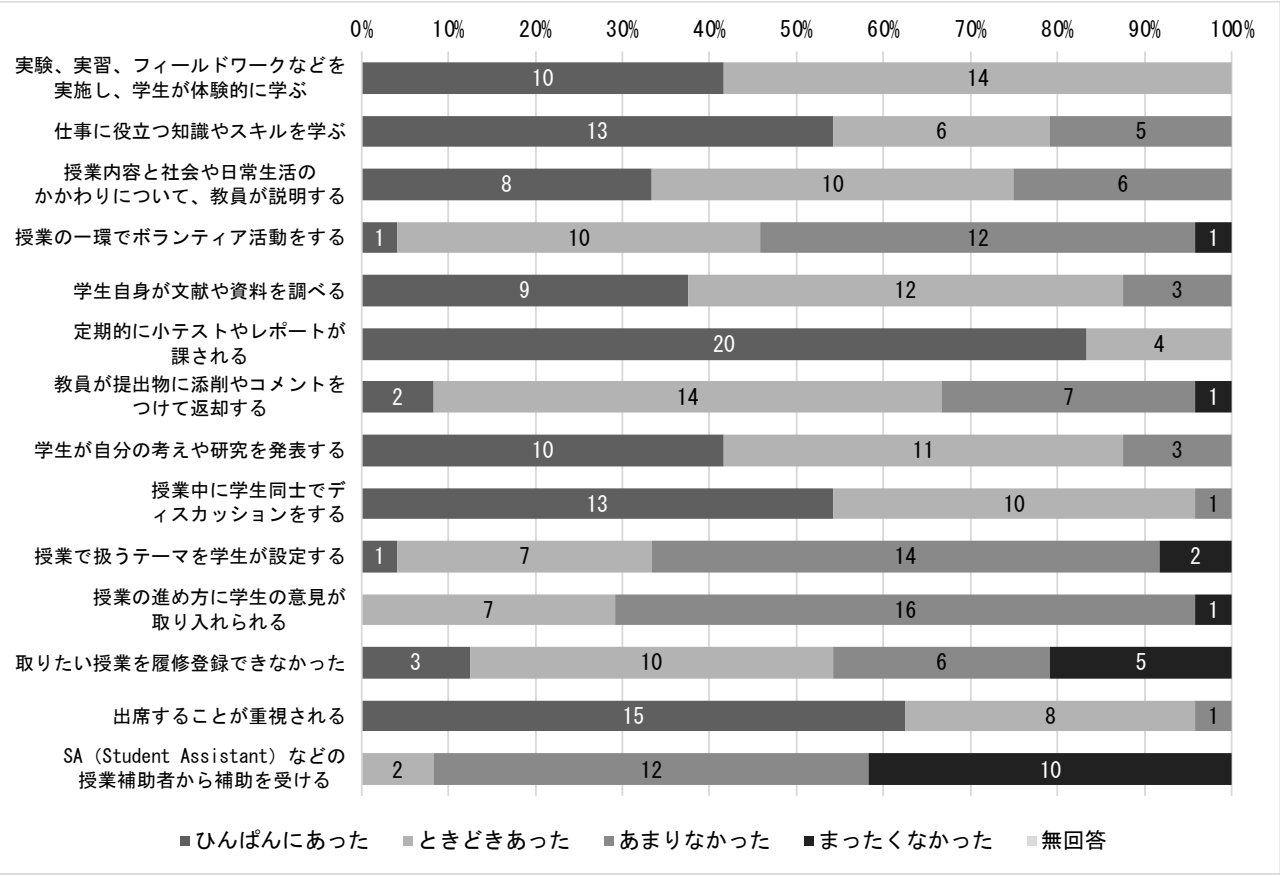
Q2.上記以外で、大学時代に熱心に取り組んだことがあれば記入してください。

・バレエ
・ボランティア活動(ミニバスケットボールの監督業)
・卒業論文
・部活動

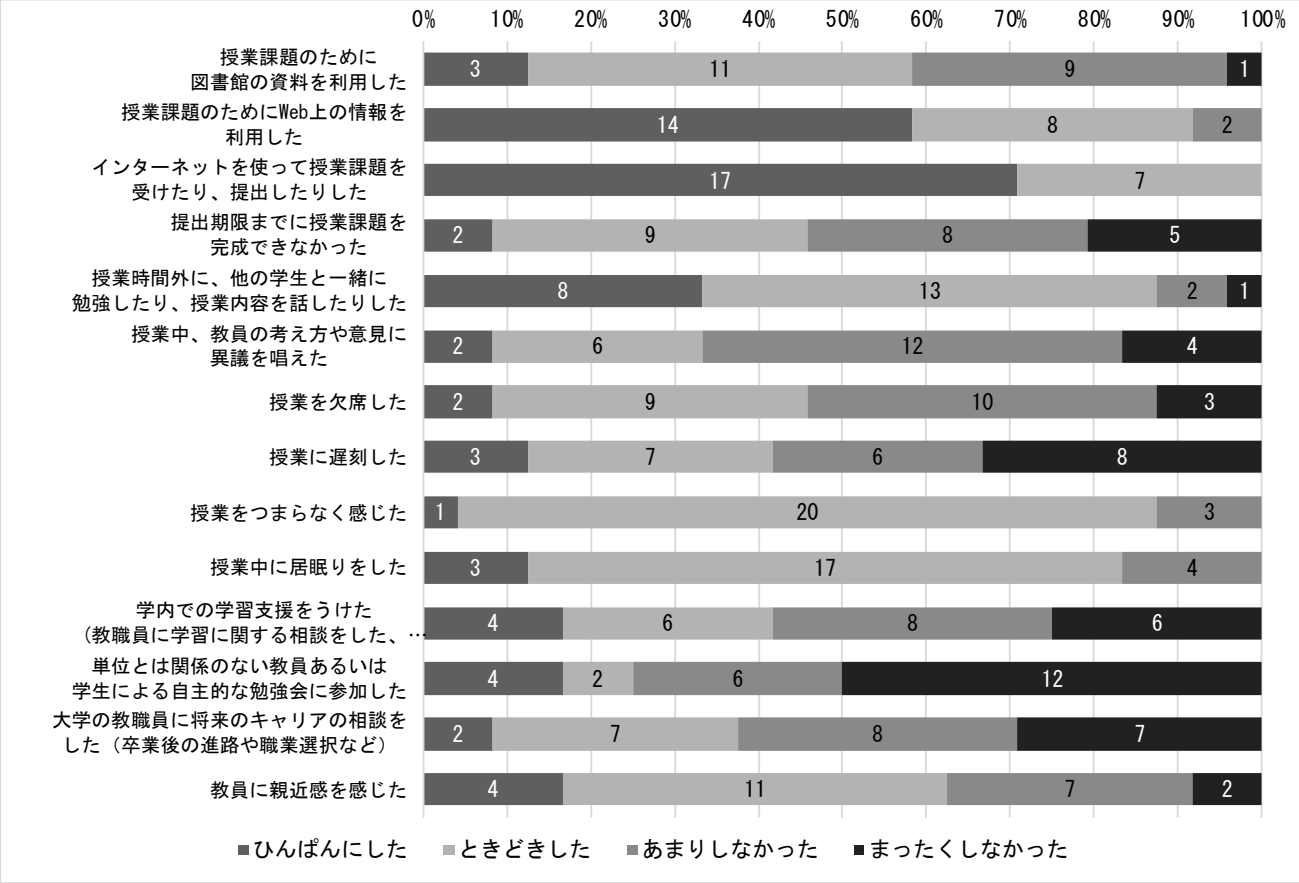
Q3. 入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。



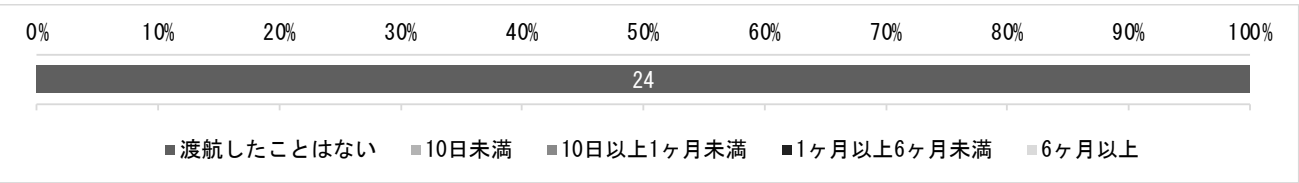
Q4. あなたが受講した授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか。



Q5. 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらい経験しましたか。

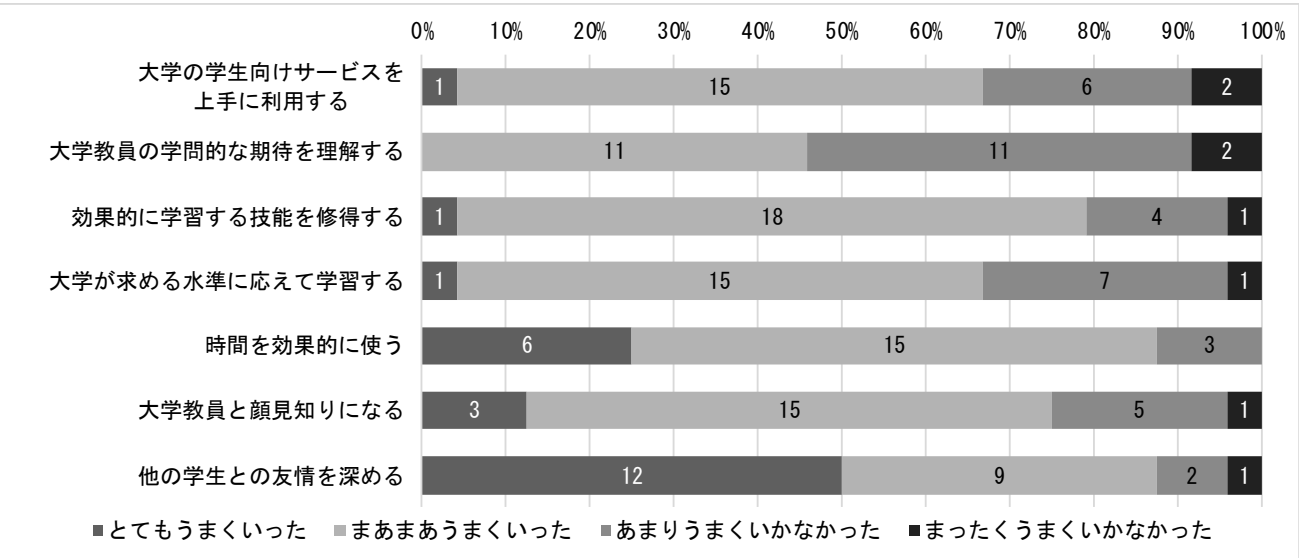


Q6. あなたは大学時代に留学をしましたか。最も長期の経験を 1 つだけ選んでください。

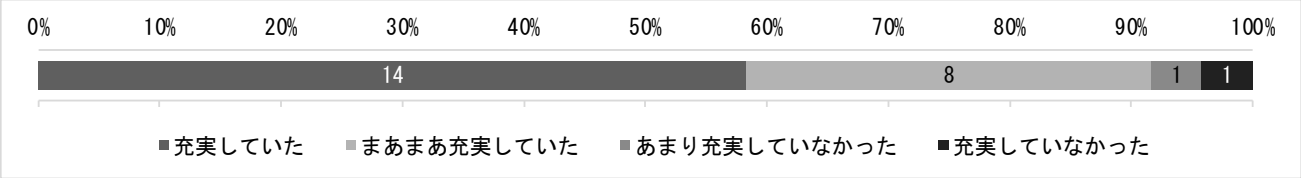


Ⅱ. 大学生活に対する考えや満足度について

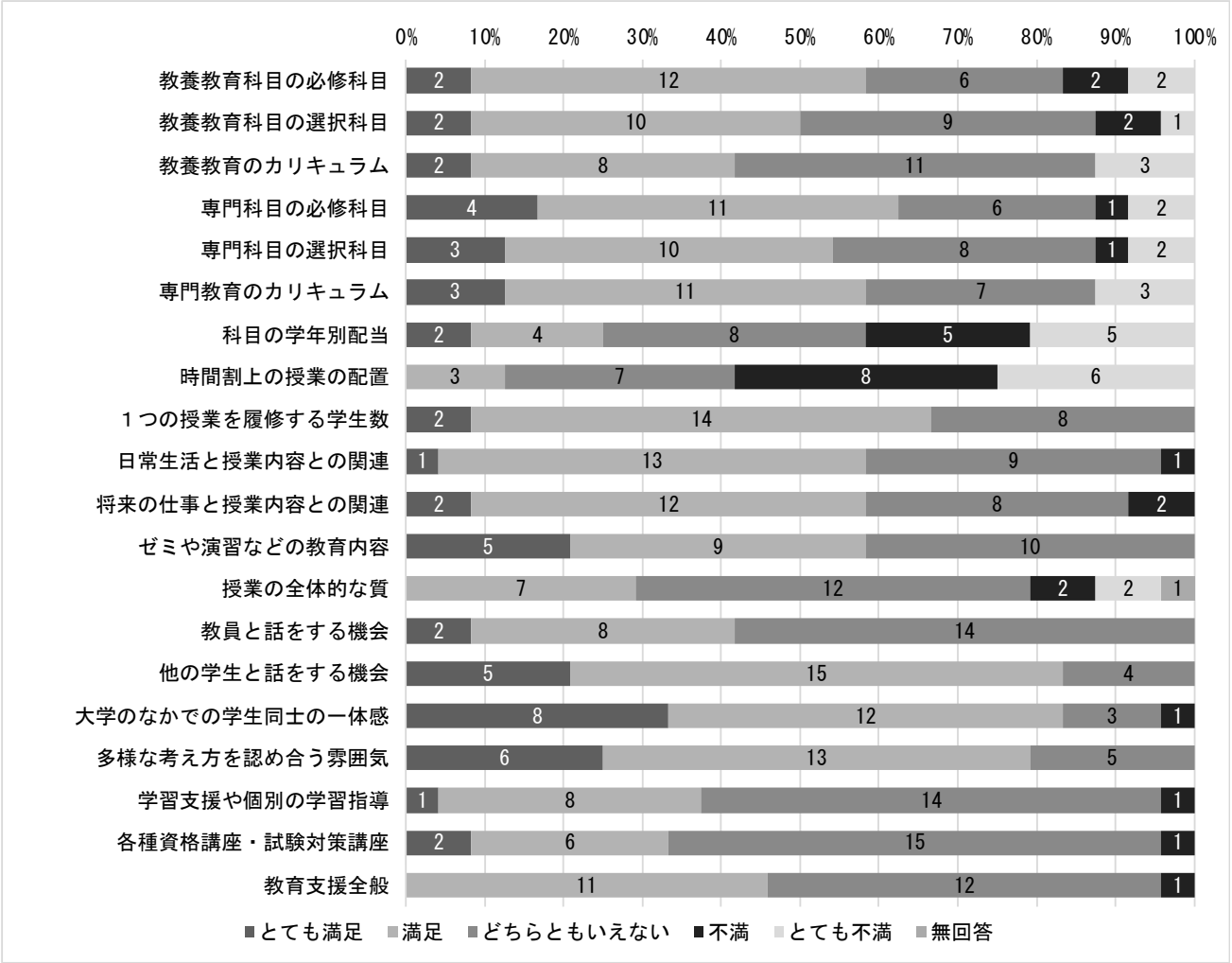
Q7. 本学に入学してから、あなたにとって次のことがらはどれくらいうまくいきましたか。



Q8. あなたの学生生活は充実していましたか。



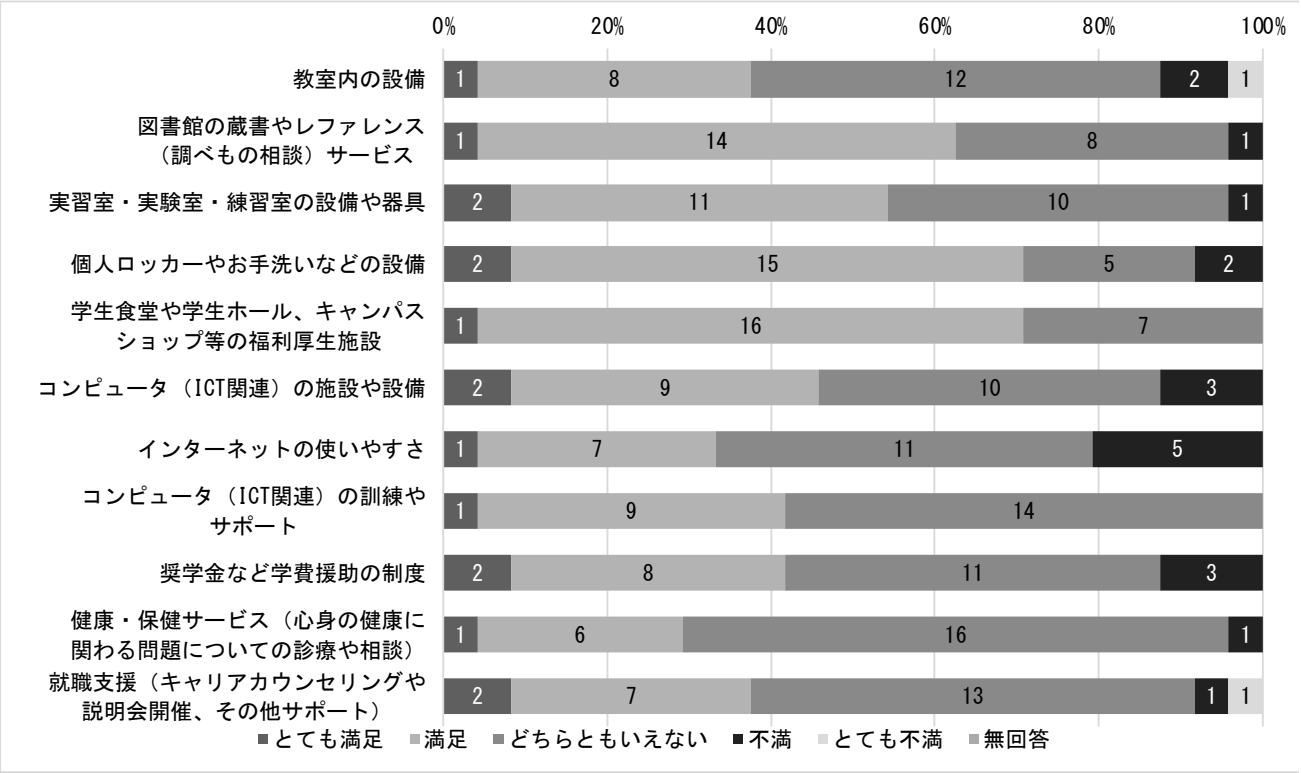
Q9. あなたは、本学の教育課程や教育支援等にどれくらい満足していますか。



Q10. 本学の教育課程や教育支援等に対して、ご意見・ご感想等があれば、自由に記入してください。

・4 年生まで授業がつめつめだったので、就活に支障をきたしたり、就職先の勉強会に参加出来なかったりと、他大学と比べて大いに就活が不利だと感じた。
・4 年生後期に資格取得に関係するテストがあることが最後まで不安だった
・24 単位という枠組みのなかで保育士と養護教諭の資格・免許取得は難しいのをはじめから言ってほしかった。制度を変えるべきである。
・学年の開講科目に合わせて授業を取れるようにしてほしい
・教職についてたくさんご指導していただき、とても助かりました。
・教職支援室をたくさん活用させていただいたり、教職支援の先生方に講座を開いていただいたりしてとてもありがたかったです。

Q11. あなたは、本学の設備や学生支援制度にどれくらい満足していますか。

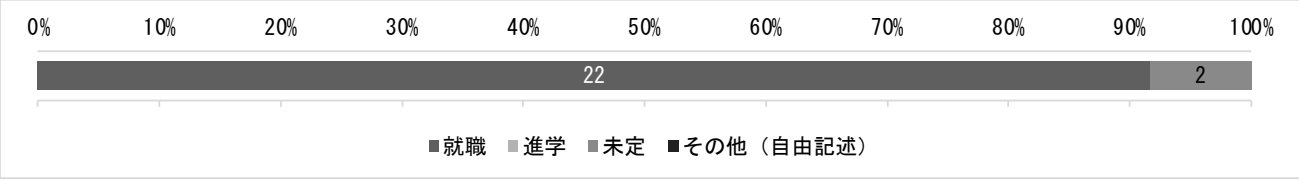


Q12. 本学の設備や学生支援制度に対して、ご意見・ご感想等があれば、自由に記入してください。

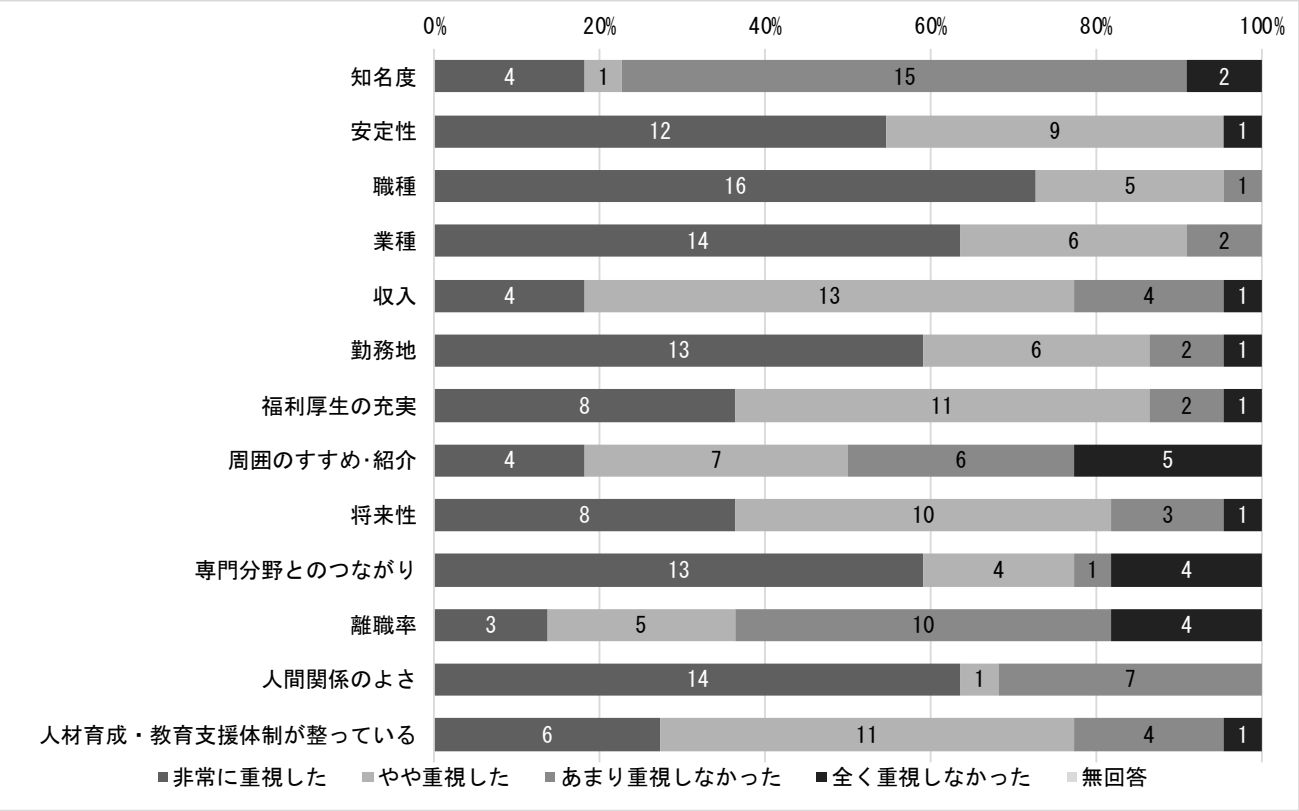
・ロッカーが遠すぎて全く利用しなかった。
・文部科学省が出したCAP制に伴いカリキュラムがぐちゃぐちゃな年代で、多くの苦労があった。あらかじめ、カリキュラムを見直しておく必要があったのではないか。
・就職についての情報が遅すぎたことと、先輩方の体験談を知りたかったのに体験記の存在すら知らなかった。
・奨学金制度の幅を広げていただきたいです。

Ⅲ. 卒業後の進路について

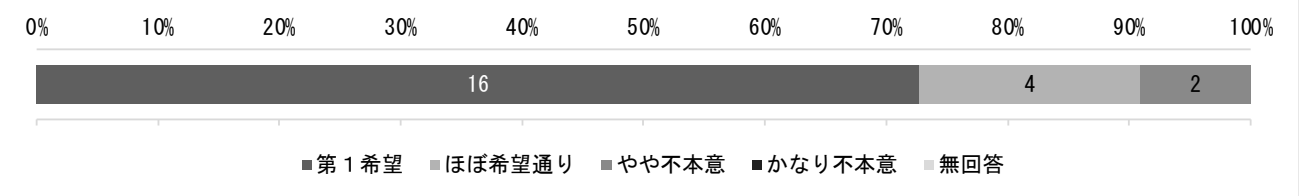
Q13. 卒業後の進路を教えてください。



Q14. 就職先の選択に際し、以下の項目をどれくらい重視しましたか。



Q15. 就職先・進学先は希望通りでしたか。該当するものを１つだけ選んでください。



Q16. 卒業後の進路決定に関して、ご意見・ご感想等があれば、自由に記入してください。

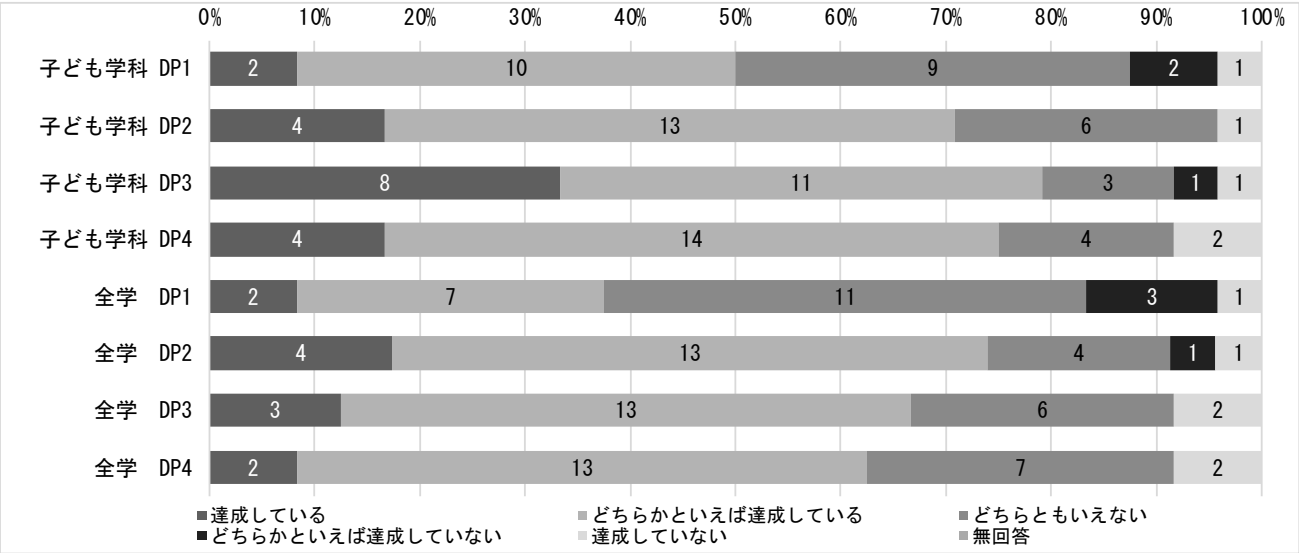
・まだ就職先未決定です
・就職に対する協力体制があまりないと感じた。

Ⅳ.所属学科*ならびに大学のディプロマポリシーの達成度について　*Q17 で学科をたずねている

Q18.子ども学科のディプロマポリシーの達成についておたずねします。それぞれについて、該当すると思うものを１つ選んでください。

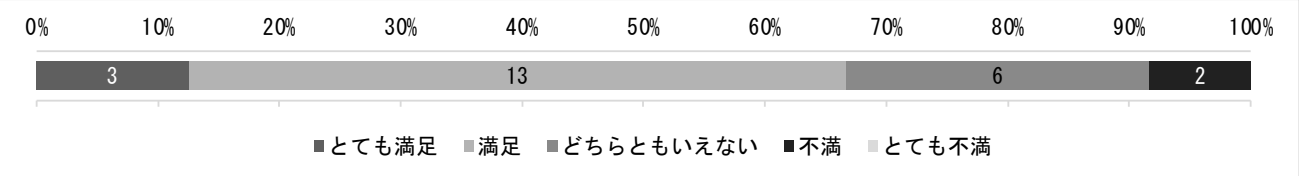
Q19.大学全体のディプロマポリシーの達成についてうかがいます。それぞれについて、該当すると思うものを１つ選んでください。

		No.	項目	n	達成している	どちらかといえば達成している	どちらともいえない	どちらかといえば達成していない	達成していない	無回答
18	子ども学科のディプロマポリシー（DP）の達成についておたずねします。それぞれについて、該当すると思うものを1つ選んでください。	1	ボランティア活動や地域貢献における様々な人間関係を通して自己管理および生涯にわたり、学ぶ姿勢を継続できる。	24	2	10	9	2	1	0
					8.3%	41.7%	37.5%	8.3%	4.2%	0.0%
		2	現代社会において子どもや家庭の抱えている生活問題とその解決の在り方を、国内および国際社会との関係性のなかで理解する。	24	4	13	6	0	0	0
					16.7%	54.2%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		3	実習を通して総合的な保育・教育実践力を身につけ、実践し、保育・教育、子育て支援の場において現実的で適切な対応ができる。	24	8	11	3	1	1	0
					33.3%	45.8%	12.5%	4.2%	4.2%	0.0%
		4	子どもの成長・発達についての確かな知識と技術を有し、主体的な学習の中で培われる創造的思考力を用い、問題解決に向けた実践に活かすことができる。	24	4	14	4	0	2	0
					16.7%	58.3%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%
19	大学全体のディプロマポリシー（DP）の達成についてうかがいます。それぞれについて、該当すると思うものを1つ選んでください。	1	（建学の精神） キリスト教の理念ならびに本学の建学の精神を理解し、それらに基づき世界や人間のあり方について深く思索・探究できる。	24	2	7	11	3	1	0
					8.3%	29.2%	45.8%	12.5%	4.2%	0.0%
		2	（人間としての尊厳） 平和的・民主的な社会の担い手となるため、自らと他者の尊厳を重んじることができる。	24	4	13	4	1	1	1
					16.7%	54.2%	16.7%	4.2%	4.2%	4.2%
		3	（職業人） 職業人として経済的・精神的に独立していくために必要な、広い教養と専攻分野における専門的知識・技能を身に付けている。	24	3	13	6	0	2	0
					12.5%	54.2%	25.0%	0.0%	8.3%	0.0%
		4	（広い視野に立つ社会人） 国際的な視野を持つ社会人として地域や人類社会の福祉と発展に貢献するため、他者と協働し、生涯にわたり自ら学び続けようとする態度を身に付けている。	24	2	13	7	0	2	0
					8.3%	54.2%	29.2%	0.0%	8.3%	0.0%



Ⅴ.本学の教育全般について

Q20.本学での経験全般についてどれくらい満足していますか。



Q21.特に印象に残っている科目について、その理由もあわせて教えてください。

・3 年生の模擬授業と、救急法。 大変だったけど、学びが深まったため。

・基礎実習、保育実習Ⅰ、保育実習Ⅲ、看護臨床実習、幼稚園実習、養護実習 学んだ内容を現場で照らし合わせられる機会だったため。

・救急法 実際に学校で起こり得る怪我や事故の対応について資料作成をし、事例をもとにデモンストレーション、反省、討議までですることで身についたから。
・教職演習 専門分野の知識をたくさん詰め込むことができたから。
・健康スポーツ実技 この科目を受けたことによって学生同士の仲ぎ深まった
・健康スポーツ論（実技） 1 時間半もスポーツをすることが出来るから。
・実習が、働いている自分を想像しながら、実践的に学ぶことができたため、特に印象に残っている。
・心理学
・心理学系は日常生活において人の関わり方や、人の行動によってどんな背景があるかなどを考えきれるようになった。
・心理系の科目は特に力を入れて学習してきました。子どもがどのようなことを感じ、何を伝えたいのかを周囲の大人が理解する必要があると思い、子どもの気持ちを尊重した保育を展開して行くためにも、これからも学びを深めていきたいと思います。
・人間と環境 →教養科目で、子ども学科の専門科目では習えない環境や地球のことを学ぶことが出来て楽しかった。
・特になし 実習全般が印象に残っています。
・発達心理学
・発達心理学、家庭支援論 学んでためになる気がした
・保育実習が印象に残っている。 実技や経験から学ぶことが多くあったから。
・幼稚園教育実習 3 週間という長期間のなかで、2 度と経験できないことをやり遂げたから。

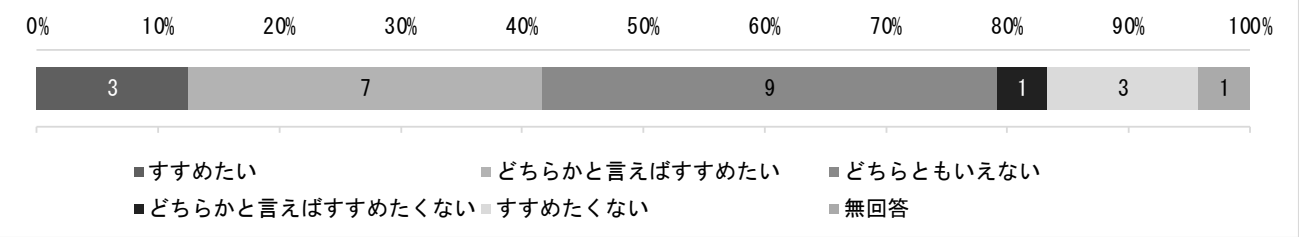
Q22. あなたの成長に大きく寄与した教養教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。
・ウェルネス。幅広い内容で面白かった。
・健康スポーツ論 運動嫌いだけど好きになれた
・実習　授業で学んだことを実際に実習で行うことができ、自分の成長にも繋がることが出来ました。（※専門科目）
・発達心理学　（※専門科目）
・保育実習。 実際の現場で自分がどれだけ身に付けた知識を活かすことができるのか知ることができ、課題をみつけ、これからに活かすことができた。（※専門科目）

Q23. あなたの成長に大きく寄与した専門教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。
・21 と同じ（※救急法）です。
・音楽表現 楽しく音楽を学べた
・実習の科目すべて 社会経験ができたから。
・特別支援教育論 保育所、幼稚園とはまた別に他の子どもに関わる施設について学べることが出来ました。
・模擬授業 全ての流れを自分自身で考え、アドバイスをもらいながら進めたから。
・養護に関する科目 これから生かすことができるから

Q24. あなたのキャリア選択に大きく寄与した教養教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。
・キャリア形成セミナー
・化学 不思議な体験が出来て楽しかったです。 将来子どもたちと関わる仕事に就くのでそこで学んだ事を子どもたちの自由研究などに生かしていきたいと思います。
・教職演習 II 色々と自分の考えを人に伝える練習ができたから
・保育実習 現場でのリアルな様子を体験できるから。（※専門科目）

Q25. あなたのキャリア選択に大きく寄与した専門教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。
・乳児保育 乳児の発達や、乳児に対しても関わり方など様々な事を学べることが出来ました。

Q26.本学での学生生活をふまえて、皆さんのお知り合いの方に本学への進学をすすめたいと思いますか。



Q27.本学への進学の推奨に関して、上記のように回答した具体的な理由を教えてください。

すすめたい	・とても充実しているから。 ・資格がとれるため
どちらかと言えばすすめたい	・4年間で保育士と養護教諭の資格免許が取れるから。 ・アットホームな環境で楽しく、専門的な学びができるため。 ・先生との距離が近く、相談しやすい。 ・毎日楽しく充実した学校生活をおくれました ・満足できる支援を受けながら、学ぶことができたから。
どちらともいえない	・4年間きつかったから、おすすめはできないが頑張れば資格を取れるからどちらとも言えないです。 ・24単位数の枠組みについて軸がぶれぶれだった。もっと制度を見直してほしい。 ・履修が大変だから。 ・立地がいいから
どちらかと言えばすすめたくない	・保育の専門学科ではあるけど、一般企業就職組に配慮が足りないように感じた。
すすめたくない	・入学した頃は丁寧に話を聞いてくれる教員や親身になってくれる教員もいたが、年々いなくなって4年の頃は特に学生生活が憂鬱だった。 ・養護教諭を取れるといわれて入ったら条件があった。にもかかわらず、下の学年から緩くなったため。

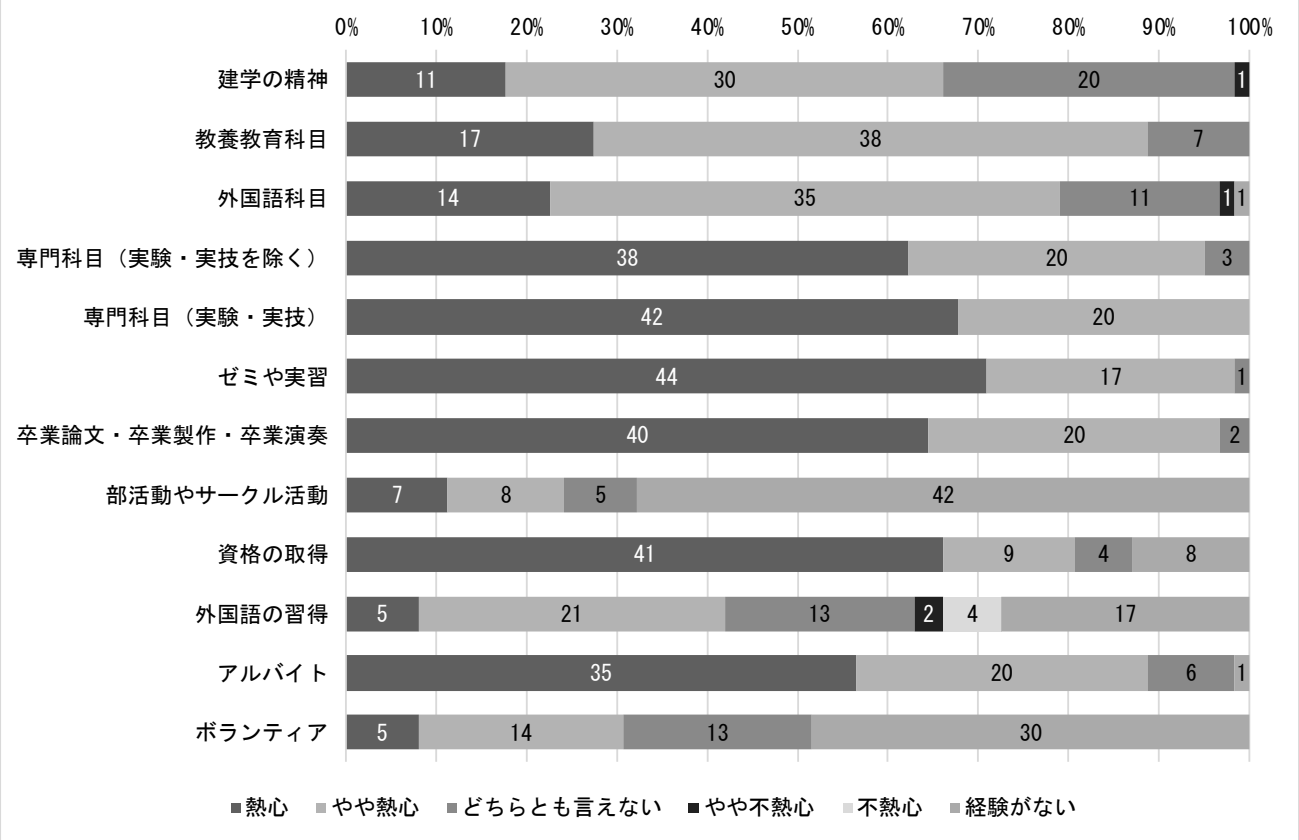
Q28.その他、本学に対するご意見・ご感想があれば記入してください。

・ありがとうございました！！
・先生同士の関係性があまりよくないことも学生は知っていました。良い先生だと思っていた先生の見る目が変わってしまいそうでした。
・同じ内容の授業を何回もしないほうがいい、出欠をもう少し効率よく取るべき、

2-7. 看護学部　看護学科

Ⅰ. 大学生活について

Q1. 大学の授業科目の学修や課外活動について、どの程度熱心に取り組みましたか。



Q2. 上記以外で、大学時代に熱心に取り組んだことがあれば記入してください。

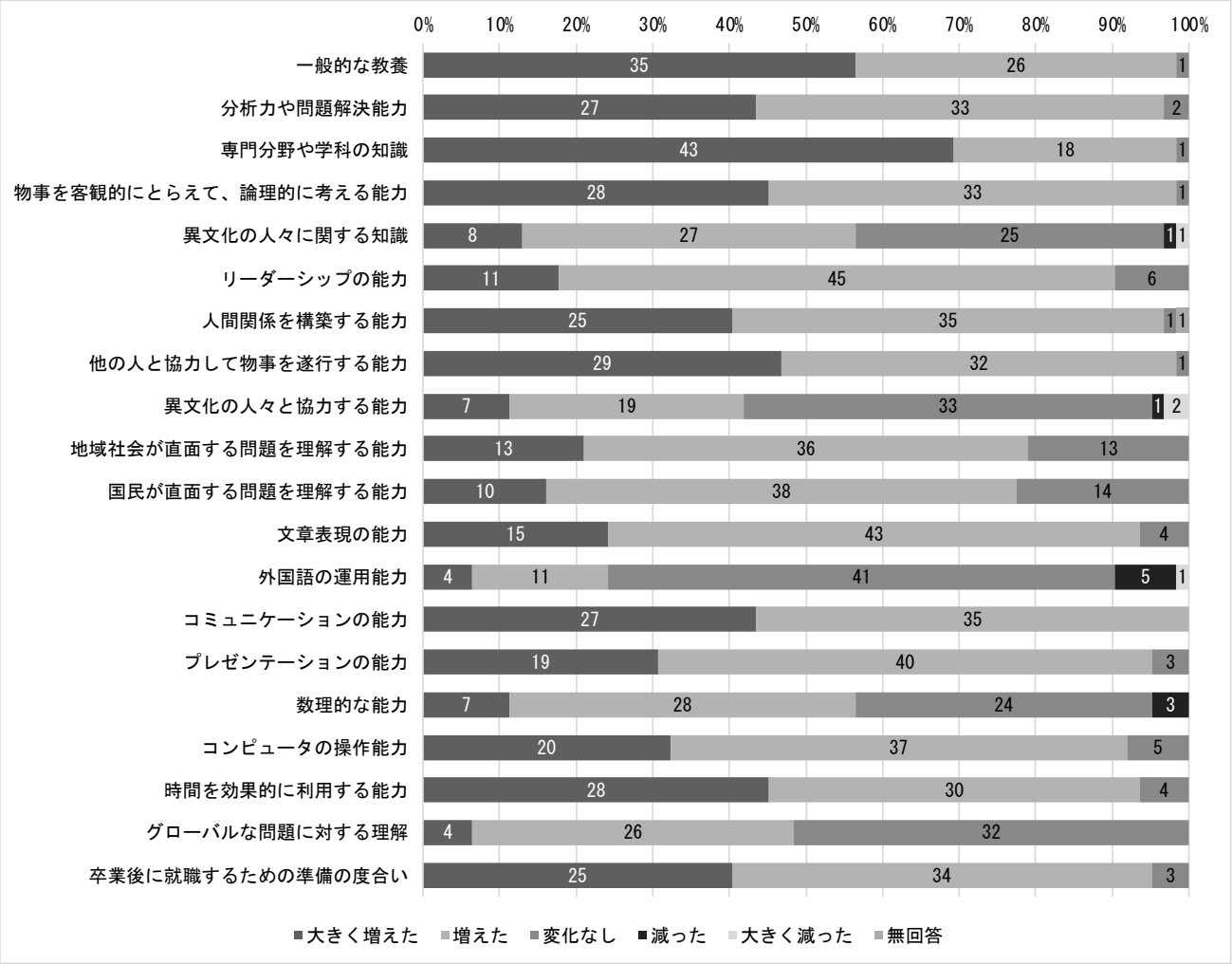
・アルバイトを通して子どもとの関わり方を学んだ。
・スポーツ
・国家試験勉強
・就職試験のための勉強(国語・数学)
・成人式（2023）の委員に参加した
・友達との思い出作り

【コメント】

ほとんどの学生が、看護師としての知識・技能を修得するための専門科目に熱心に取り組んだことがわかる。「資格の取得」は看護師・保健師国家試験に向けた勉強を指していると考えられる。

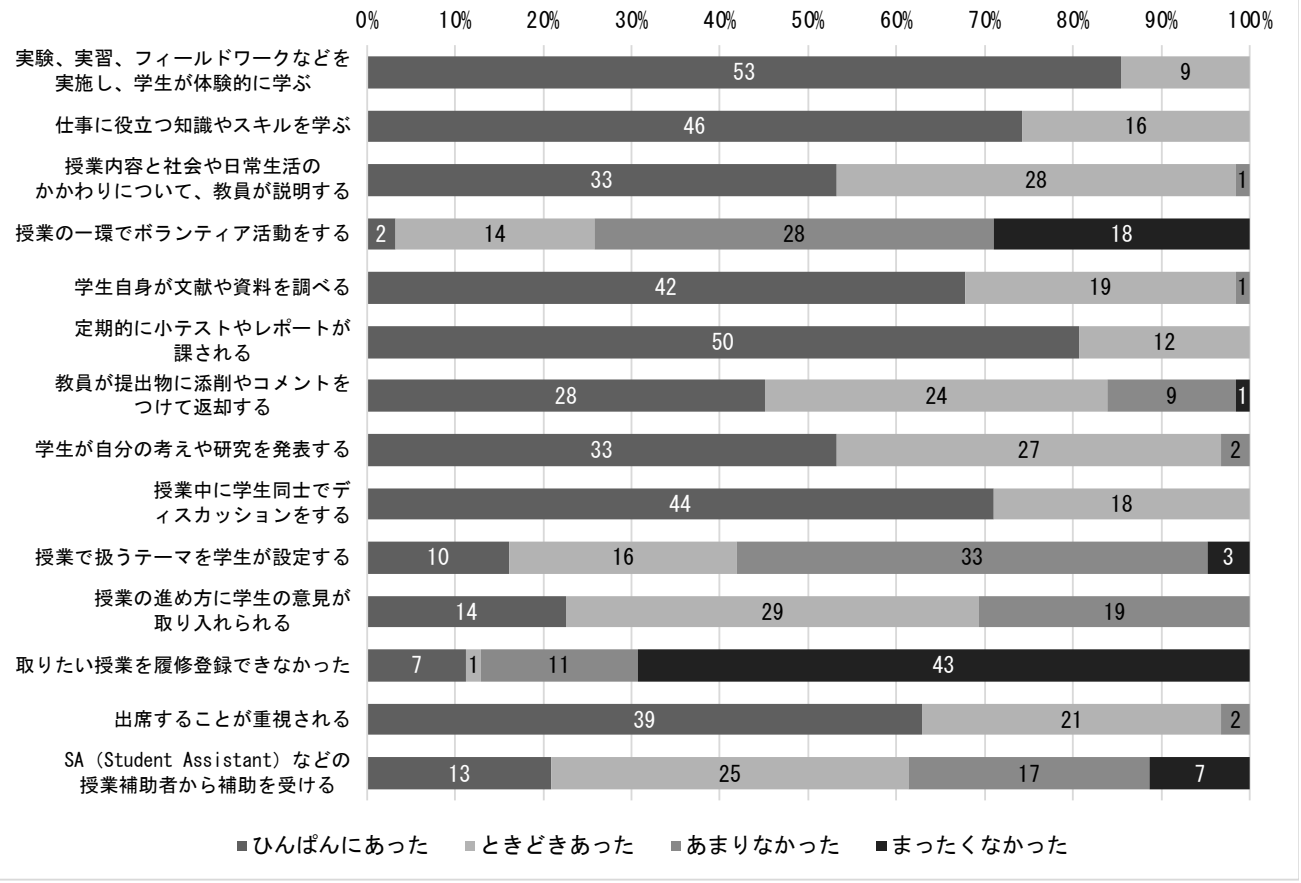
一方、「部活動・サークル活動」や「ボランティア」については半数以上が「経験がない」と回答しており、大学時代しかできない課外活動を通した経験を得る機会が少なかったとも解釈できる。可能性として、勉強とアルバイトに追われて課外活動に取り組む余裕が持てなかった、もしくは、余裕があったとしても、部活動やサークル活動自体が少ないことやボランティア活動の情報に触れる機会が少なかった、などが考えられる。

Q3.入学した時点と比べて、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

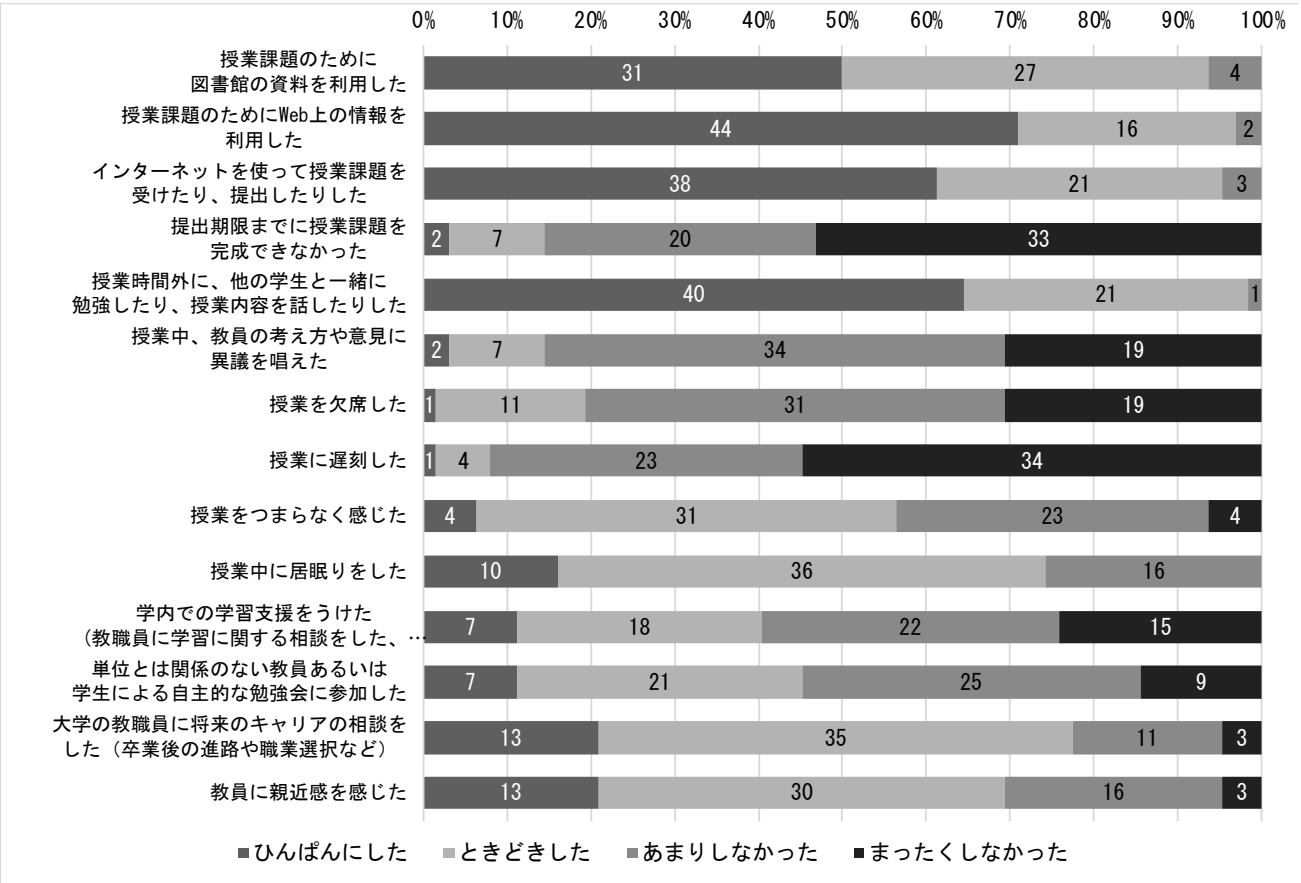


多くの項目について入学時と比べて「大きく増えた・増えた」と回答する学生が過半数となっているが、「異文化の人々と協働する能力」、「外国語の運用能力」、「グローバルな問題に対する理解」では、「変化なし」や「減った」との回答が過半数となっている。また、「異文化の人々に関する理解」も「変化なし」や「減った」という回答が他の項目よりやや多くなっている。これらの項目は、ディプロマポリシー達成度に対する自己評価との関連について後述する。

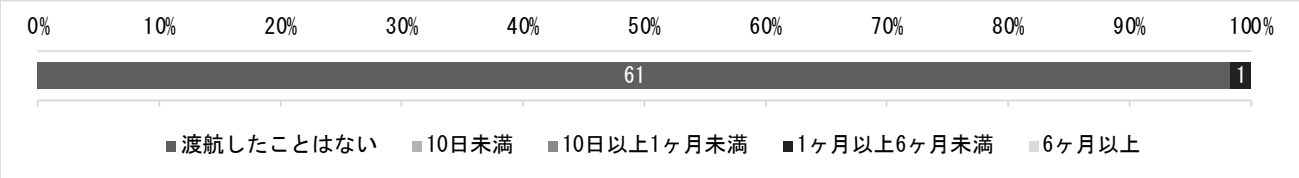
Q4. あなたが受講した授業で、次のようなことを経験する機会はどのくらいありましたか。



Q5. 大学の授業や授業以外の学習に関して、あなたは次のようなことをどのくらい経験しましたか。

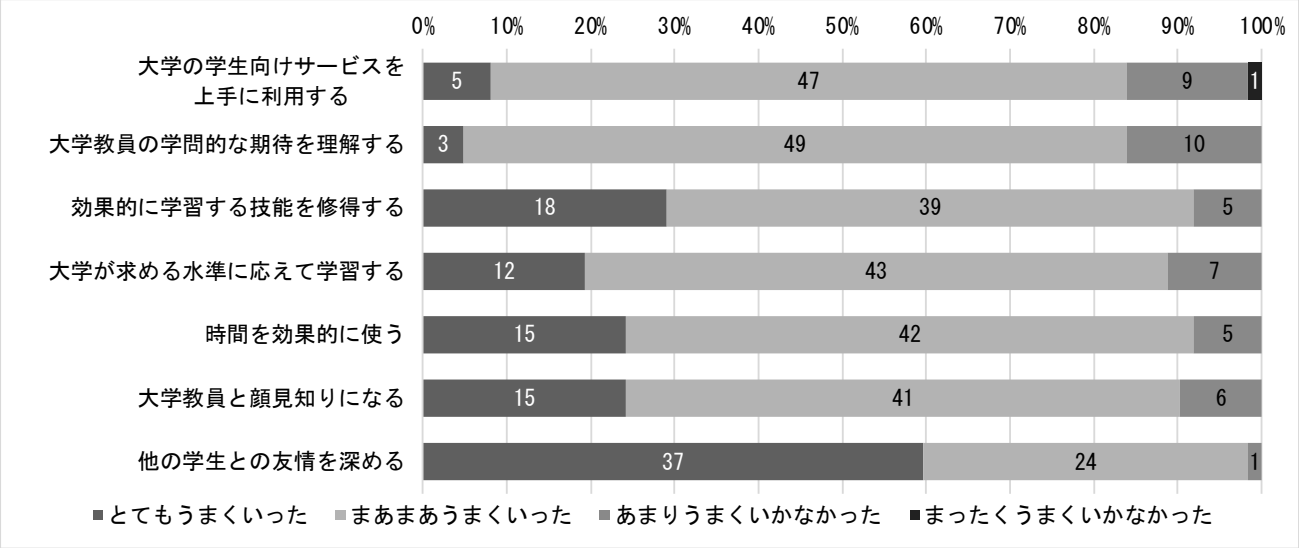


Q6. あなたは大学時代に留学をしましたか。最も長期の経験を 1 つだけ選んでください。

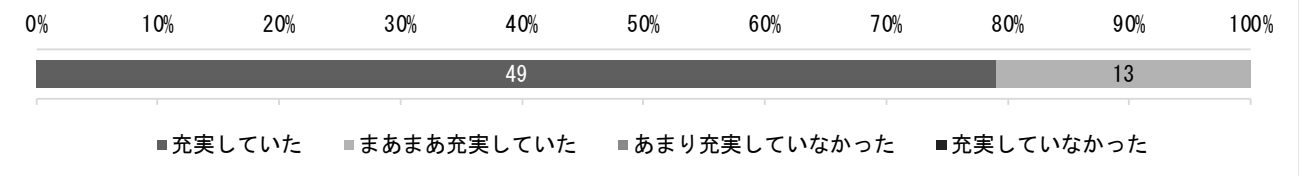


Ⅱ. 大学生活に対する考えや満足度について

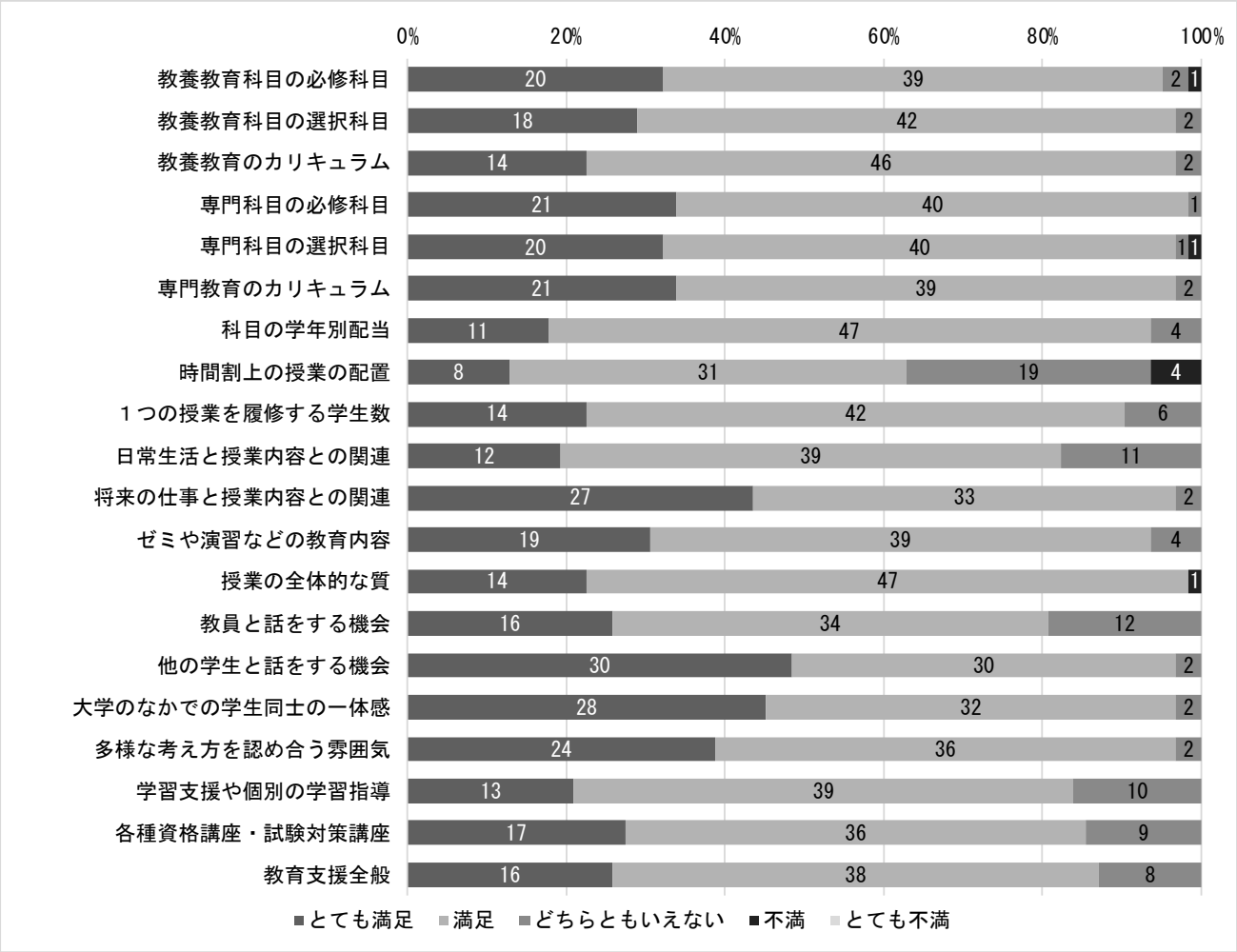
Q7. 本学に入学してから、あなたにとって次のことがらはどれくらいうまくいきましたか。



Q8. あなたの学生生活は充実していましたか。



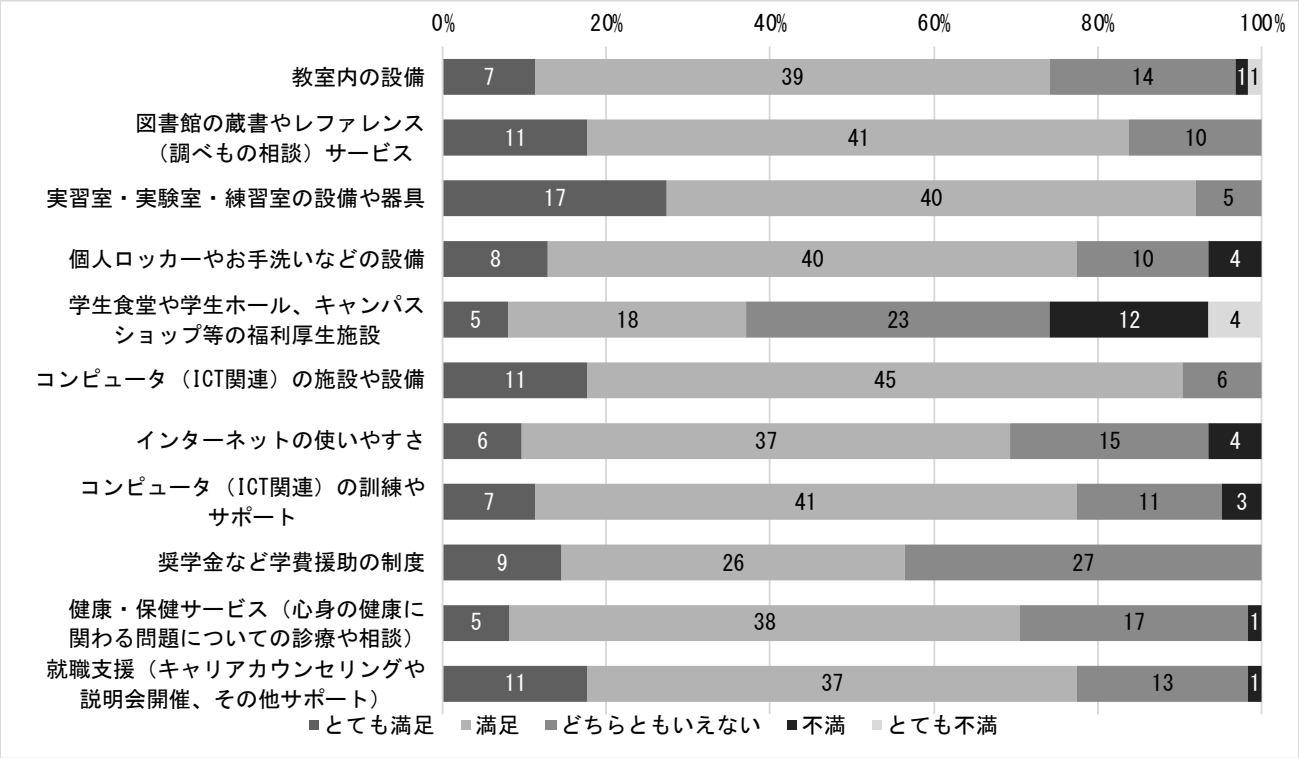
Q9. あなたは、本学の教育課程や教育支援等にどれくらい満足していますか。



Q10. 本学の教育課程や教育支援等に対して、ご意見・ご感想等があれば、自由に記入してください。

・お忙しい中、国試前に勉強会や面談をしてくださり、ありがとうございました。
・レスポンスカードの記載に対するフィードバックが十分にある先生と全くない先生がおられ、できればフィードバックをいただきたいなと思いました。
・研究が詳しく出来たことが、とても面白かったです。
・講義や実習等で多くの学習支援を受けることができ、知識の向上につながった。
・授業の中で同じ領域の先生方に質問をしたことがありましたが、先生ごとに指導内容が異なることがあり、生徒間で困惑することがありました。
・先生方が授業、会議、実技試験やその練習時の監督等で忙しいために学生の支援（ゼミの指導等）が不十分であると感じた場面があったため、学生が不安になるような体制については改善して欲しいと感じた。

Q11. あなたは、本学の設備や学生支援制度にどれくらい満足していますか。

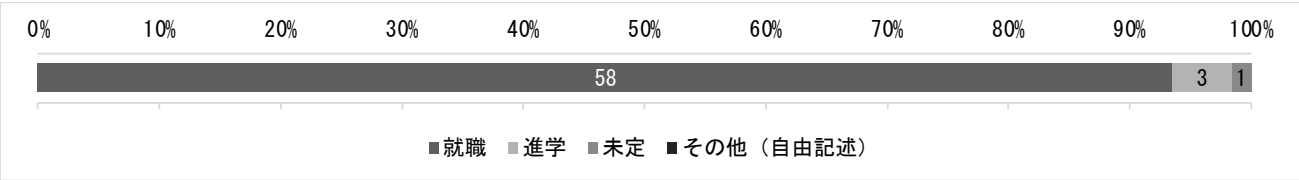


Q12. 本学の設備や学生支援制度に対して、ご意見・ご感想等があれば、自由に記入してください。

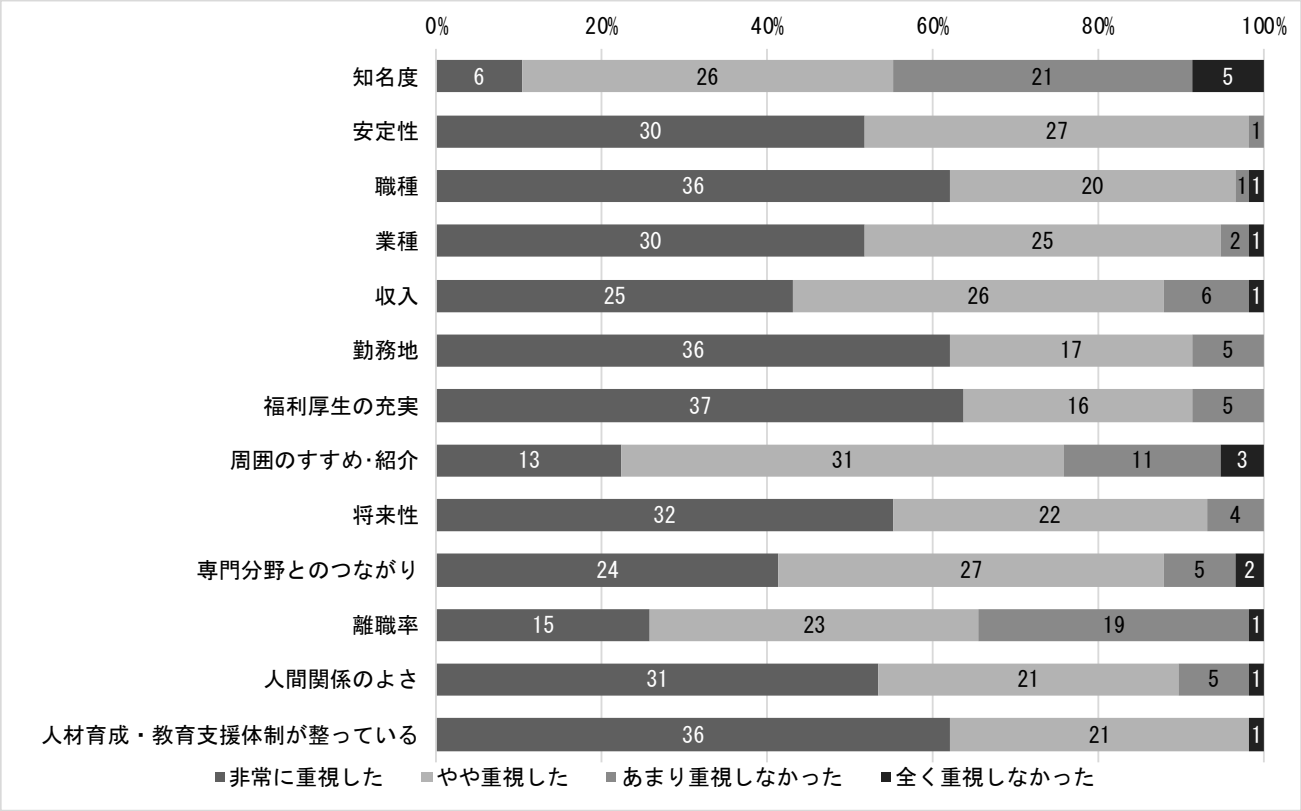
・パソコンやテキスト、弁当、演習用の着替え、水筒などをリュックに入れているため、ロッカーに荷物が入らないことが多くありました。もう少し横幅のあるロッカーを整備して頂けるとありがたいなと思いました。
・ラウンジの机と椅子の数を増やしてほしいです。
・図書館の一度に借りられる冊数をもう少し増やして欲しいです。
・大村キャンパスの一号館ラウンジは Wi-Fi が繋がりにくかった。

Ⅲ. 卒業後の進路について

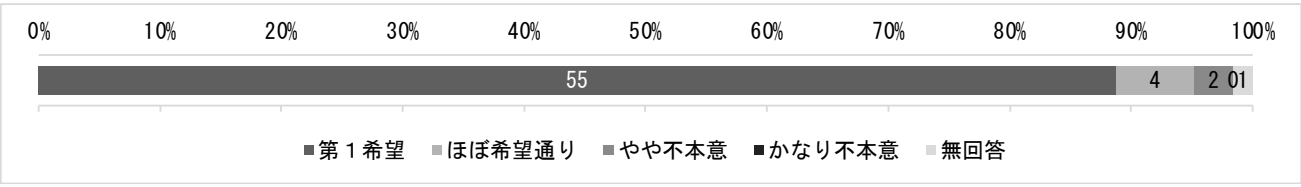
Q13. 卒業後の進路を教えてください。



Q14. 就職先の選択に際し、以下の項目をどれくらい重視しましたか。



Q15. 就職先・進学先は希望通りでしたか。該当するものを１つだけ選んでください。



Q16. 卒業後の進路決定に関して、ご意見・ご感想等があれば、自由に記入してください。

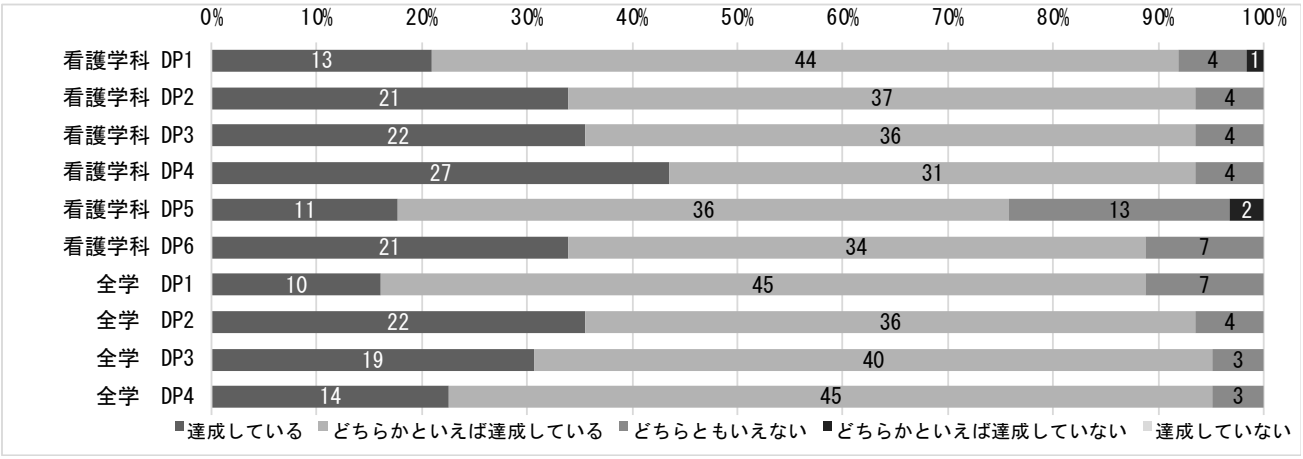
・ゼミの先生に大変お世話になりました。ありがとうございました。

Ⅳ. 所属学科*ならびに大学のディプロマポリシーの達成度について　*Q17 で学科をたずねている

Q18. 看護学科のディプロマポリシーの達成についておたずねします。それぞれについて、該当すると思うものを１つ選んでください。

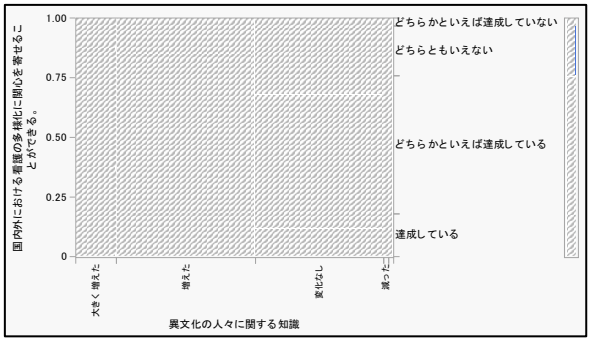
Q19. 大学全体のディプロマポリシーの達成についてうかがいます。それぞれについて、該当すると思うものを１つ選んでください。

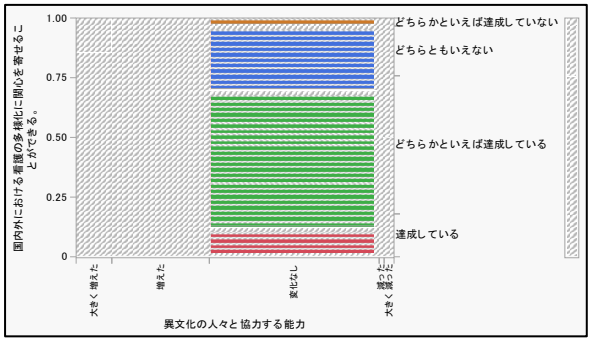
項目	n	達成している	どちらかといえば達成している	どちらともいえない	どちらかといえば達成していない	達成していない
キリスト教の理念に基づく全人的理解を基盤とし、人間の尊厳を重んじ、人権の擁護ができる。	62	13	44	4	1	0
		21.0%	71.0%	6.5%	1.6%	0.0%
対象となる人々やその家族、地域の人々の健康状態を把握し、看護を計画的に展開することができる。	62	21	37	4	0	0
		33.9%	59.7%	6.5%	0.0%	0.0%
特定の健康問題に対応する基本的な実践ができる。	62	22	36	4	0	0
		35.5%	58.1%	6.5%	0.0%	0.0%
チームの目標達成や成長に向けて自己の責任・役割を理解し、メンバーシップを発揮しメンバーと協働することができる。また、チームの目標達成や成長に向けてメンバーの意識を高め、リーダーシップを発揮し集団の成果を上げるためにチームに働きかけることができる。	62	27	31	4	0	0
		43.5%	50.0%	6.5%	0.0%	0.0%
国内外における看護の多様化に関心を寄せることができる。	62	11	36	13	2	0
		17.7%	58.1%	21.0%	3.2%	0.0%
生涯にわたり自己研鑽しつづけることができるように、主体的に学修に取り組む力を見つけることができる。また、看護研究を通して、得られた研究成果をもとに、看護実践に活用できるとともに、看護研究のプロセスを実施できる。	62	21	34	7	0	0
		33.9%	54.8%	11.3%	0.0%	0.0%
（建学の精神） キリスト教の理念ならびに本学の建学の精神を理解し、それらに基づき世界や人間のあり方について深く思索・探究できる。	62	10	45	7	0	0
		16.1%	72.6%	11.3%	0.0%	0.0%
（人間としての尊厳） 平和的・民主的な社会の担い手となるため、自らと他者の尊厳を重んじることができる。	62	22	36	4	0	0
		35.5%	58.1%	6.5%	0.0%	0.0%
（職業人） 職業人として経済的・精神的に独立していくために必要な、広い教養と専攻分野における専門的知識・技能を身に付けている。	62	19	40	3	0	0
		30.6%	64.5%	4.8%	0.0%	0.0%
（広い視野に立つ社会人） 国際的な視野を持つ社会人として地域や人類社会の福祉と発展に貢献するため、他者と協働し、生涯にわたり自ら学び続けようとする態度を身に付けている。	62	14	45	3	0	0
		22.6%	72.6%	4.8%	0.0%	0.0%



ディプロマポリシーの達成に対する自己評価は、「達成している・どちらかと言えば達成している」との回答が 90%を超えているものが多い。唯一、80%未満となっているのは、看護学科 DP5「国内外における看護の多様化に関心を寄せることができる。」である。

この DP と、入学後の能力変化についてたずねた項目のうち、「国際性」に関連する 4 項目についての関係を確認したところ、「異文化の人々に関する知識」および「異文化の人々と協力する能力」の 2 項目について、弱いながらも関連が認められた。以下に看護学科 DP5 と上記 2 項目とのモザイク図をそれぞれ示す。

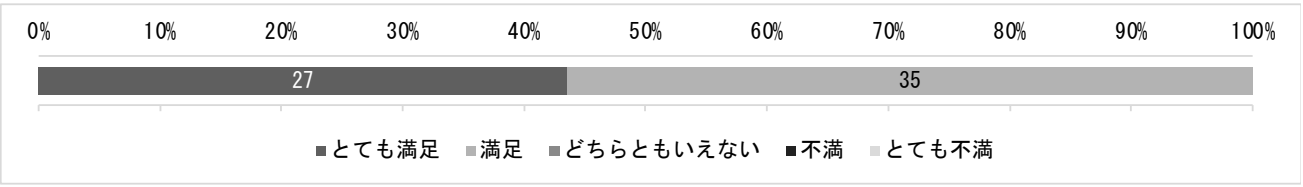




この 2 項目の能力の伸長についてポジティブな自己認識を持つ学生は、DP5 の達成についてもポジティブな自己評価をしている傾向があると言える。今後、メディカルツーリズムの広がりや、外国人観光客のさらなる増加を見すえると、看護師にも多言語対応や多文化理解などが必要になってくるため、学生の異文化理解や国際性の向上につながるような教育の提供が求められるだろう。

Ⅴ. 本学の教育全般について

Q20. 本学での経験全般についてどれくらい満足していますか。



Q21. 特に印象に残っている科目について、その理由もあわせて教えてください。

・3 年の領域別実習･･･分からないところは自信で調べたり、先生に助言を貰うなどして乗り越えることができたため。
・印象に残っている科目は領域別実習です。 長きに渡る実習の中で不安や緊張もあり、試行錯誤しながら、患者さんにあったケアについてしっかりと考え学ぶ事ができたため。
・領域別看護学実習(高齢者・成人)
・領域別実習です。半年間の実習を経て、達成感から自信にもつながり、将来を見据えることができたから。
・基礎看護技術(Ⅰ～Ⅳ)：車椅子移乗や穿刺法など、看護の基礎となる技術を初めて学び、医療従事者としての自覚が最初に芽生えた科目であったから。
・看護シュミレーション 様々な専門分野の演習を行うことで実習に向けての心構えをしやすかった。
・看護学実習 II:様々な患者を受け持ち、実際に看護師や病院の動きを把握することができたため。
・基礎看護 基礎となる看護実践をしっかりと身につけて実習で活かすことができたため。
・基礎看護学 ⇒基礎的技術を丁寧に個別でも指導していただき、自分の傾向や技術を得るための方法について学ぶことができたため。
・基礎看護学、フィジカルアセスメントやリハビリテーション看護、救急クリティカルケアなどの、実践形式の科目は練習をしたり事前学習をしたりして身についたところが多かったので印象にのこりました。
・救命救急
・災害看護。 医療センターの高山院長が行ってくださった、トリアージの授業がとても楽しく、知識も実践的に学ぶことができ印象に残っています。
・災害看護学 理由、災害に興味があり災害に対する知識が増えたため

・実習全般
・成人看護学
・成人看護学実習　急性期 体の変化に合わせて、患者の看護を提供するのが楽しかったから。
・統合実習前の複数患者受け持ちでの多重課題に取り組む演習が、状況がリアルで取り組みながらとても悩んだため、印象に残っている。
・教養セミナー 様々な方面からのアプローチについて考える機会だった。
・体育です。体を動かすことで高校時代を思い出せて楽しかったです。ストレス発散！
・スポーツが息抜きになって印象残っています。
・中国語 楽しかったから。

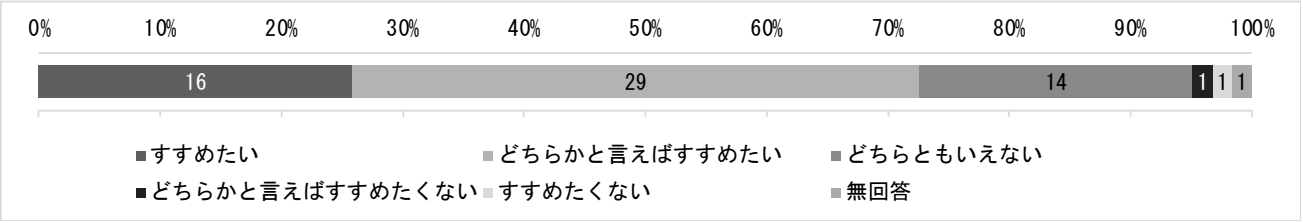
Q22.あなたの成長に大きく寄与した教養教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。
・教養セミナー ⇒将来について考えるようになった。
・情報処理基礎･･･Word や Excel などを始め、インターネットの活用方法について学ぶことができたため。
・情報処理基礎、アプリケーション演習 →より効果的な使用方法を学べられたからです
・心理学、カウンセリング論 卒業研究でのテーマにも少し関連していた。
・実習全て 現場での看護師の動きを見て、将来の看護師像に直結したから。（※専門科目）
・実習全般 （※専門科目）

Q23.あなたの成長に大きく寄与した専門教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。
・看護学実習全般：実際に患者と関わり、看護を提供したことで、自分の課題点が見つかったり、自分自身で解剖生理や疾患への理解をより深めていく充実した機会となったから。
・実習全般
・3 年の領域別実習･･･分からないところは自信で調べたり、先生に助言を貰うなどして乗り越えることができたため。
・領域別看護学実習
・成人看護学 理由、成人に対する看護を詳しく学ぶことができたため
・慢性期の実習
・慢性期看護実習 患者とのコミュニケーションが最も印象的だった実習で、指導者から受けた指導内容からも、気付かされたことが多くあり、学びが多かった。
・慢性期実習 患者さんがどの様な心理過程にあるかを考え、看護師としてのより良い関わり方を考える良い機会となったから。

Q24.あなたのキャリア選択に大きく寄与した教養教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。
・キャリア教育
・キリスト教

Q25.あなたのキャリア選択に大きく寄与した専門教育科目があれば、その理由もあわせて教えてください。
・公衆衛生看護学分野全般：保健師の仕事を学んでいくほど、興味が湧き、キャリア選択に繋がったから。
・在宅看護学実習 将来訪問看護師として働きたいという明確な目標ができた。
・小児看護学
・母性看護学実習 助産師になるか悩んでいたときに、出産を見学させて、いただき将来の夢を決めることとなったから。
・領域別看護学実習

Q26.本学での学生生活をふまえて、皆さんのお知り合いの方に本学への進学をすすめたいと思いますか。



Q27.本学への進学の推奨に関して、上記のように回答した具体的な理由を教えてください。

すすめたい	教員と生徒の距離が近く、親しみを持って相談しやすい 教員の学生へのサポートが手厚くて、カリキュラム自体充実している 先生方が日々の講義から実習、国家試験、就職まで手厚いサポートをしてくださったから。
どちらかと言えばすすめたい	・いい学校だと思った。 ・課題量が充実しているので、様々な知識を吸収しながら、より実践的な看護師を目指せると考えるため。 しかし、教員による学生の支援については不満があるため、「どちらかと言えば勧めたい」とした。 ・学費が高い ・学費は安くは無いが、学習環境は整っていたため。 ・看護を学ぶための設備が整っているため。学内が綺麗で過ごしやすいため。 ・看護を学ぶ上では、施設設備や実習環境などが整っていると感じるから。 ・看護師と保健師両方勉強することができ、実習が充実しているため。 ・教育体制がしっかり整っているから。 ・資格が取れるから ・実習先が近いのと、臨床で働く方が直接講義に来るので、とても良い経験ができるから ・先生との距離が近く、困ったことがあるとすぐに相談できる親近感があるため ・先生方のご支援や、カリキュラム等の勉学関する点は非常にすすめたいと感じます。しかし、学費やスクールバス代等は経済的な負担が大きいため、「どちらかと言えばすすめたい」にしました。
どちらともいえない	自分の自宅から遠く、交通手段もあまりないため、大学が近いのであれば勧めたい。
どちらかと言えばすすめたくない	在学中、常に経済的な余裕がなかったから。

本学への進学の推奨について、「どちらとも言えない」「どちらかと言えばすすめたくない」とした理由に挙げられたのは、経済面を理由とするものであった。そこで、Q8 および Q20 とのクロス集計を確認したところ、「すすめたくない」とした学生の満足度は高いことが確認できた。

本学の推奨	本学での経験全般についてどれくらい満足していますか。		あなたの学生生活は充実していましたか。	
	とても満足	満足	充実していた	まあまあ充実していた
すすめたい	15	1	16	0
どちらかと言えばすすめたい	8	21	21	8
どちらともいえない	2	12	9	5
どちらかと言えばすすめたくない	0	1	1	0
すすめたくない	1	0	1	0
無回答	1	0	1	0
計	62		62	

Q28.その他、本学に対するご意見・ご感想があれば記入してください。

・4 年間、お世話になりました。
・課題や実習等で大忙しな時期もありましたが、充実した大学生活でした。ありがとうございました。